

令和5年度 第2回大野市公共交通活性化協議会

日時 令和5年8月23日(火) 14:00～
場所 大会議室

1 開会

2 報告事項

(1) 大野市公共交通に関するアンケート調査結果【確定版】について …資料1、**8**

(2) まちなか循環バスの車両について …資料**9**

3 議題

(1) 京福バス大野車庫の移転について **追加** …資料**10**

(2) 自家用有償旅客運送の更新登録 (R5.10～R8.9) について …資料2

(3) 大野市地域公共交通計画策定について

① 公共交通ネットワーク再構築の進捗について …資料3、4

② 大野市地域公共交通計画案について …資料5～7

③ 評価指標の考え方と目標値について …資料**11**

4 その他

R5大野市公共交通活性化協議会(第2回)委員名簿

分野		所属団体等	委員役職	委員氏名		
学識者	1	学識経験者	国立大学法人 福井大学	福井大学 学術研究院 工学系部門 教授	野嶋 慎二	
	公共交通事業者	2	旅客鉄道事業者	西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社	地域共生室企画課 交通企画室 室長	鹿野 剛史
		3	一般乗合旅客自動車運送事業者、その他の一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	京福バス株式会社	経営管理部 部長	松田 康弘
		4		大野観光自動車株式会社	代表取締役	長谷川 敦俊
		5		大野旅客自動車有限会社	代表取締役	長谷川 義二
		6		いずみタクシー株式会社	代表取締役	野尻 友也
		7		公益社団法人 福井県バス協会	専務理事	小林 博之
関係団体	8	一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	福井県交通運輸産業労働組合協議会	幹事	前川 剛	
	9	その他の団体	大野商工会議所	専務理事	飯田 俊市郎	
	10		一般社団法人 大野市観光協会	副会長	藤堂 規行	
市民団体等	11	住民又は利用者	大野市区長連合会	理事	巢守 雅彦	
	12		和泉地区区長会	会長	朝日 義治	
	13		大野市老人クラブ連合会	副会長	清水 武正	
	14		大野高等学校	校長	中森 雅巳	
	15		奥越明成高等学校	校長	谷 康博 (代理 教頭 栗田浩視)	
関係行政機関	16	国土交通省中部運輸局	福井運輸支局	首席運輸企画専門官	五十嵐 重晃	
	17	福井県	福井県	交通まちづくり課長	廣瀬 貴之	
	18	道路管理者	奥越土木事務所	大野道路課長	榊原 丈成	
	19	公安委員会及び福井県警察	大野警察署	交通課長	山田 和義	
	20	大野市	くらし環境部	くらし環境部長	乾川 和則	
	21	大野市	教育委員会事務局	教育委員会事務局 教育総務課長	指岡 哲郎	
	22	大野市	健幸福祉部	健幸福祉部 福祉課長	笠松 健男	
	23	大野市	地域経済部	地域経済部 観光交流課長	加藤 嘉一	
	24	大野市	くらし環境部	くらし環境部 建設整備課長	銭井 泰紀	
	25	大野市	健幸福祉部	健幸福祉部 健康長寿課長	井上 幸子	
事務局	1	大野市	くらし環境部 交通住宅まちづくり課	課長	常見 和正	
	2	大野市	くらし環境部 交通住宅まちづくり課	課長補佐	山口 太一	
	4	大野市	くらし環境部 交通住宅まちづくり課	主査	雨山 直人	
	5	大野市	くらし環境部 交通住宅まちづくり課	主事	丸葉 正貴	
	6	(株)日本海コンサルタント		主任担当者	神納 毅	

令和 4 年度
大野市公共交通に関するアンケート調査

【確定版】

令和 5 年 8 月
大野市

目 次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の概要.....	1
(3) 配布回収結果.....	1
(4) 集計上の留意事項.....	1
(5) 依頼文および調査票.....	2
2. 調査結果.....	9
(1) あなた自身について.....	9
【問1】お住まいについて.....	9
【問1】性別について.....	10
【問1】年齢について.....	12
【問1】職業について.....	13
【問1】外出頻度について.....	15
【問1】主な移動手段について.....	17
【問1】自動車運転免許の有無.....	19
【問1】自家用車（マイカー）の有無.....	21
(2) 市内の公共交通の利用状況や満足度について.....	23
【問2】主に利用する公共交通について.....	23
【問3①】問2で回答した公共交通機関の利用頻度について.....	25
【問3②】問2で回答した公共交通を利用しない理由.....	27
【問4】問2で回答した公共交通についての改善の必要性について.....	29
【問5】問2で回答した公共交通機関の満足度について.....	32
(3) 利用意向や今後の方向性について.....	48
【問6】現在の市内の公共交通の年間約6,000万円の運行経費について.....	48
【問7①】市内の公共交通の今後の運行内容（交通サービス）について.....	50
【問7②】市内の公共交通の公的な負担（税金）について.....	52
【問7③】市内の公共交通の利用者の負担（運賃）について.....	54
【問7④】市内の公共交通の地域の負担（町内会費・区費）について.....	56
【問8】市が今後めざすべき公共交通やまちについて.....	58
【問9】市内公共交通機関の運行の必要性について.....	60
【問10】今後の公共交通の利用意向について.....	62
【問11】自家用車から公共交通への切り替えについて.....	64
【問12】今後、公共交通を利用するための改善点について.....	66
【問13①】「運転免許自主返納制度」の認知度について.....	68
【問13②】「運転免許自主返納制度」の期間（10年）について.....	70
【問14】公共交通に対するご意見・ご感想について.....	72

1. 調査概要

(1) 調査の目的

- ◆本調査は、市民の日常生活の移動手段や公共交通に関する意見等を把握し、より良い公共交通を実現するための指針となる大野市地域公共交通網形成計画の策定に向けた基礎資料とするために実施した。

(2) 調査の概要

- ◆調査対象：大野市在住の2,000人
- ◆抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
- ◆調査方法：郵送による配布、回収
- ◆調査期間：令和5年1月19日（木）～2月5日（日）

(3) 配布回収結果

配布数：2,000通、回収数：紙・746票、WEB・82票（回収率41.4%）

(4) 集計上の留意事項

- ◆各設問の集計は、無回答を除いた合計を母数（100%）として各選択項目の回答数の割合を示している。
- ◆パーセンテージについては、小数点第1位を四捨五入しているため、構成比の合計は必ずしも100%に一致しない。
- ◆標記のスペース上煩雑になるのを避けるため、3%未満の値を省略しているものがある。
- ◆複数回答の設問は、有効回答者数を母数（100%）としているため、選択項目の回答数の割合は、合計すると100%以上となる。
- ◆「N」は有効回答数を表している。

(5) 依頼文および調査票

【依頼文】

大野市公共交通に関する市民アンケート

～みなさまのご意見を反映するため、アンケートにご協力ください～

令和5年1月 大野市

大野市では、「JR 越美北線」「路線バス」「まちなか循環バス」「乗合タクシー」「市営バス」などの公共交通が運行し、市民の皆様の暮らしを支える移動手段として、また、健康や福祉、環境負荷の低減(脱炭素)を目的として、さまざまな役割を担っています。

しかしながら、人口減少や少子化、自動車運転免許保有者の増加に伴い、公共交通の利用者数は減少しています。そのため現在、「大野市地域公共交通計画」の策定と、公共交通の利便性の向上と運行の最適化をめざし公共交通ネットワークの再構築の検討に着手しています。

そこで、計画の策定や公共交通の再構築に向けて、皆様の日々の暮らしにおける移動手段や公共交通へのご意見をいただきたく、市民アンケート調査を行います。調査の趣旨をご理解いただき、皆様の率直なご意見やお考えをお聞かせください。



アンケートのご記入方法

1. アンケートは、**あなたご自身**がお答えください。都合による代筆はかまいません。
2. 回答方法は、該当する**番号**を○で囲むなどしてください。質問ごとに、「**1つだけ○**」「**○はいくつでも**」など、選び方が指定されていますのでご注意ください。
3. 回答後は、同封の返信用封筒に入れ、**令和5年2月5日(日)まで**に、**郵便ポストに投函(切手は不要)**してください。
4. 左下のQRコードを読み取り、スマホやパソコンから回答いただくこともできます。

<補足説明>

- アンケートは、市内にお住まいの15歳以上の方を対象にしています。
無作為抽出によりお送りしているため、今年度、類似のアンケート(福井県が実施や阪谷地区で実施)にご協力いただいた方へも届いている場合がありますが、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。
- アンケートは無記名です。すべて統計的に処理され、個人の考えが外部に漏れることはありません。



お問い合わせ先：大野市 暮らし環境部 交通住宅まちづくり課

〒912-8666 大野市天神町1-1

TEL:0779-64-4815、FAX:0779-66-1118

2. 大野市内の公共交通の利用状況や満足度についてお伺いします。

問2. 主に利用する公共交通は何ですか。(1つだけ○ / □は該当するものに✓)
利用されていない方は、ご自宅から最寄りの公共交通をお知らせください。

- 1. まちなか循環バス
- 2. 乗合タクシー ⇒ 大矢戸・乾側線 森目・阪谷線 友兼・蕨生線 小山・木本堀兼線
- 3. 市営バス ⇒ 道の駅線 和泉線 前坂線 中竜線
- 4. 京福バス ⇒ 大野線 勝山大野線
- 5. JR 越美北線
- 6. 知らない ⇒ へ

問3. 問2で選んだ公共交通をどのくらいの頻度で利用していますか。(1つだけ○)

- 1. ほぼ毎日(週5日以上) 2. 週3、4日 3. 週1、2日
- 4. 月1、2日 5. 2、3か月に1日 6. 悪天候時のみ
- 7. 冬期間のみ 8. その他() 9. 利用していない

上記で「9.利用していない」を選んだ方にお聞きます。

公共交通を利用しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 利用する必要がない(マイカー利用等) 2. 自宅近くに駅・バス停がない
- 3. 行きたい場所へ向かう路線がない 4. 運行本数が少ない
- 5. 乗り換えや電話予約が不便 6. 運賃がかかる・運賃が高い
- 7. その他() ⇒ 選択後は へ

問4. 問2で選んだ公共交通について、改善の必要性を感じますか。(1つだけ○)

「1. 改善が必要である」と回答された方は、改善内容があれば記載してください。

- 1. 改善が必要である 2. 改善は必要ない 3. どちらとも言えない
- <具体的な改善内容>

問5. 問2で選んだ公共交通に対する満足度をお知らせください。(それぞれ1つずつ○)

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
運行時刻のわかりやすさ	5	4	3	2	1
運行時間帯の利用しやすさ (午前、午後、夕方等)	5	4	3	2	1
運行間隔の利用しやすさ (運行本数の多さ)	5	4	3	2	1
運行ルート・エリアの利用しやすさ (目的地への移動のしやすさ)	5	4	3	2	1
自宅からのバス停・駅の距離	5	4	3	2	1
目的地からのバス停・駅の距離	5	4	3	2	1
バス停・駅の待合環境	5	4	3	2	1
目的地までの所要時間	5	4	3	2	1
運転手の対応やサービス	5	4	3	2	1
車両の大きさ (利用者の混み具合)	5	4	3	2	1
車両の乗り降りのしやすさ (バリアフリー)	5	4	3	2	1
他のバス・鉄道への乗り継ぎの しやすさ(待ち時間)	5	4	3	2	1
運賃	5	4	3	2	1
総合評価	5	4	3	2	1



3. 利用意向や今後の方向性についてお伺いします。

問6. 現在、市内の公共交通（まちなか循環バス、乗合タクシー、市営バス）の運行に、年間約 6,000 万円（市民 1 人当たり年間 2,000 円）の経費・税金がかかっています。このことについて、あなたはどのように感じますか。（1つだけ○）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 経費が大きい | 2. 妥当な水準である |
| 3. 経費を増やしてよい | 4. その他() |

問7. 市内の公共交通について、これからの運行内容の充実度と経費の負担割合を、どのようにすべきだと考えますか。（それぞれ1つずつ○）

今後の運行内容 (交通サービス)	1. 大きく充実	2. やや充実	3. 現状維持	4. 低下やむなし
---------------------	----------	---------	---------	-----------

↓ そのための経費の負担割合

公的な負担 (税金)	1. 大幅に増やす	2. やや増やす	3. 現状維持	4. 減らす
利用者の負担 (運賃)	1. 増やす	2. 現状維持	3. 減らす	
地域の負担 (町内会費・区費)	1. 負担する	2. 負担しない		

問8. 市は、今後どのような公共交通やまちをめざすべきと考えますか。（○はいくつでも）

- | |
|---|
| 1. 自家用車を持たなくても移動できるまちをめざす(カーシェア・ライドシェア・住民の助け合い) |
| 2. 今ある公共交通を改善し、より利便性の高い公共交通をめざす(現状維持・改善) |
| 3. 高齢者や免許返納者など移動に困っている方に手厚い公共交通をめざす(対象の限定) |
| 4. 移動販売や遠隔診療など人が移動しなくても、モノやサービスが届くまちをめざす |
| 5. その他() |

問9. 市内の公共交通の必要性をどのようにお考えですか。（1つだけ○）

- | |
|---------------------------------|
| 1. 今の自分にとって必要 |
| 2. 今の自分には必要ないが、将来は必要 |
| 3. 今の自分には必要ないが、家族にとって必要 |
| 4. 今の自分や家族には必要ないが、高齢者等や社会にとって必要 |
| 5. 必要とは思わない |
| 6. その他() |

問 10. 今後、市内の公共交通を利用しようと思いますか。(1つだけ○)

- | | | |
|---------------------------|--------|---|
| 1. 現在利用しており、今後も利用しようと思う | ⇒ 問 13 | ハ |
| 2. 現在利用していないが、今後は利用しようと思う | ⇒ 問 13 | ハ |
| 3. 利用しようと思わない | ⇒ 問 11 | ハ |
| 4. わからない | ⇒ 問 11 | ハ |

問 11. 問 10 で「3.利用しようと思わない」「4.わからない」と回答した方にお尋ねします。
「外出時に市内の公共交通を利用して、できるだけ車の利用を控える」ことに対し、
どのようにお考えですか。(1つだけ○)

- | | | |
|------------------------------------|--------|---|
| 1. 今後も車を利用しない生活は考えられない | ⇒ 問 13 | ハ |
| 2. 車の利用を控えたいと思っているが、実際の行動につながっていない | ⇒ 問 13 | ハ |
| 3. 数年後には車の利用を控え、市内の公共交通を利用したい | ⇒ 問 13 | ハ |
| 4. 市内の公共交通は利用しにくいいため、車の利用を控えられない | ⇒ 問 12 | ハ |

問 12. 問 11 で「4.市内の公共交通は利用しにくいため～」と回答した方にお尋ねします。
どのようなことを改善したら公共交通を利用しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 自宅や目的地近くへの停留所の設置(停留所の増) | |
| 2. 行きたい場所へ直接向かう公共交通の運行→(具体的な場所: |) |
| 3. 乗り降りしやすい車両の導入 | |
| 4. 利用しやすい時間帯の公共交通の運行→(具体的な時間帯: |) |
| 5. 駅でのバスや電車への乗り継ぎ時間の短縮 | |
| 6. 停留所や駅での待合環境(待合室、ベンチ等)の整備 | |
| 7. その他(|) |
| 8. 改善しても公共交通を利用するつもりはない | |

問 13. 市では、満 6 5 歳以上の運転免許を返納された方に、市内の公共交通を 10 年間
「無料」で利用できる制度を行っています。この制度を知っていますか。
また、「無料」とするための財源を税金により補填していますが、10 年間という
期間についていかがお考えですか。(それぞれ1つずつ○)

認知度	1. 知っている	2. 知らない		
期間	1. 10 年でよい	2. 期限なしがよい	3. 10 年より短くてよい	4. その他()



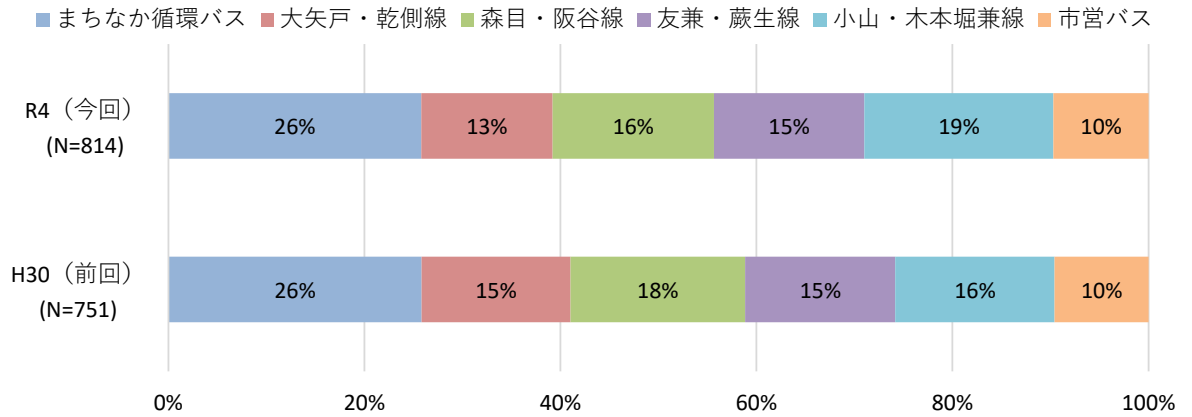
2. 調査結果

(1) あなた自身について

【問1】お住まいについて

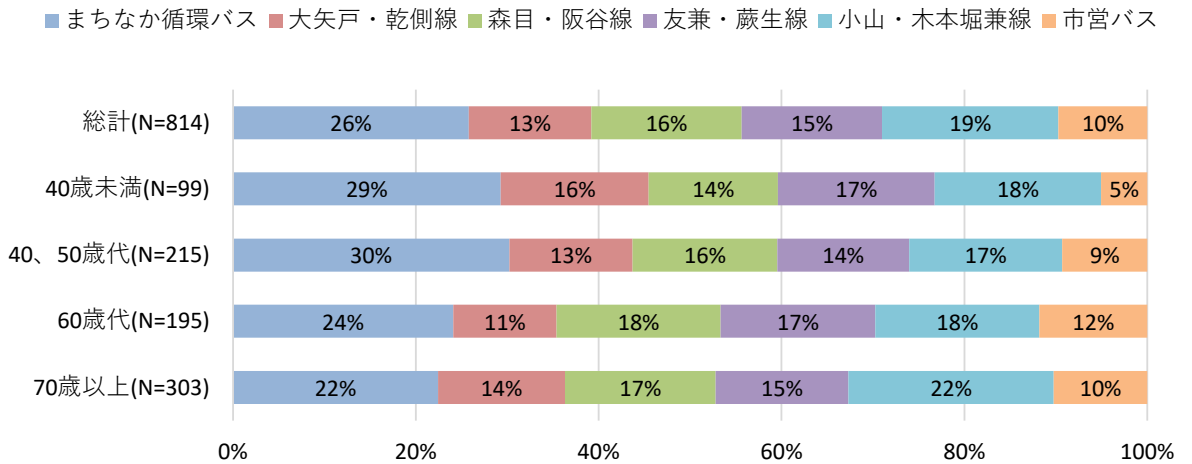
(自由回答)

◆「まちなか循環バス」が26%で最も多く、次いで「小山・木本堀兼線」が19%、「森目・阪谷線」が16%となっている。



【年代クロス】

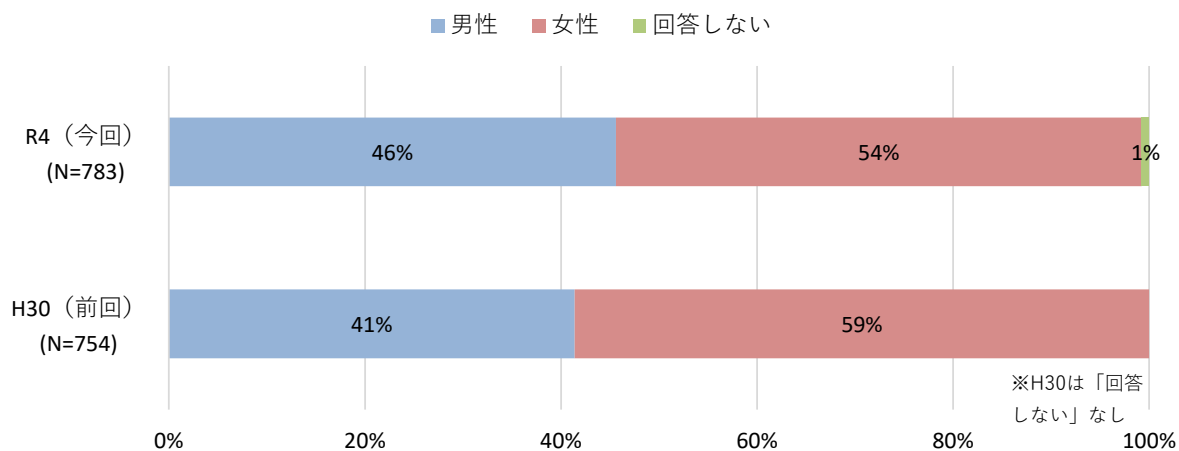
◆年代別では、40歳未満、40、50歳代で「まちなか循環バス」が約3割と、他の年代と比べて5ポイント以上高い。



【問 1】性別について

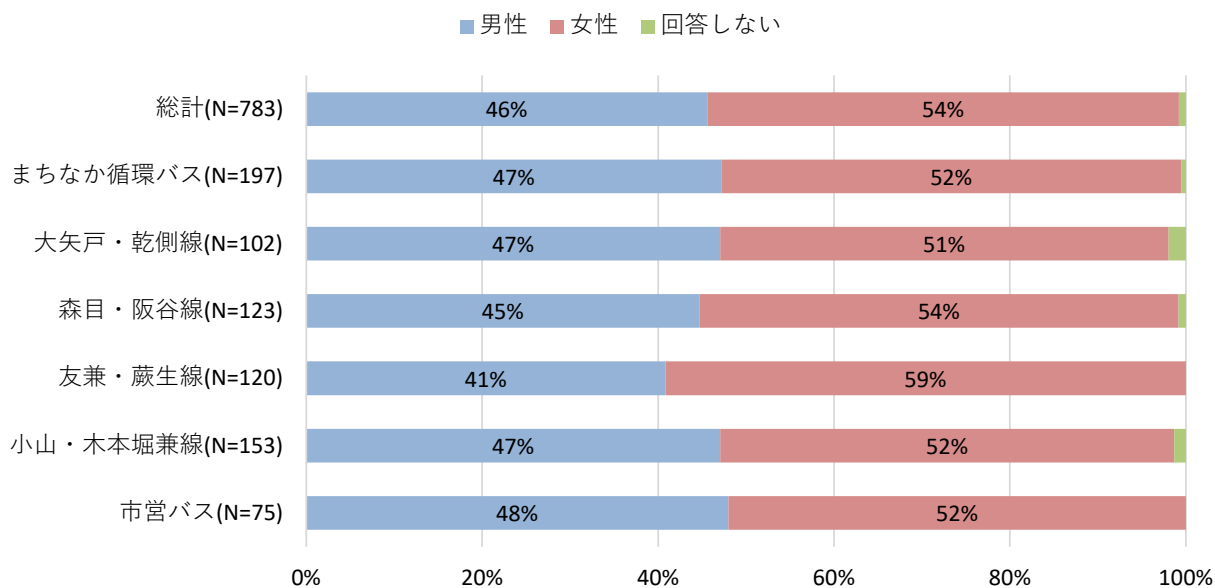
(該当する選択肢を1つ選択)

◆「女性」が54%、「男性」が46%となっている。



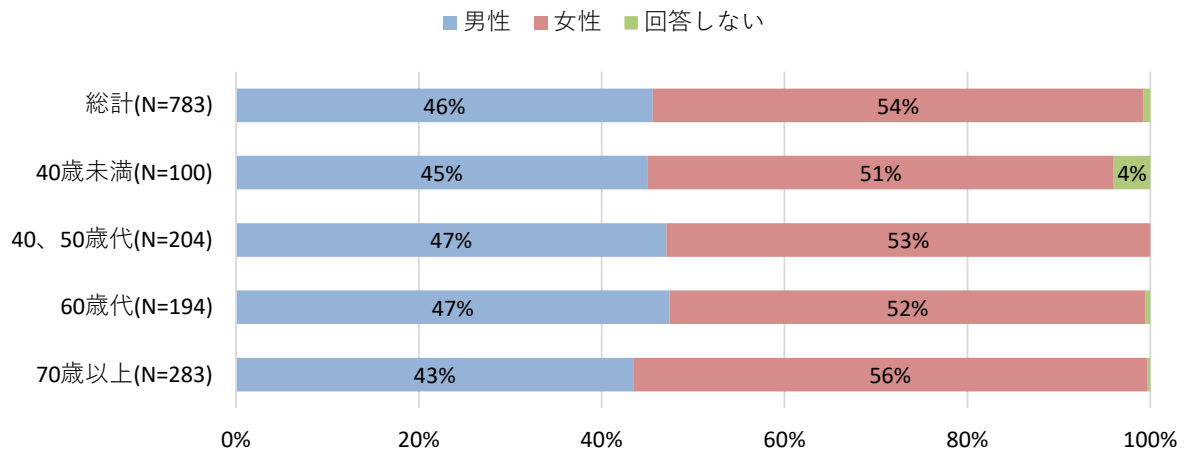
【地区クロス】

◆地区別では、友兼・蕨生線で「女性」が59%と、他の地区に比べて5ポイント以上高い。



【年代クロス】

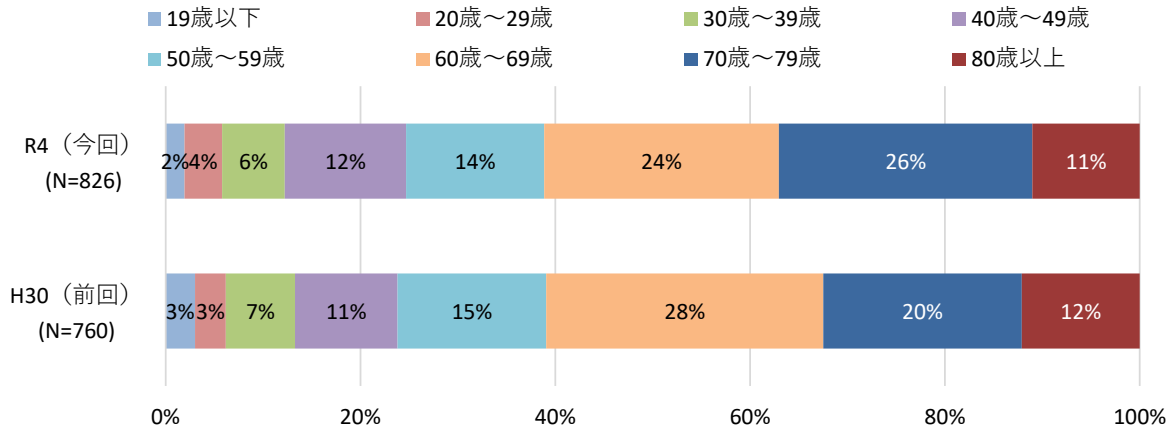
◆年代別では、大きな違いはみられない。



【問 1】 年齢について

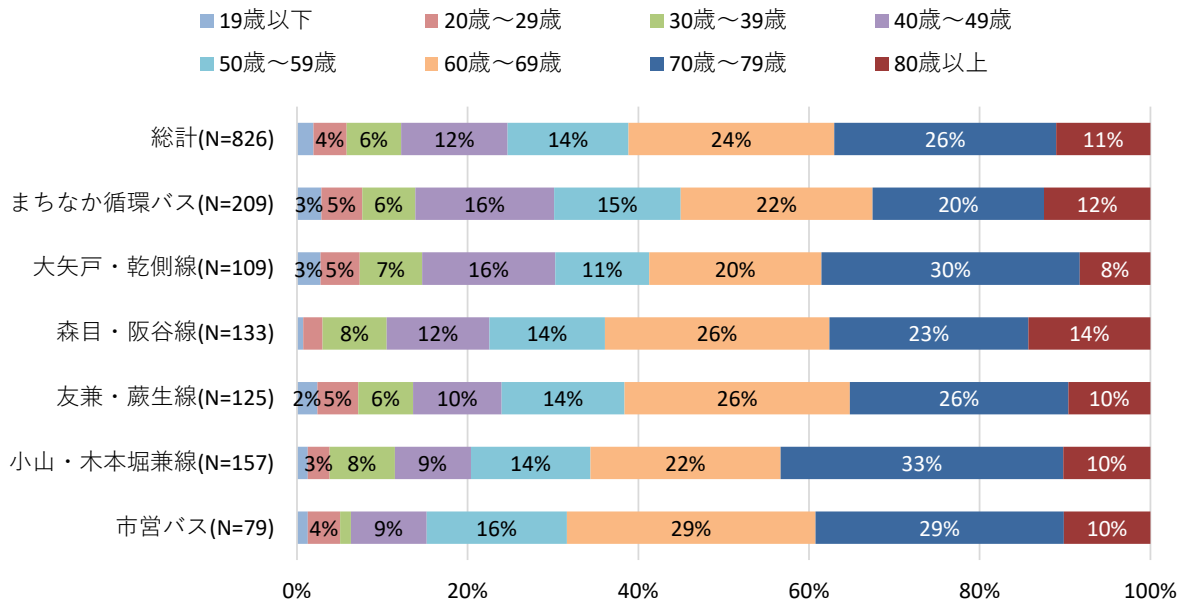
(該当する選択肢を 1 つ選択)

◆ 「70 歳～79 歳」が 26%で最も多く、次いで「60 歳～69 歳」が 24%、「50 歳～59 歳」が 14%となっている。



【地区クロス】

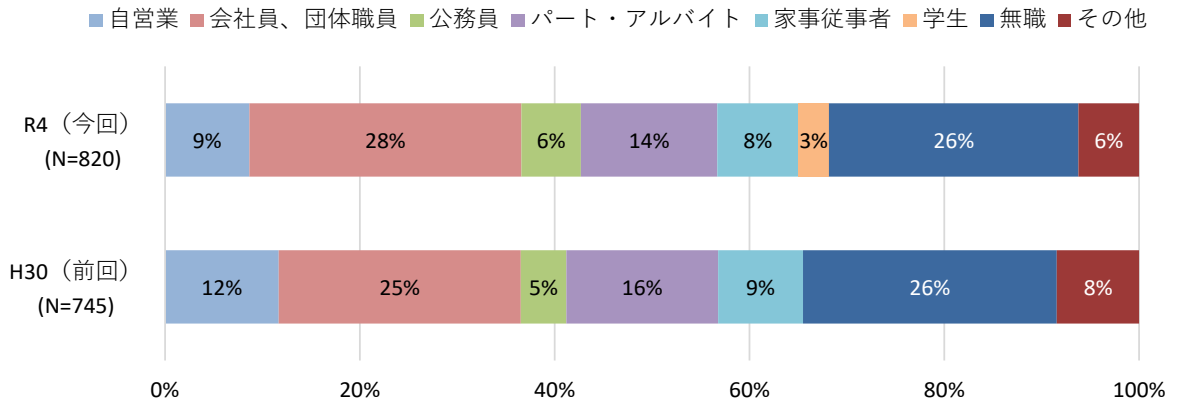
◆ 地区別では、まちなか循環バス、大矢戸・乾側線で 50 歳未満が約 3 割と、他の地区と比べて 7 ポイント以上高い。



【問1】職業について

(該当する選択肢を1つ選択)

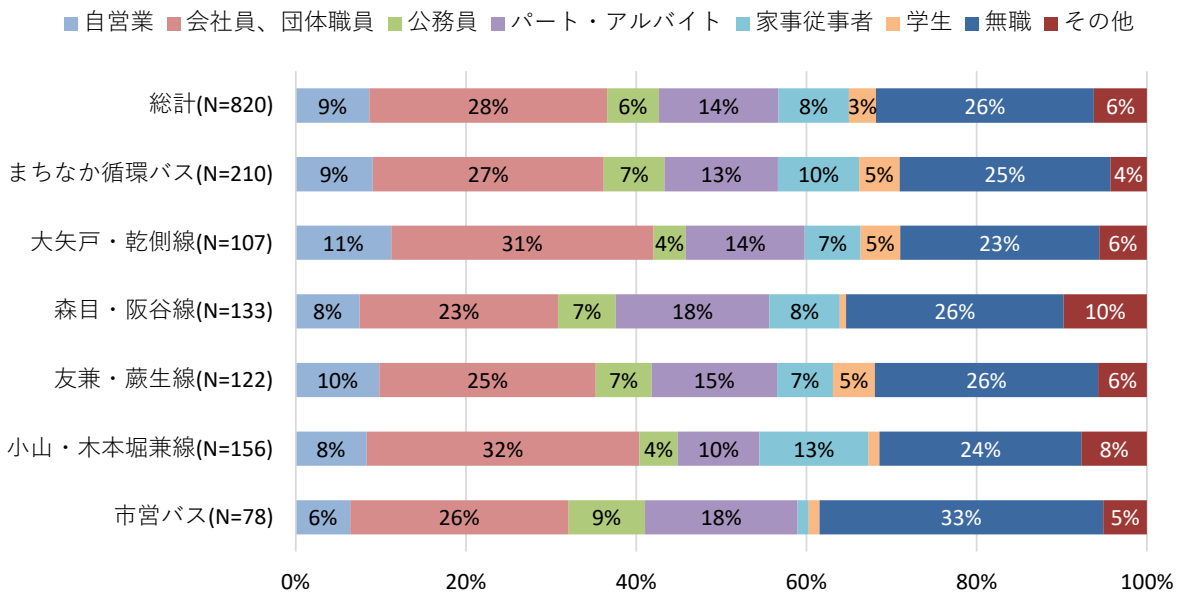
◆「会社員、団体職員」が28%で最も多く、次いで「無職」が26%、「パート・アルバイト」が14%となっている。



※その他の回答:農業・林業/主婦/シルバー人材センター 等

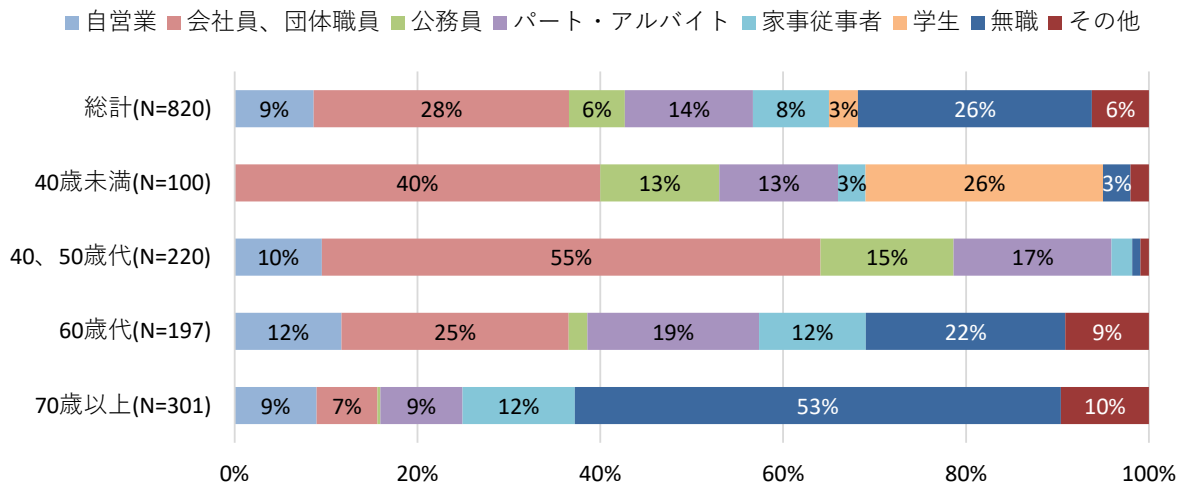
【地区クロス】

◆地区別では、市営バスで「無職」が33%と、他の地区と比べて7ポイント以上高い。



【年代クロス】

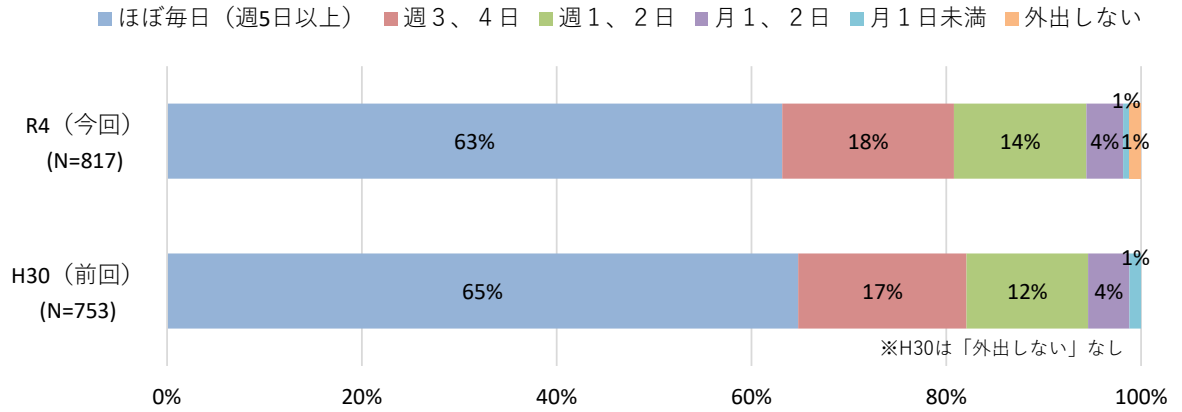
◆年代別では、年代が高くなるにつれて「家事従事者」「無職」が多い。



【問1】外出頻度について

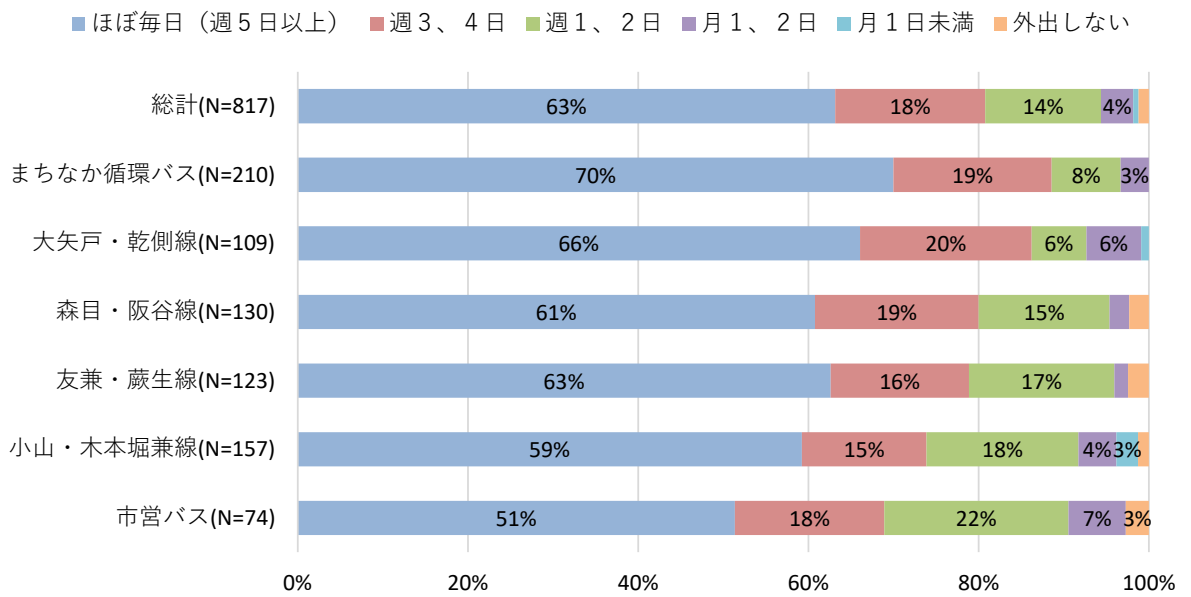
(該当する選択肢を1つ選択)

◆「ほぼ毎日(週5日以上)」が63%で最も多く、次いで「週3、4日」が18%、「週1、2日」が14%となっている。



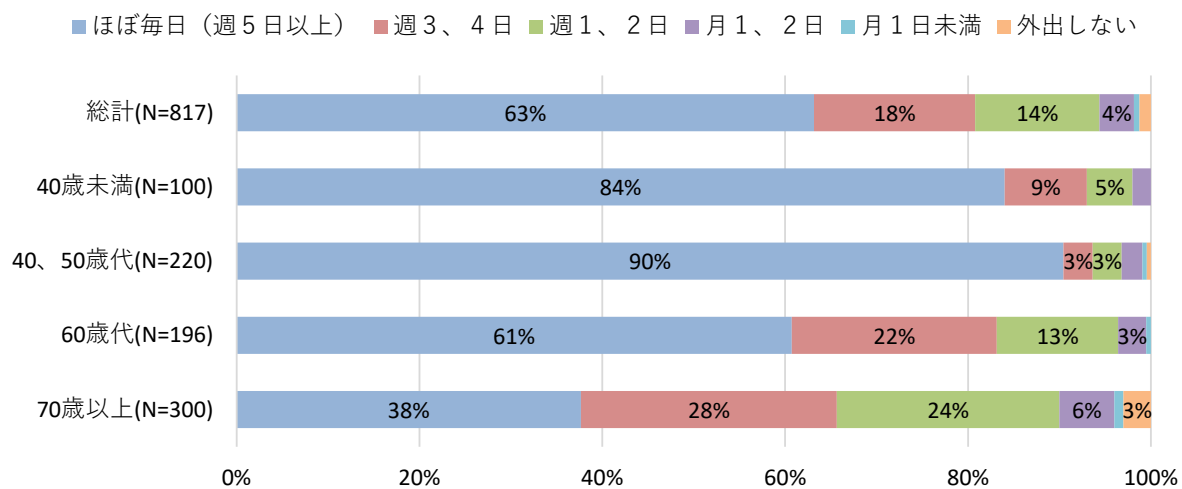
【地区クロス】

◆地区別では、まちなか循環バス、大矢戸・乾側線で「ほぼ毎日(週5日以上)」が約7割を占める。



【年代クロス】

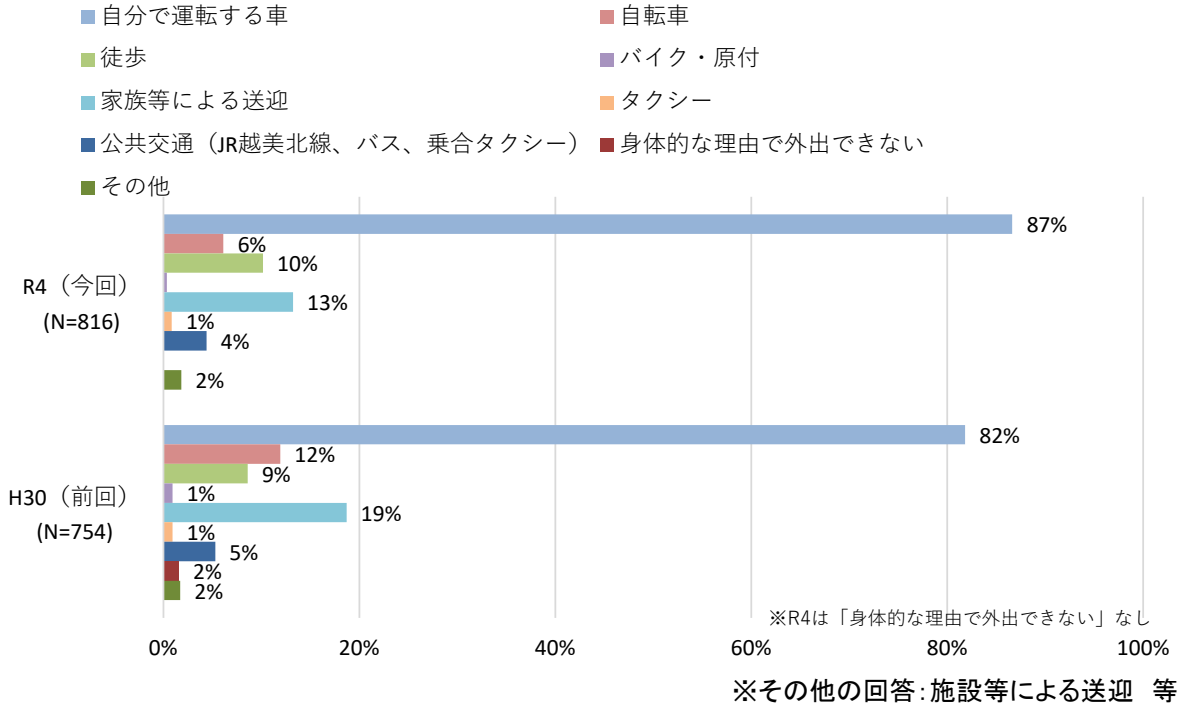
◆年代別では、40歳未満、40、50歳代で「ほぼ毎日（週5日以上）」が8割以上を占める。



【問1】主な移動手段について

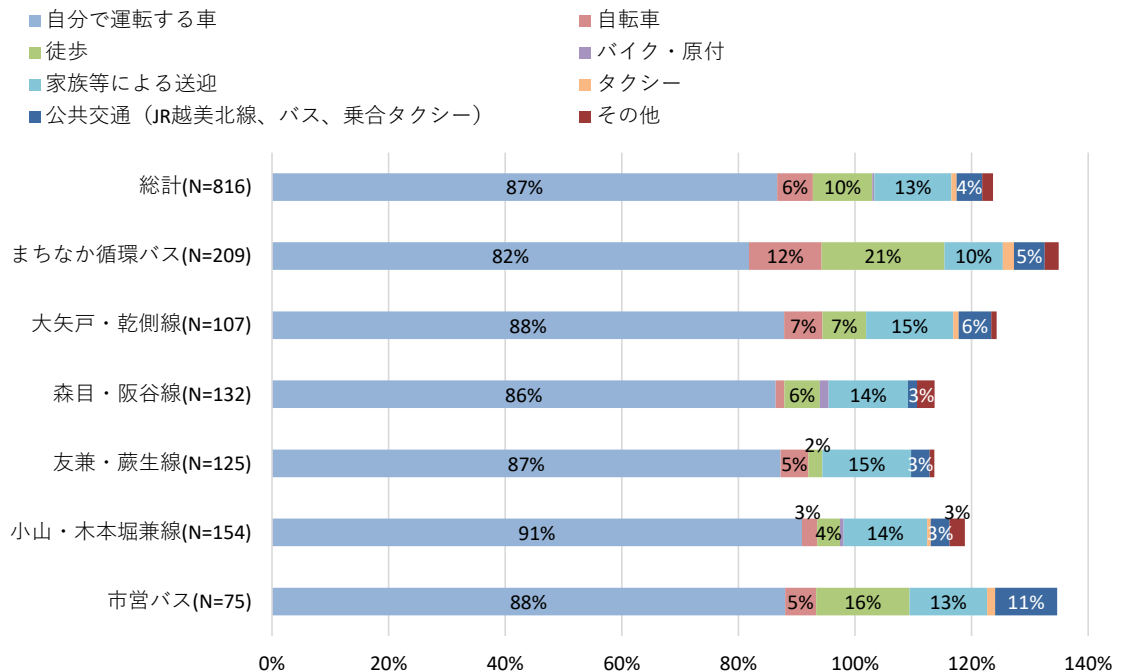
(該当する選択肢を2つまで選択)

◆「自分で運転する車」が87%で最も多く、次いで「家族等による送迎」が13%、「徒歩」が10%となっている。



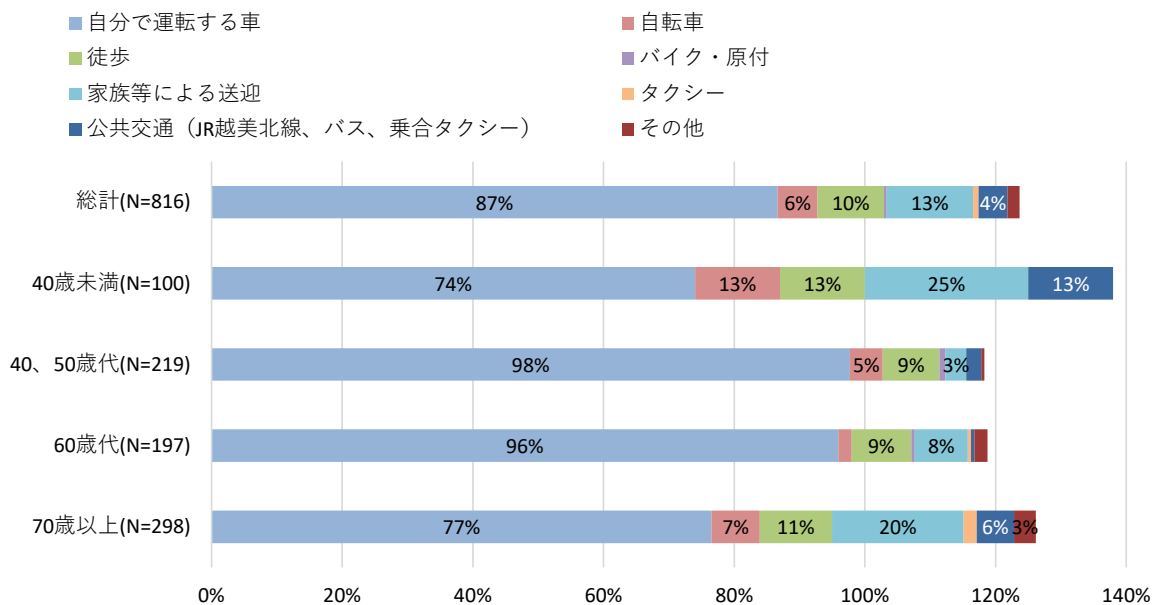
【地区クロス】

◆地区別では、まちなか循環バスで「自転車」「徒歩」の合計が33%と、他の地区と比べて12ポイント以上高い。



【年代クロス】

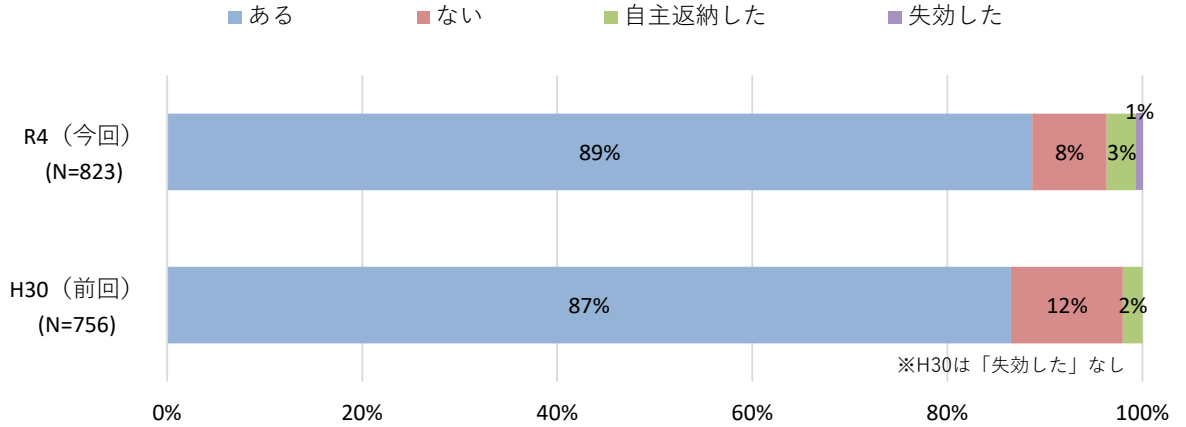
◆年代別では、40歳未満、70歳以上で「家族等による送迎」が2割以上を占め、他の年代と比べて12ポイント以上高い。



【問 1】自動車運転免許の有無

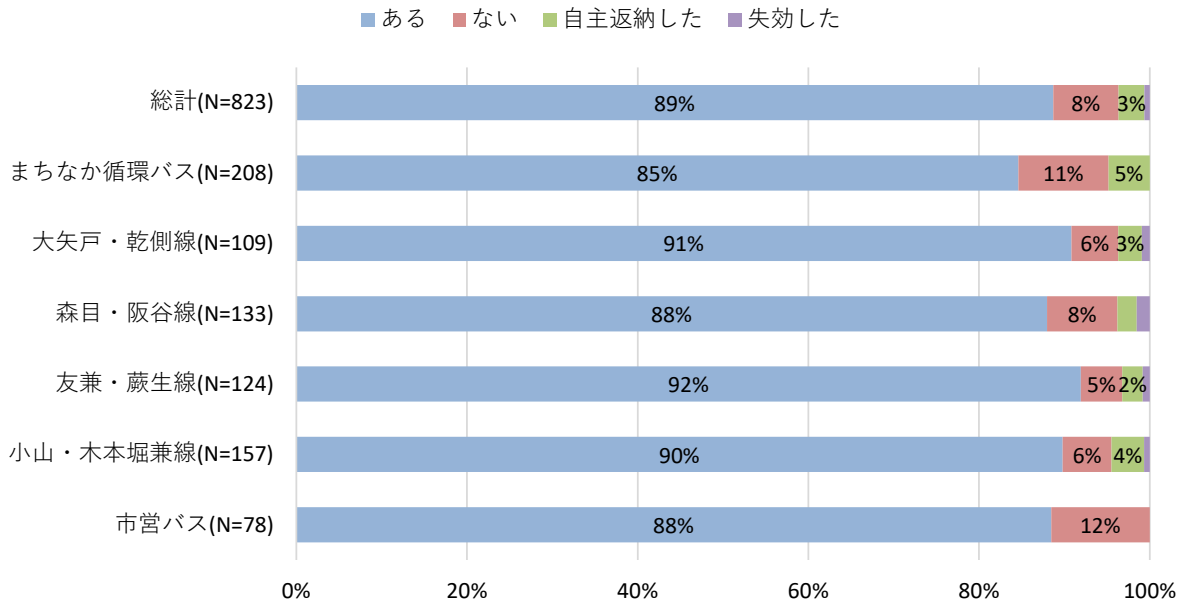
(該当する選択肢を1つ選択)

◆「ある」が89%で最も多く、次いで「ない」が8%、「自主返納した」が3%となっている。



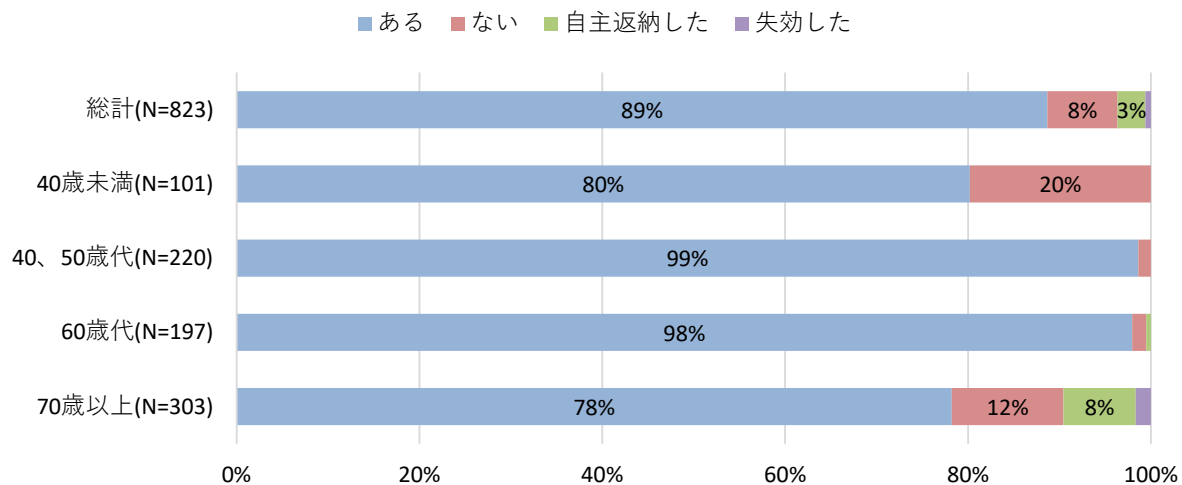
【地区クロス】

◆地区別では、大きな違いはみられない。



【年代クロス】

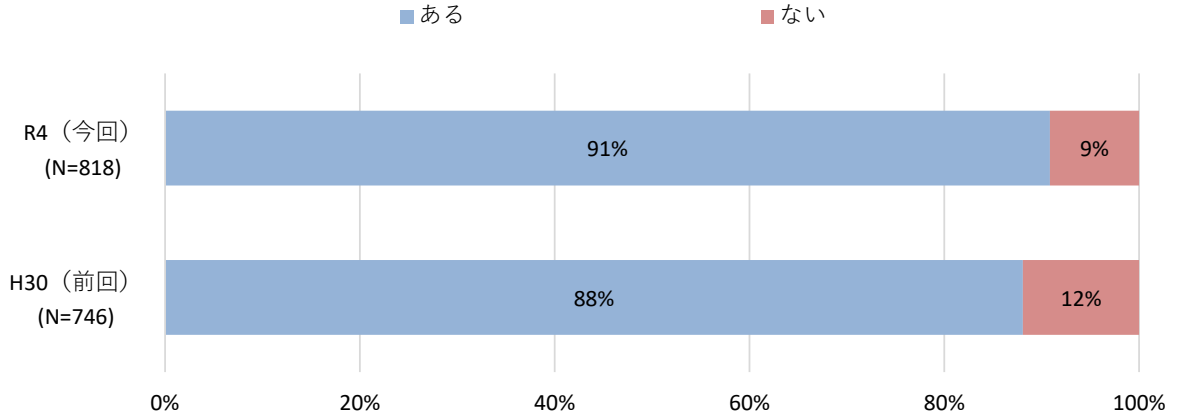
◆年代別では、40、50歳代と60歳代で「ある」が9割以上を占め、他の年代と比べて18ポイント以上高い。



【問1】 自家用車（マイカー）の有無

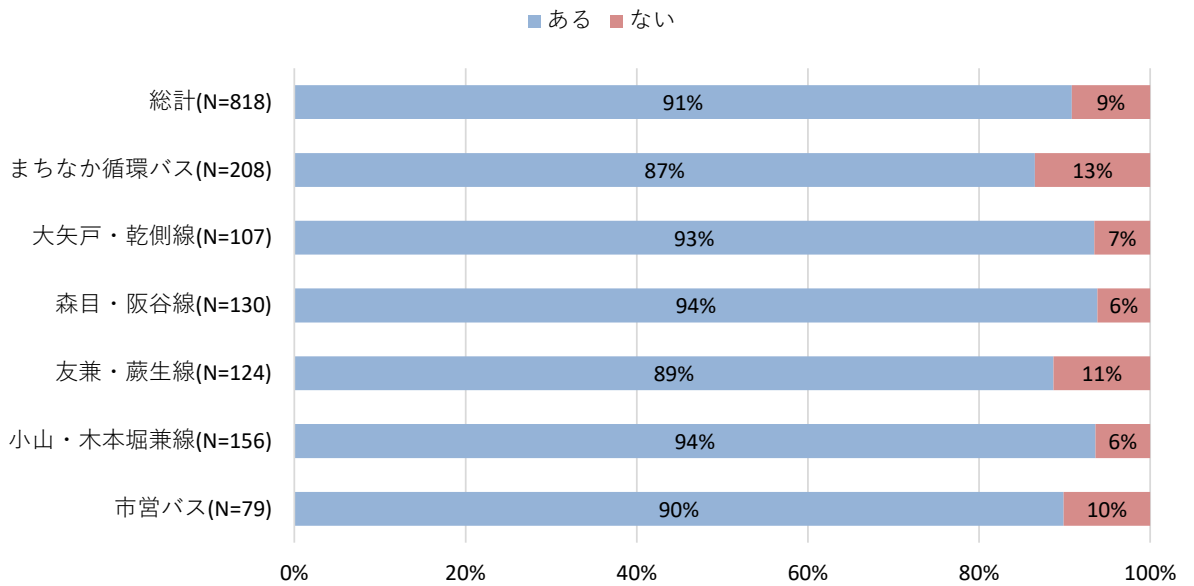
（該当する選択肢を1つ選択）

◆「ある」が91%、「ない」が9%となっている。



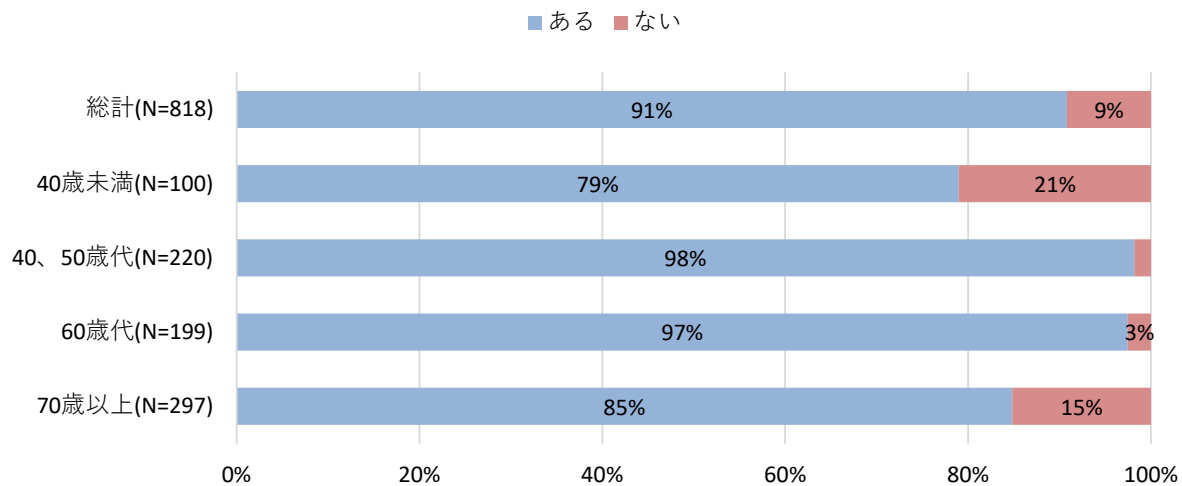
【地区クロス】

◆地区別では、大きな変化はみられない。



【年代クロス】

◆年代別では、40、50歳代と60歳代で「ある」が9割以上を占め、他の年代と比べて12ポイント以上高い。

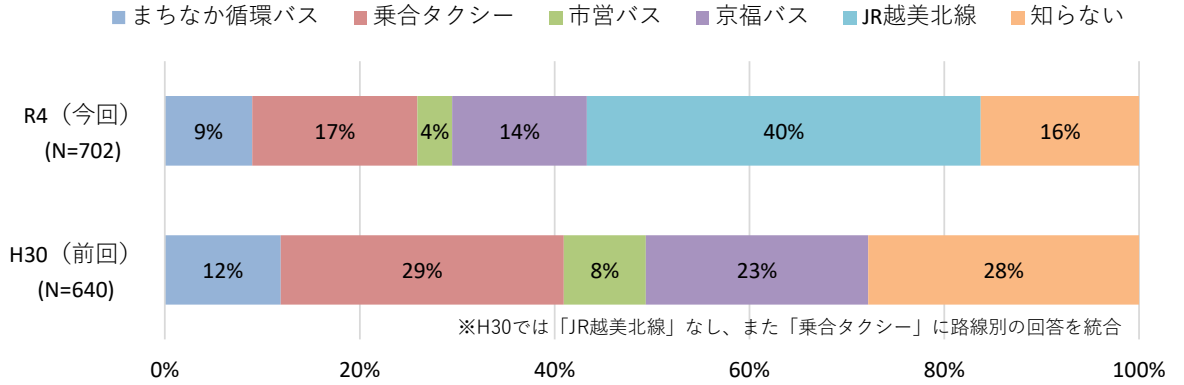


(2) 市内の公共交通の利用状況や満足度について

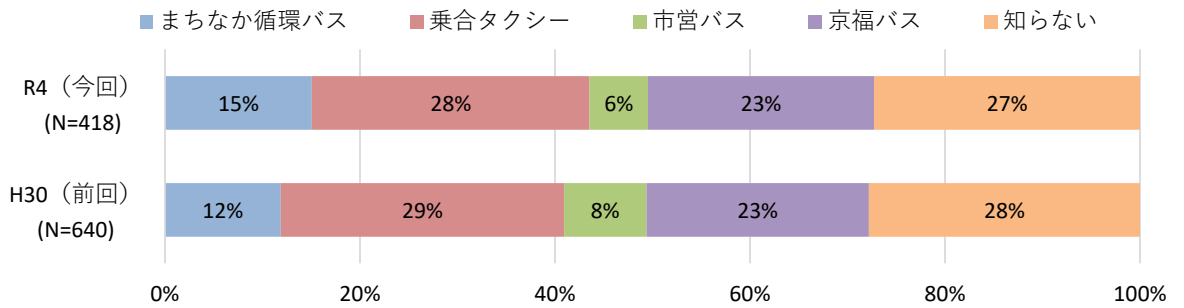
【問2】主に利用する公共交通について

(該当する選択肢を1つ選択)

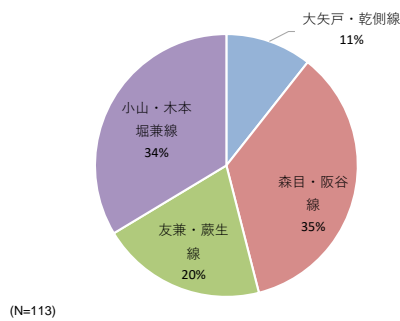
◆「JR越美北線」が40%で最も多く、次いで「乗合タクシー」が17%、「知らない」が14%となっている。



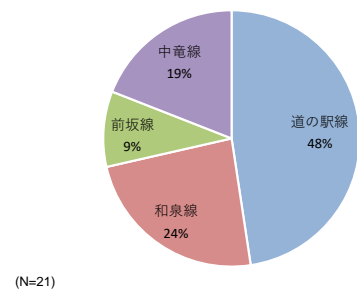
■参考 「JR越美北線」を除いた集計



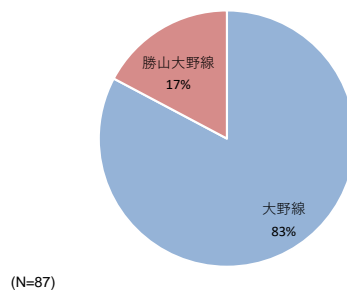
<具体的な内容/乗合タクシー>



<具体的な内容/市営バス>

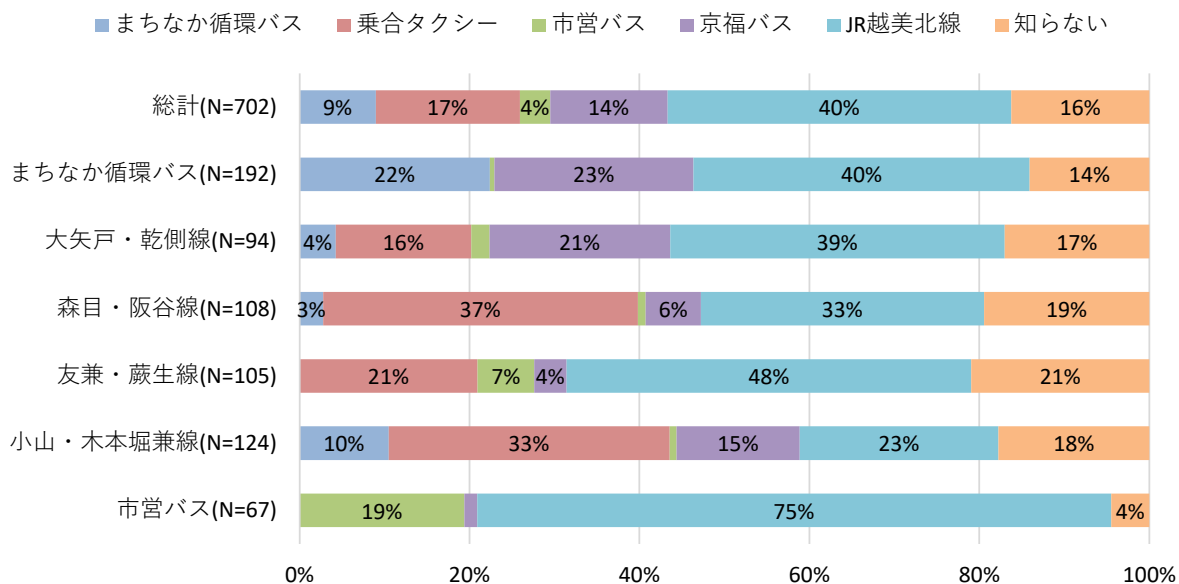


<具体的な内容/京福バス>



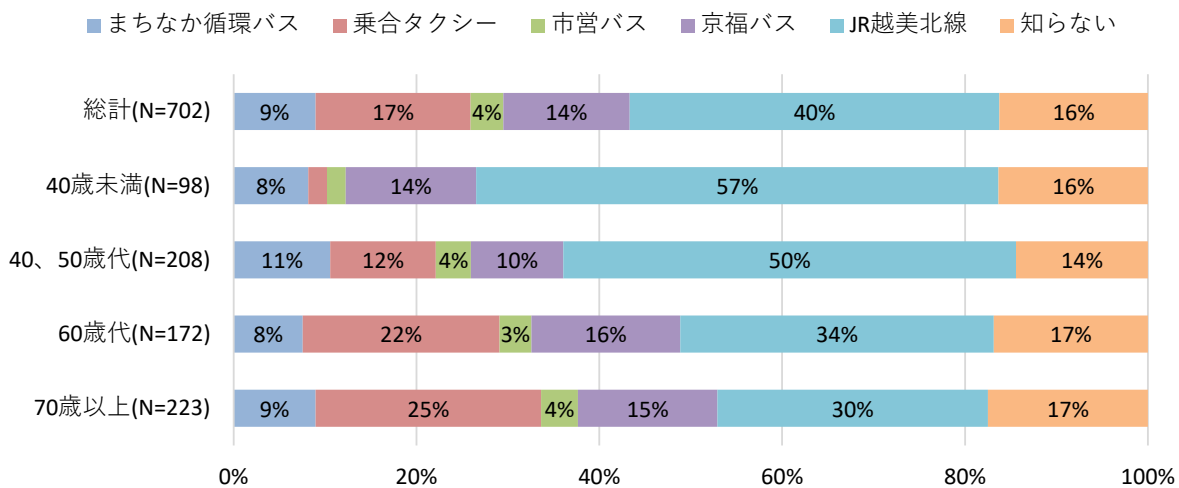
【地区クロス】

◆地区別では、市営バスで「JR 越美北線」が 75%と、他の地区と比べて 27 ポイント以上高い。



【年代クロス】

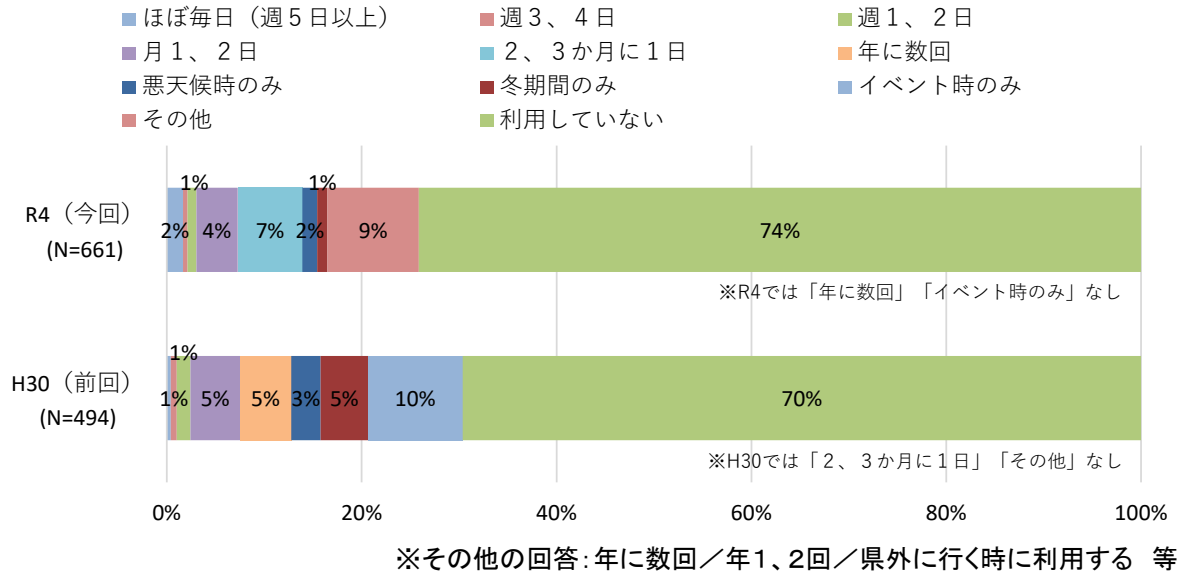
◆年代別では、40 歳未満で「JR 越美北線」が 57%と、他の年代と比べて 7 ポイント以上高い。



【問3①】問2で回答した公共交通機関の利用頻度について

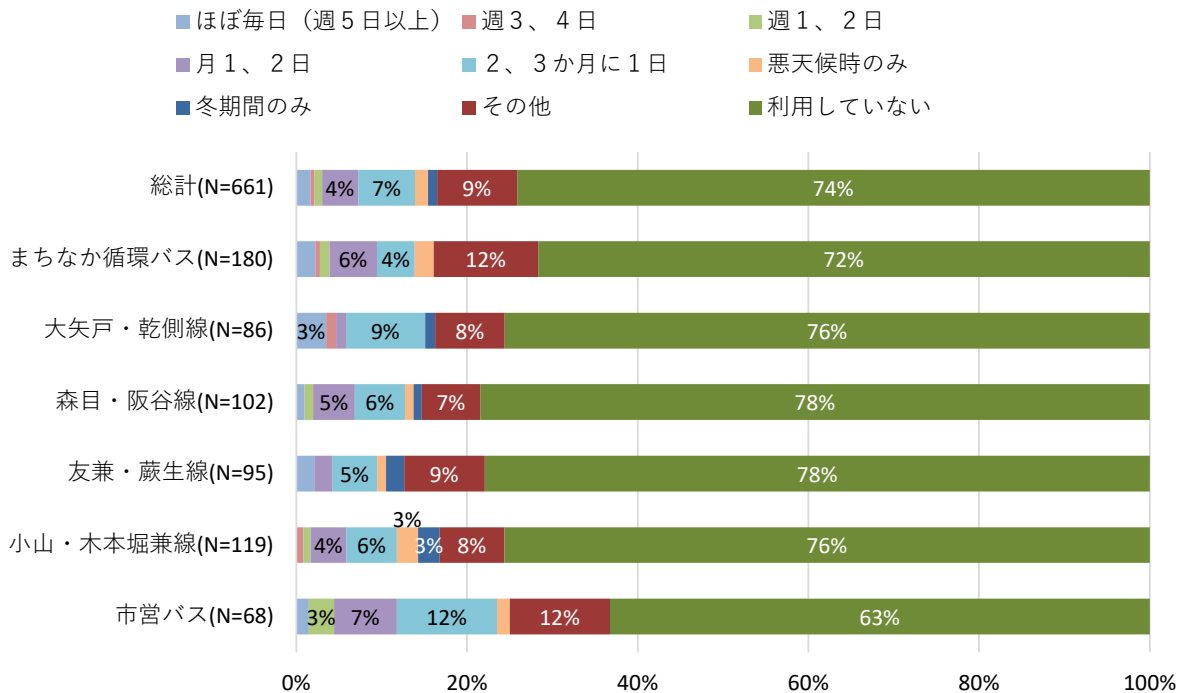
(該当する選択肢を1つ選択)

◆「利用していない」が75%で最も多く、次いで「週3、4日」が9%、「2、3か月に1日」が7%となっている。



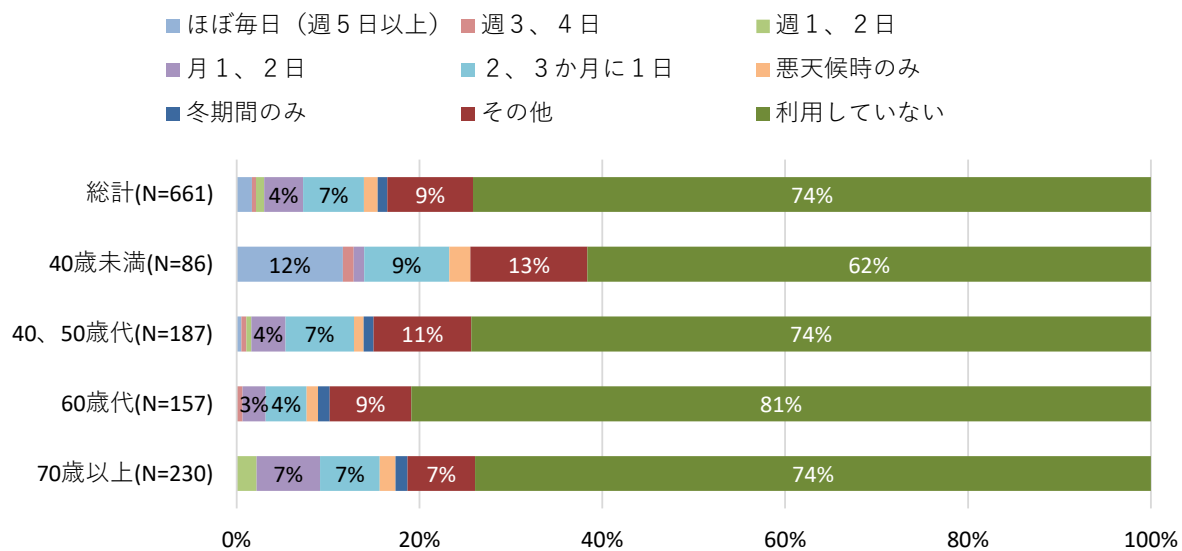
【地区クロス】

◆地区別では、市営バスで「利用していない」が63%と、他の地区と比べて9ポイント以上低い。



【年代クロス】

◆年代別では、40歳未満で「利用していない」が62%と、他の年代と比べて12ポイント以上低い。

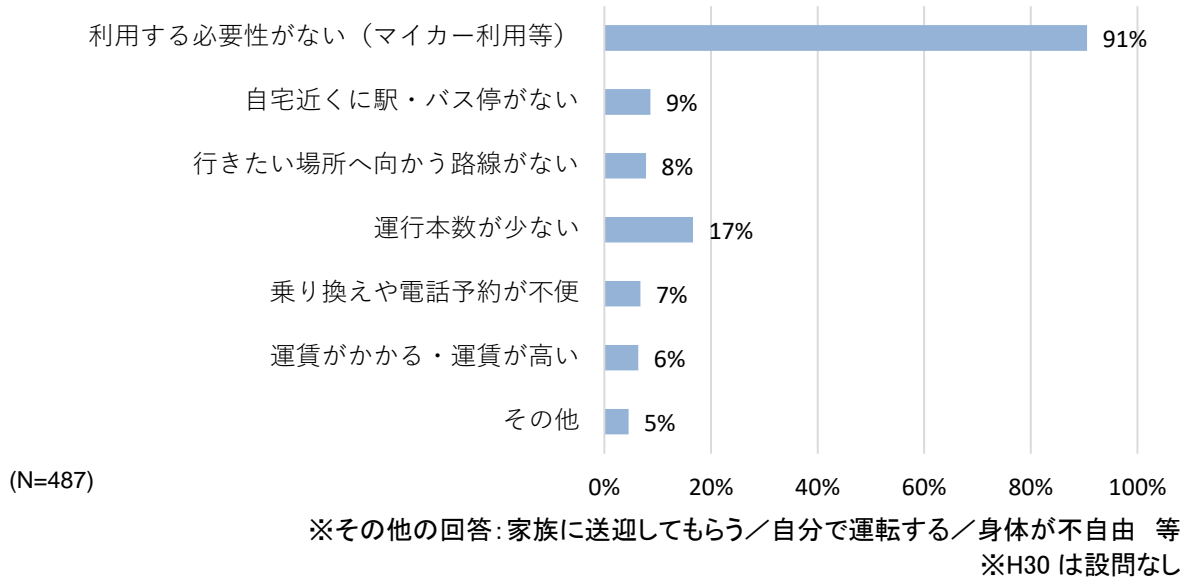


【問3②】 問2で回答した公共交通を利用しない理由

(問3①で「利用していない」を選択した方のみ)

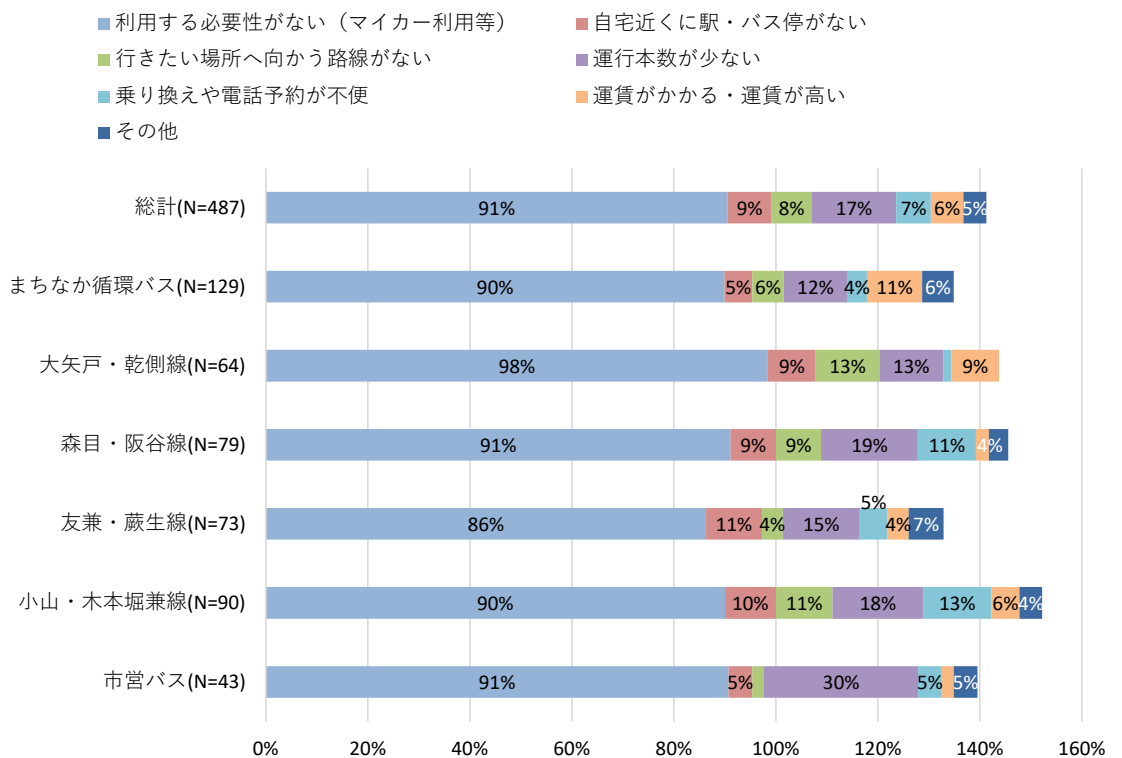
(該当する選択肢を全て選択)

◆「利用する必要性がない(マイカー利用等)」が91%で最も多く、次いで「運行本数が少ない」が17%、「自宅近くに駅・バス停がない」が9%となっている。



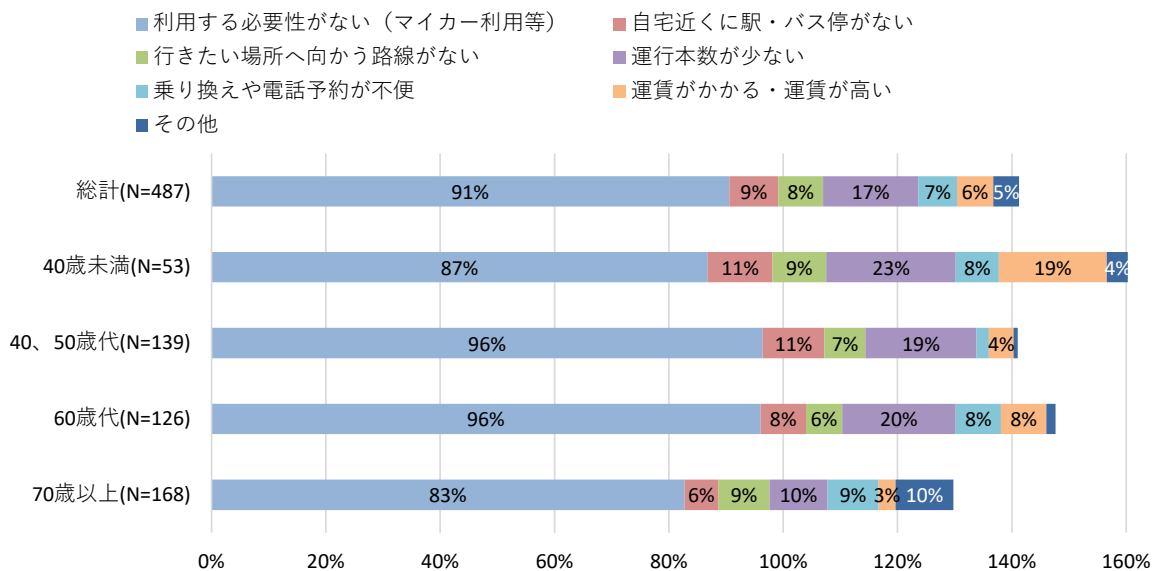
【地区クロス】

◆地区別では、市営バスで「運行本数が少ない」が30%と、他の地区と比べて11ポイント以上高い。



【年代クロス】

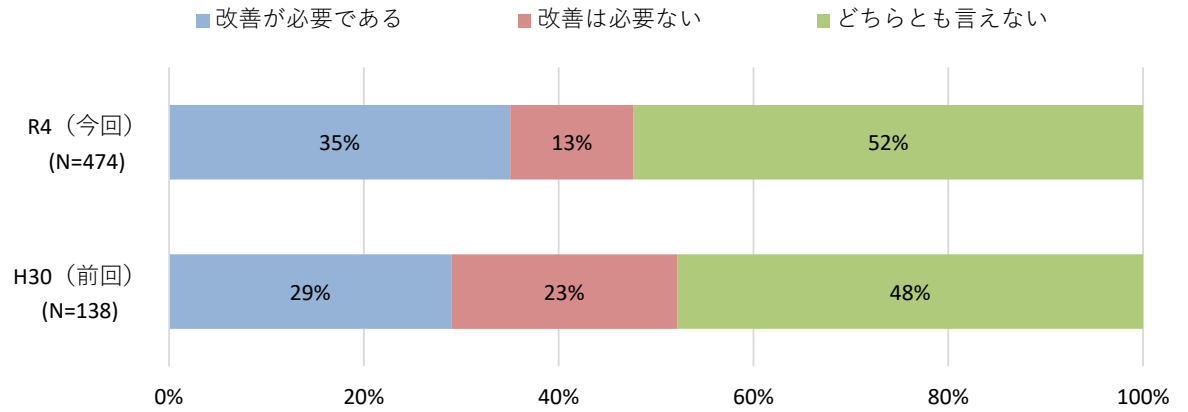
◆年代別では、40歳未満で「運賃がかかる・運賃が高い」が19%と、他と比べて11ポイント以上高い。



【問4】 問2で回答した公共交通についての改善の必要性について

(該当する選択肢を1つ選択)

- ◆ 「どちらとも言えない」が52%で最も多く、次いで「改善が必要である」が35%、「改善は必要ない」が13%となっている。

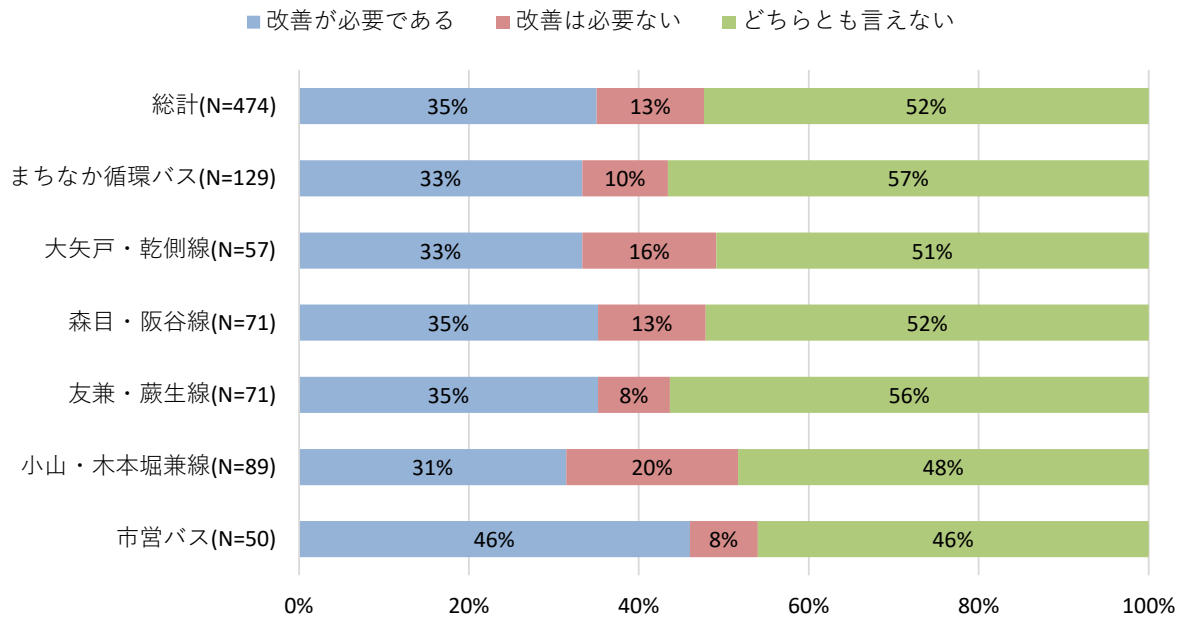


■具体的な改善内容

具体的な改善内容		回答数
分類	主な回答	
まちなか循環バス		11
運行本数の見直し	・帰りの便が少ない ・本数が少ない	4
運行ルートの見直し	・1回乗り換えは100円のまま乗車できると有り難い	2
運行車両の見直し	・車が老朽化して乗り心地が悪い	1
運行形態の見直し	・コースをもっと細かく	1
支払方法の見直し	・手を挙げれば停まって欲しい	1
その他	・バス停の縁石が危険	1
乗合タクシー		11
停留所の見直し	・ unnecessaryな地域も巡り目的地まで長時間掛かる ・ 買い出しは必要なので、「ハニー行き」「アオキ行き」「かじそ行き」と限定	4
運行車両の見直し	・ 乗客が少ないのにバスが大きい	3
運行形態の見直し	・ 予約でなく毎日運行して欲しい	2
運行本数の見直し	・ 運行本数を増やして欲しい	1
その他	・ 電話予約する時タクシー会社の対応に好感を持てなかった	1
市営バス		1
運行形態の見直し	・ すべての便(市営バス・中電線)を予約制にすれば良いのでは	1
京福バス		12
運行本数の見直し	・ 本数が年々減っている。増便を願う	5
運行車両の見直し	・ 小型バスで良いのではと思ってしまう	2
支払方法の見直し	・ 電子マネー、ICカード決済を可能にして欲しい	2
運行形態の見直し	・ バスは費用対効果が低く、通学通勤時間帯以外は思い切ってなくす	1
他の公共交通に関する意見	・ ふつうのタクシーを割引で利用できるようにする	1
その他	・ 具体的なものはわからない	1
JR越美北線		96
運行本数の見直し	・ 本数が少なく不便である ・ 朝の本数を増やしてほしい	50
運行ダイヤの見直し	・ 時間帯が不便 ・ 住民の利用時間を調査して最も利用しやすいダイヤを考えてほしい ・ 北陸新幹線に合ったダイヤに改正してほしい	15
運行車両の見直し	・ 列車の車両数が減ってしまい、福井駅から座れないことがある ・ 人が多い時間は2両にして欲しい	7
運行形態の見直し	・ 定時運行（越前鉄道と同様）する ・ 必要に応じた小回りの効いた運用を図るべき	4
停車駅の見直し	・ 途中の停車駅の数を減らして福井までの所要時間を短くする	4
運行サービスの充実	・ 四季に合ったお座敷列車みたいなものを作って利用者を増やす	4
パークアンドライドの整備	・ 停車する駅には各自の車で乗り付けて駐車しておけるようにする	1
支払方法の見直し	・ ICOCAが使えない	1
他の公共交通に関する意見	・ 駅まで行く為のバスを出す ・ 和泉地区こそ乗合タクシーでいいと思う	6
その他	・ 今の人口では公共交通を維持するのは困難。人口を増やす施策が必要	4
合計		131

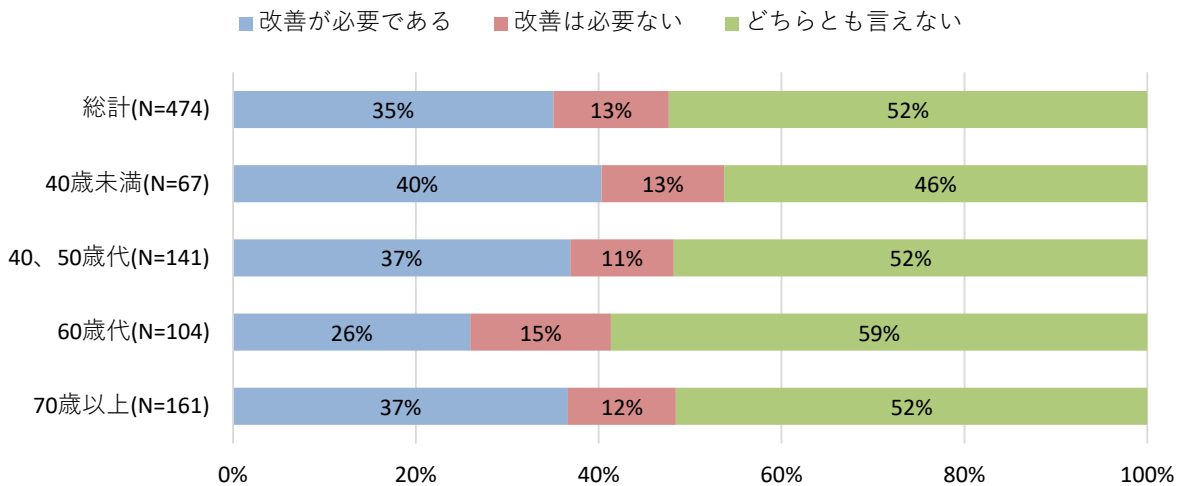
【地区クロス】

◆地区別では、市営バスで「改善が必要である」が46%と、他の地区と比べて11ポイント以上高い。



【年代クロス】

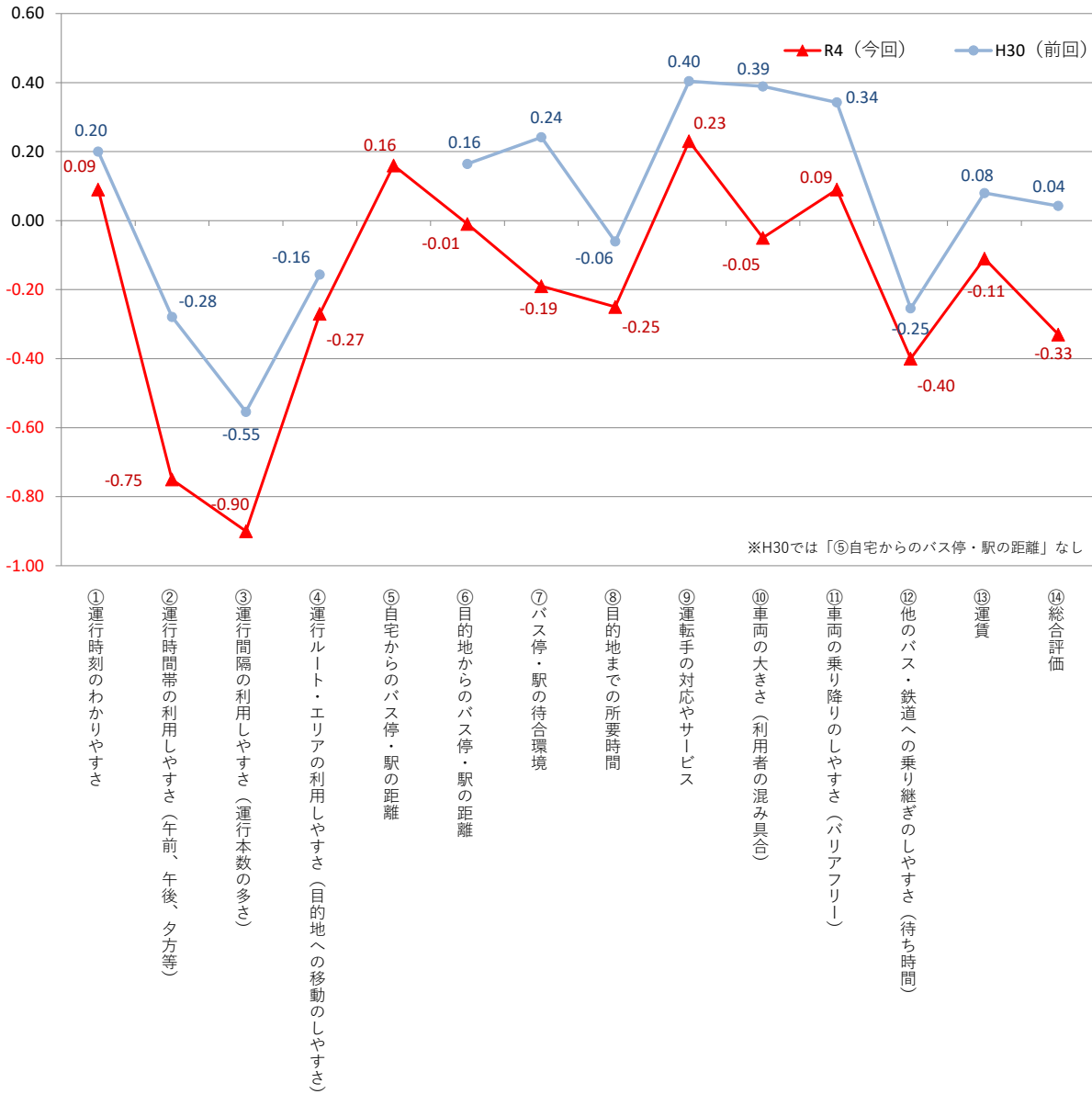
◆年代別では、60歳代で「改善が必要である」が26%と、他の年代と比べて9ポイント以上低い。



【問5】問2で回答した公共交通機関の満足度について

(該当する選択肢を1つ選択)

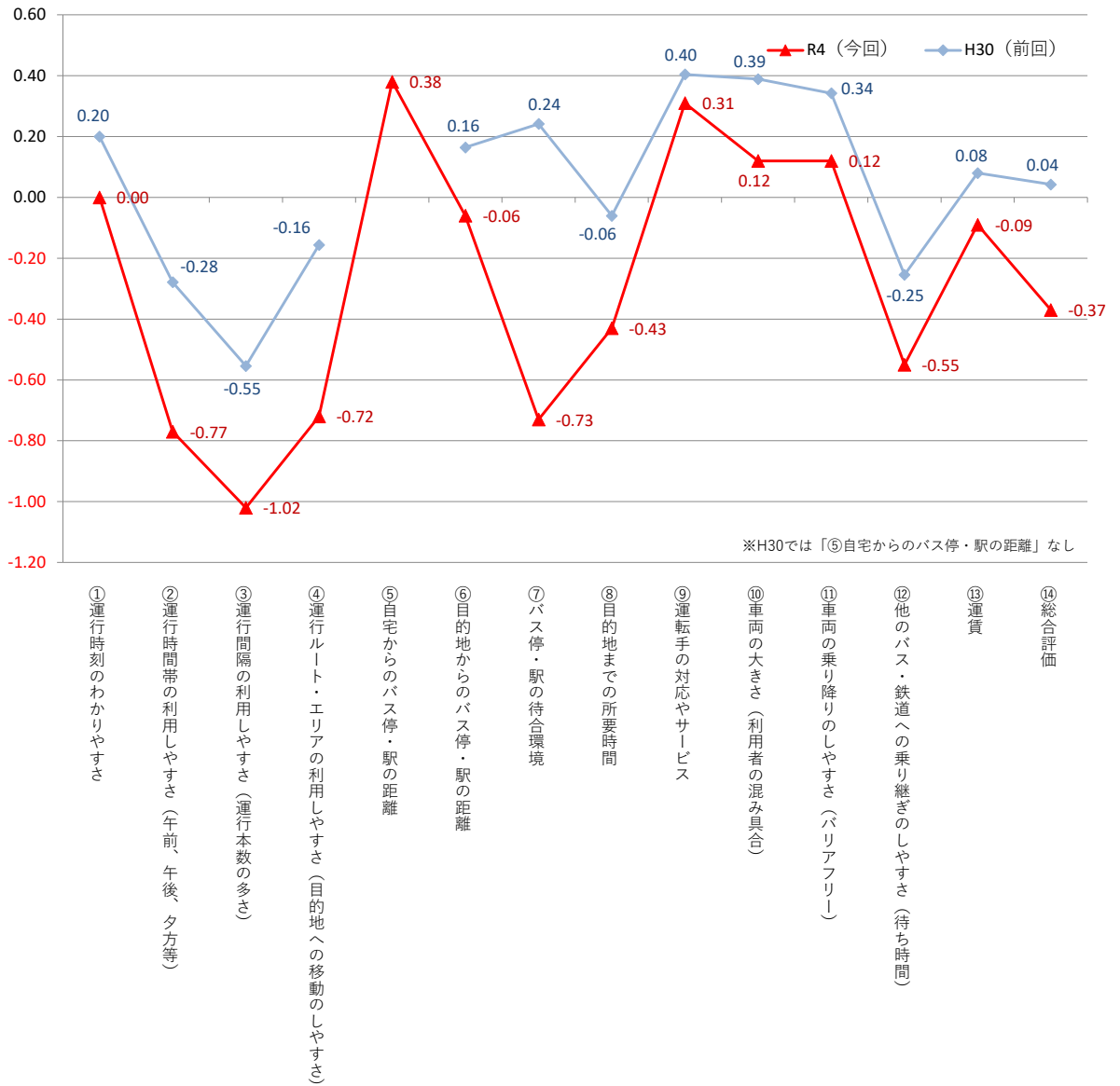
◆不満を-2点、やや不満を-1点、普通を0点、やや満足度を1点、満足度を2点として各選択肢の回答者数より加重平均値を算出した結果、「運転手の対応やサービス」「自宅からのバス停・駅の距離」の満足度が高く、「運行間隔の利用しやすさ（運行本数の多さ）」「運行時間帯の利用しやすさ（午前、午後、夕方等）」の満足度が低くなっている。



【評価点の算出式】

$$\frac{\{ \text{満足} \times (2 \text{点}) + \text{やや満足} \times (1 \text{点}) + \text{普通} \times (0 \text{点}) + \text{やや不満} (-1 \text{点}) + \text{不満} (-2 \text{点}) \}}{\text{各選択肢の回答者数}}$$

■参考 問2で「JR 越美北線」との回答を除いた集計

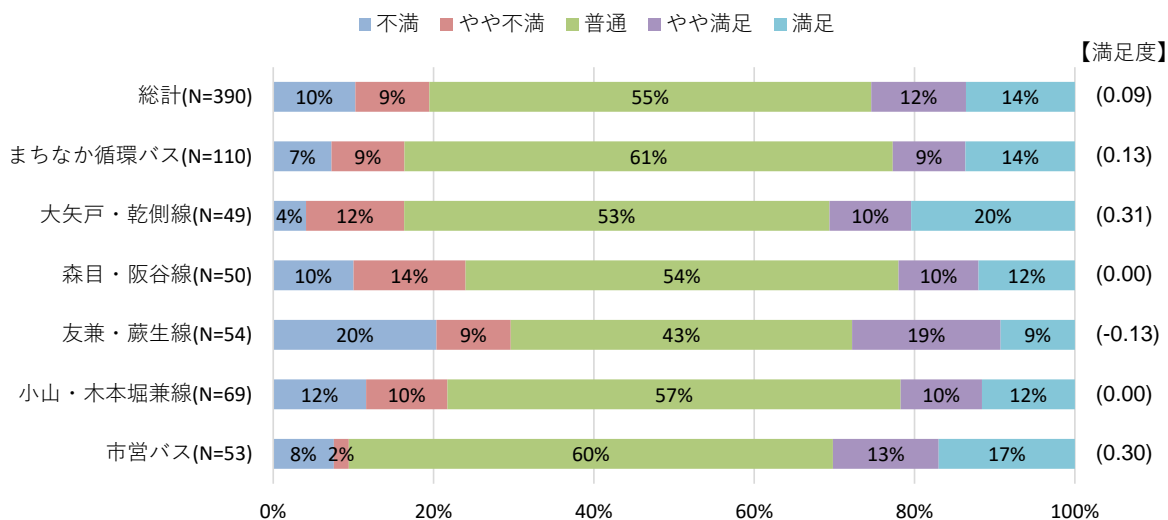


問5 ①運行時刻の分かりやすさ

【地区クロス】

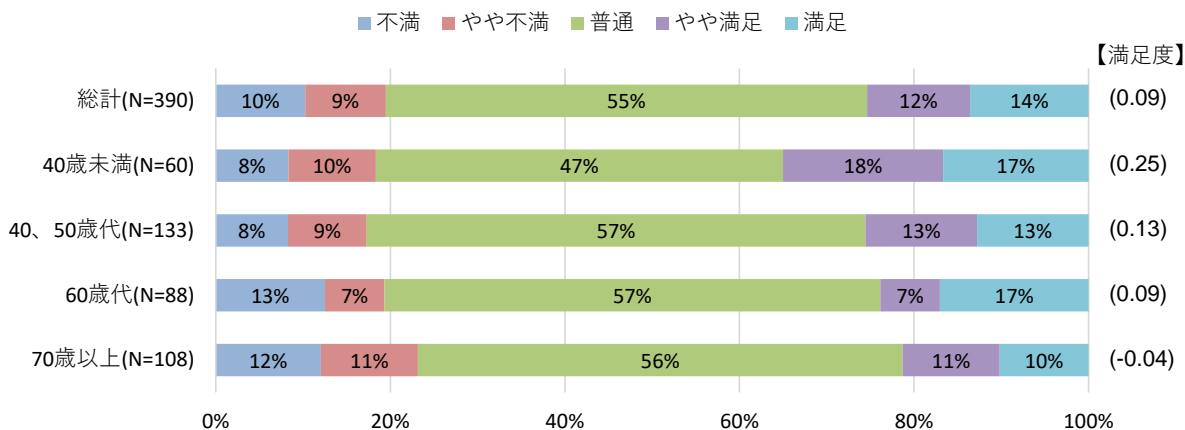
◆運行時刻の分かりやすさについては、満足度がプラス評価(0.09)となっている。

◆地区別では、友兼・蕨生線の満足度(-0.13)が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

◆年代別では、70歳以上の満足度(-0.04)が他の年代と比べて低い。

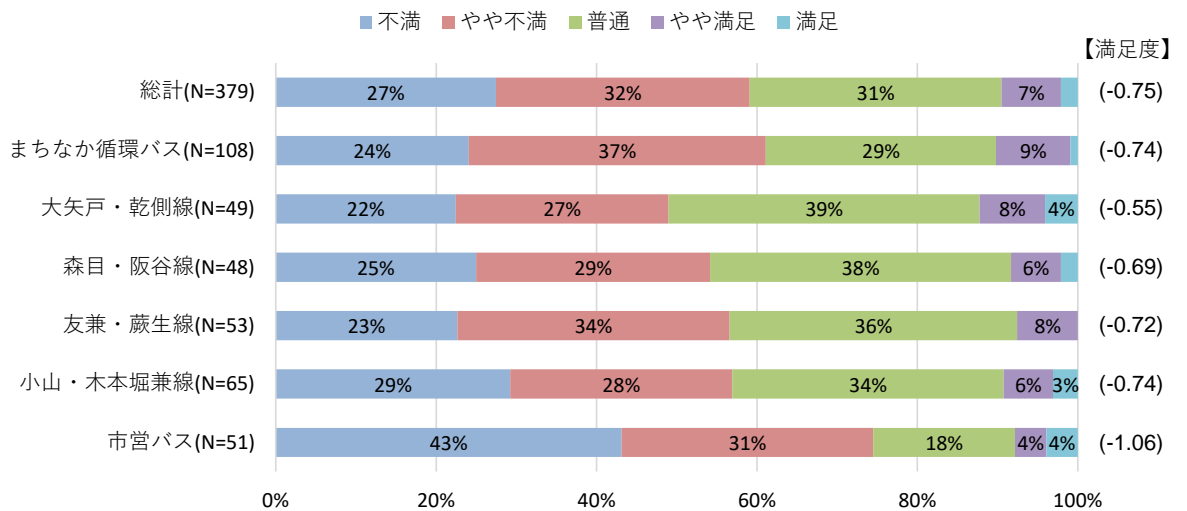


問5 ②運行時間帯の利用しやすさ(午前、午後、夕方等)

【地区クロス】

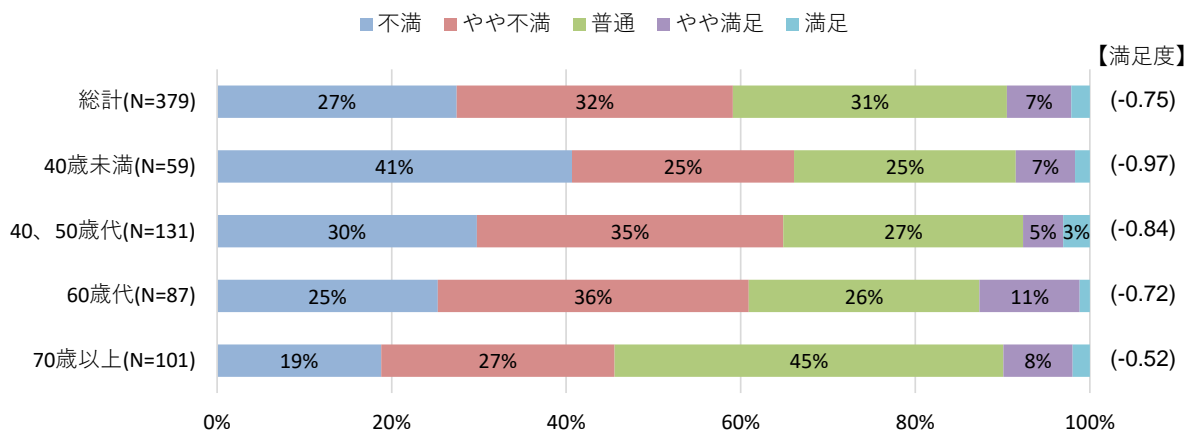
◆運行時間帯の利用しやすさ(午前、午後、夕方等)については、満足度がマイナス評価(-0.75)となっている。

◆地区別では、市営バスの満足度(-1.06)が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

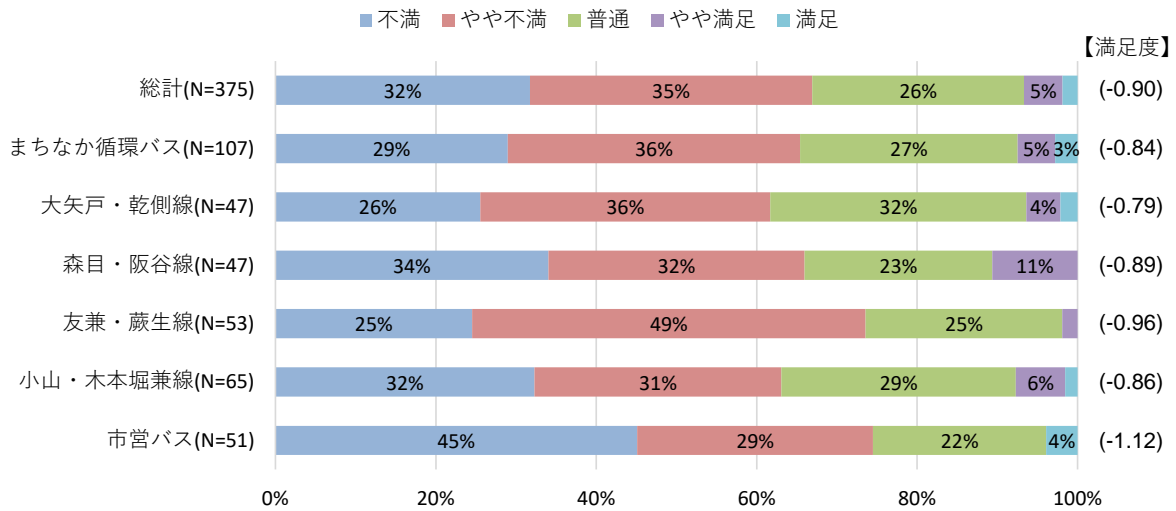
◆年代別では、40歳未満の満足度(-0.97)が他の年代と比べて低い。



問5 ③運行間隔の利用しやすさ(運行本数の多さ)

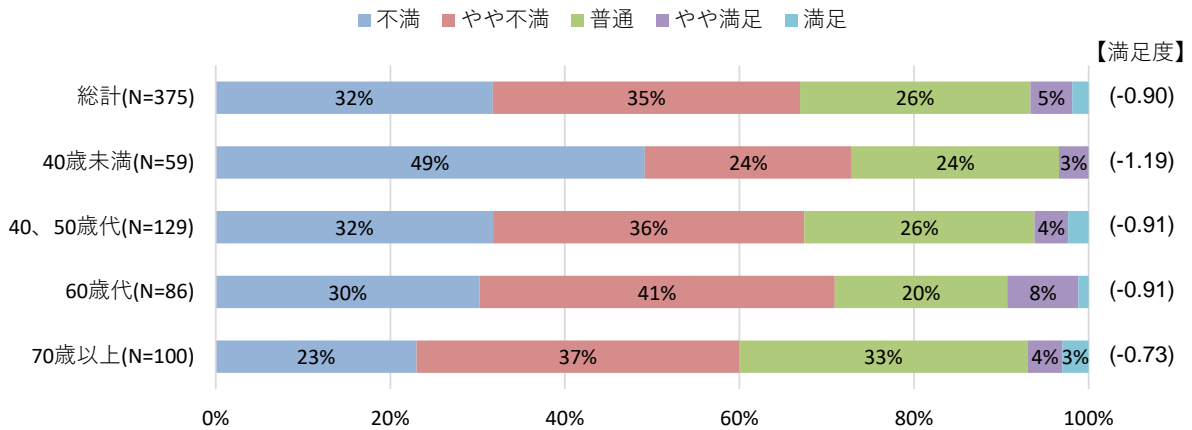
【地区クロス】

- ◆運行間隔の利用しやすさ(運行本数の多さ)については、満足度がマイナス評価(-0.90)となっている。
- ◆地区別では、市営バスの満足度(-1.12)が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

- ◆年代別では、40歳未満の満足度(-1.19)が他の年代と比べて低い。

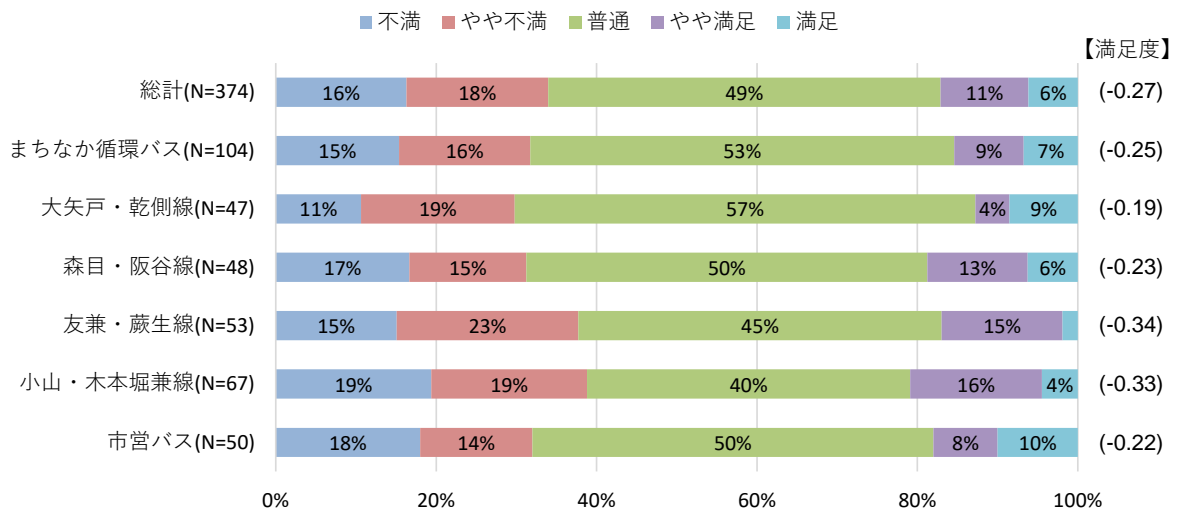


問5 ④運行ルート・エリアの利用しやすさ(目的地への移動のしやすさ)

【地区クロス】

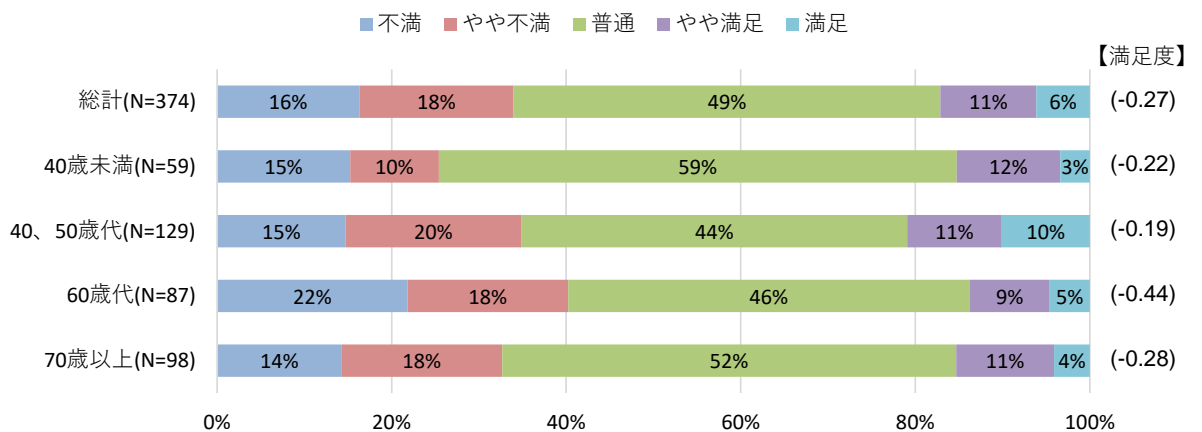
◆運行ルート・エリアの利用しやすさ(目的地への移動のしやすさ)については、満足度がマイナス評価(-0.27)となっている。

◆地区別では、友兼・蕨生線(-0.34)、小山・木本堀兼線(-0.33)の満足度が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

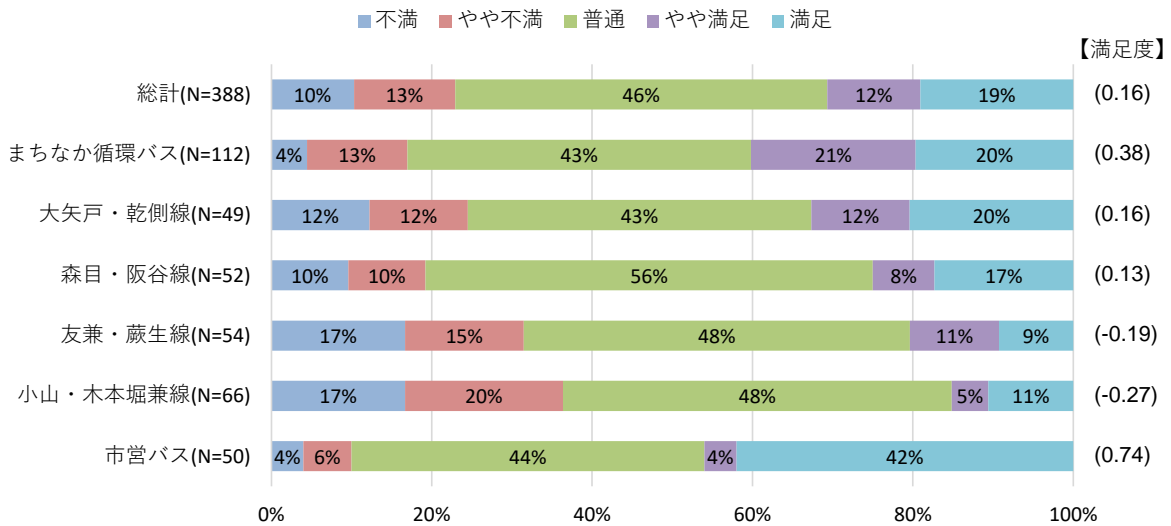
◆年代別では、60歳代の満足度(-0.44)が他の年代と比べて低い。



問5 ⑤自宅からのバス停・駅の距離

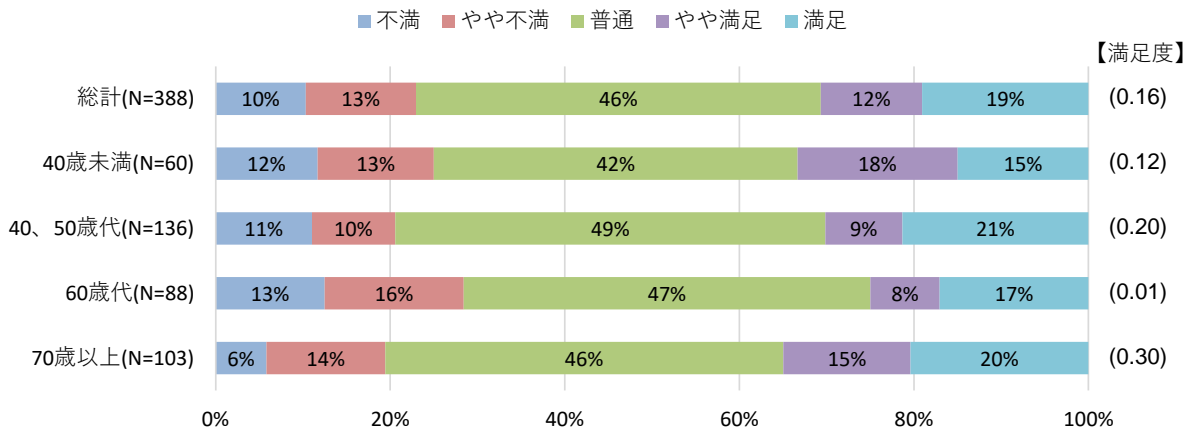
【地区クロス】

- ◆自宅からのバス停・駅の距離については、満足度がプラス評価(0.16)となっている。
- ◆地区別では、市営バスの満足度(0.74)が他の地区と比べて高い。



【年代クロス】

- ◆年代別では、70歳以上の満足度(0.30)が他の年代と比べて高い。

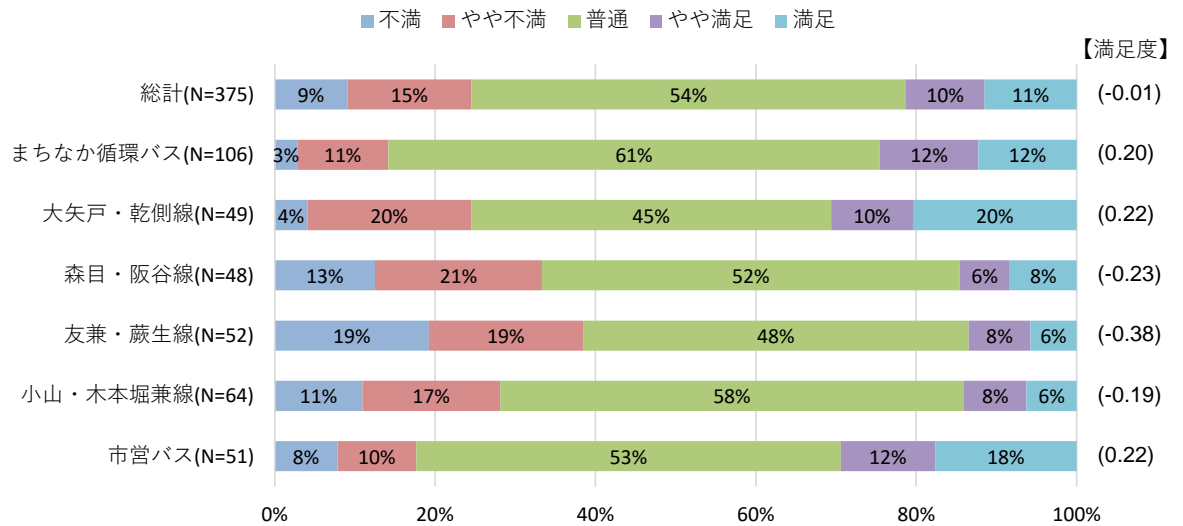


問5 ⑥目的地からのバス停・駅の距離

【地区クロス】

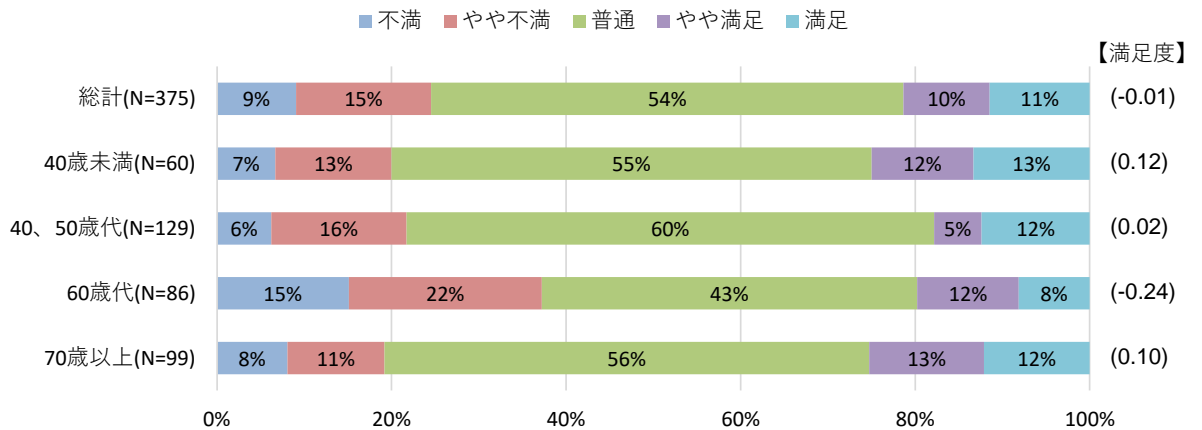
◆目的地からのバス停・駅の距離については、満足度がマイナス評価(-0.01)となっている。

◆地区別では、友兼・蕨生線の満足度(-0.38)が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

◆年代別では、60歳代の満足度(-0.24)が他の年代と比べて低い。

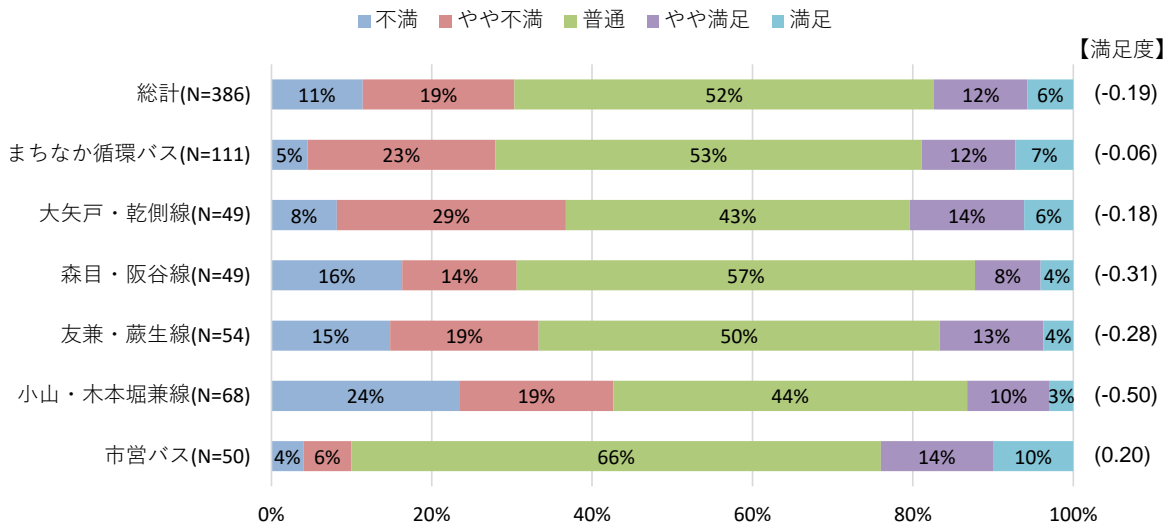


問5 ⑦バス停・駅の待合環境

【地区クロス】

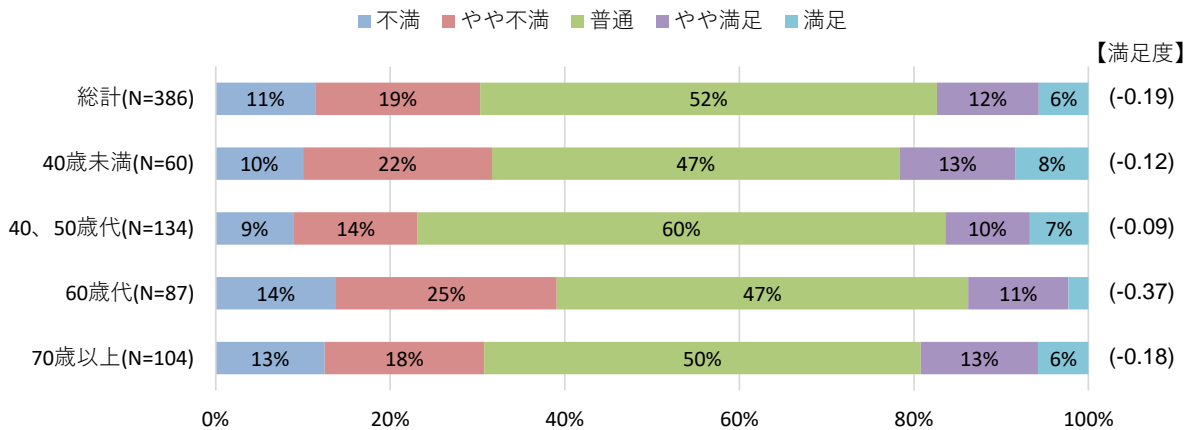
◆バス停・駅の待合環境については、満足度がマイナス評価(-0.19)となっている。

◆地区別では、小山・木本堀兼線の満足度(-0.50)が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

◆年代別では、60歳代の満足度(-0.37)が他の年代と比べて低い。

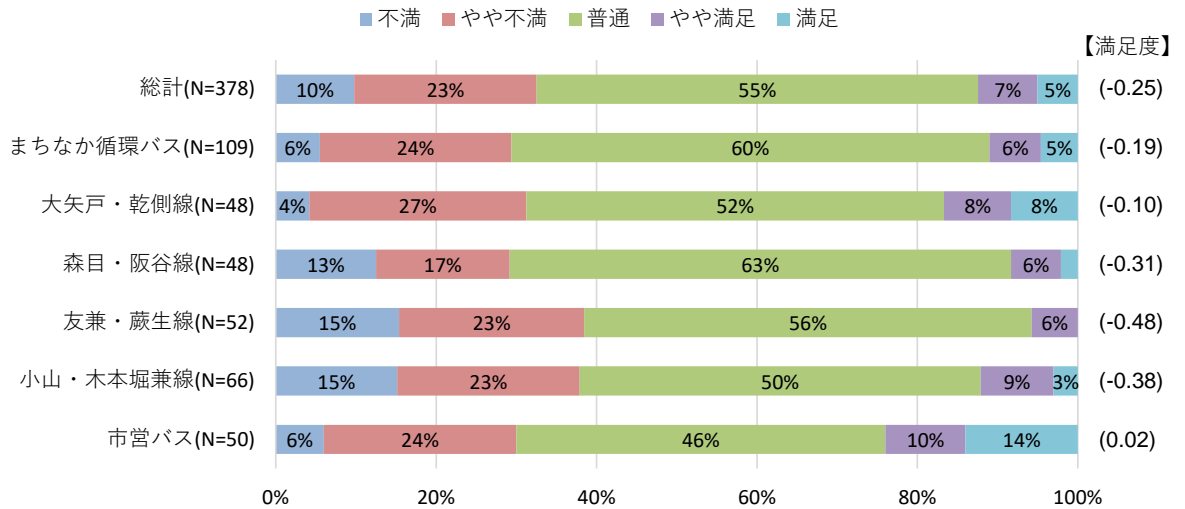


問5 ⑧目的地までの所要時間

【地区クロス】

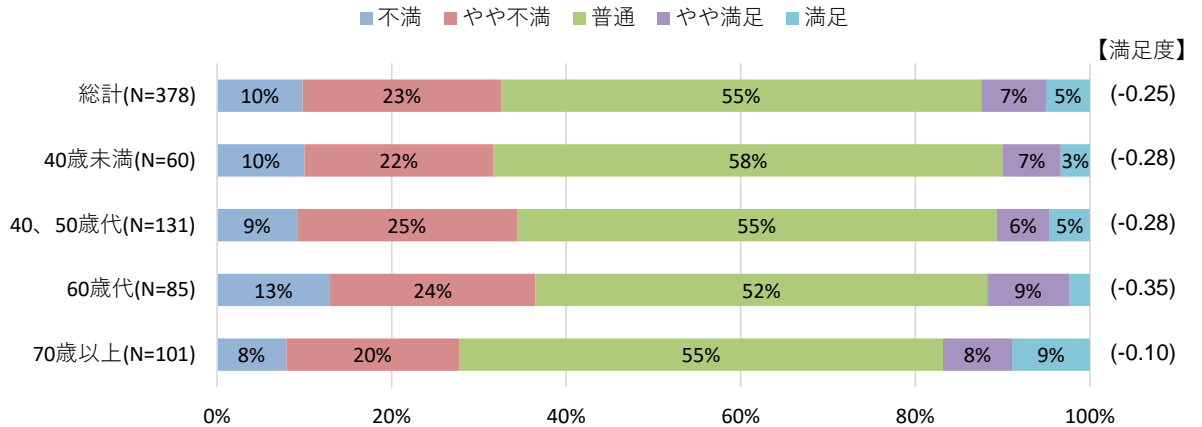
◆目的地までの所要時間については、満足度がマイナス評価(-0.25)となっている。

◆地区別では、友兼・蕨生線の満足度(-0.48)が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

◆年代別では、70歳以上の満足度(-0.10)が他の年代と比べて高い。

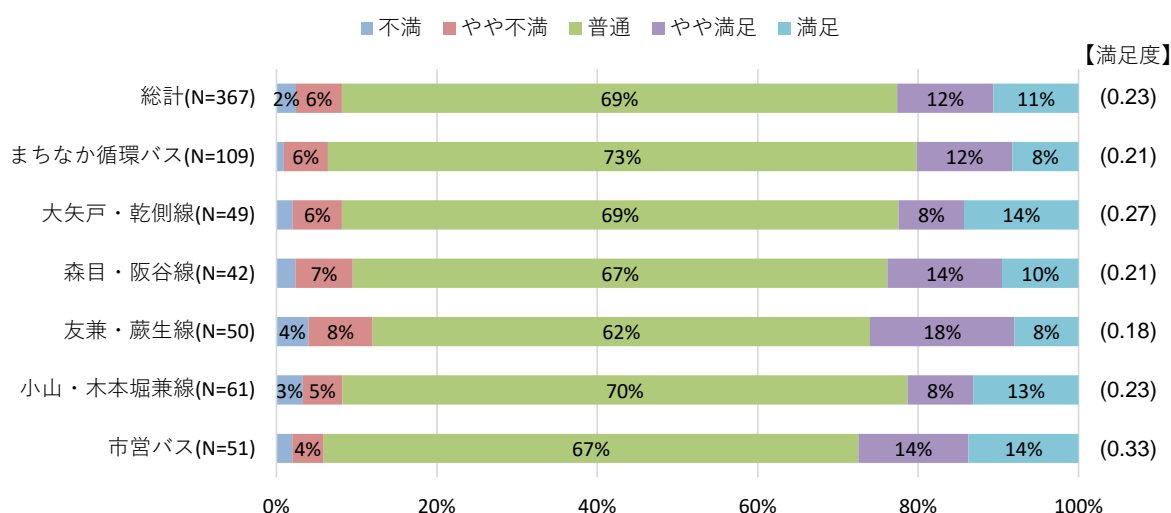


問5 ⑨運転手の対応やサービス

【地区クロス】

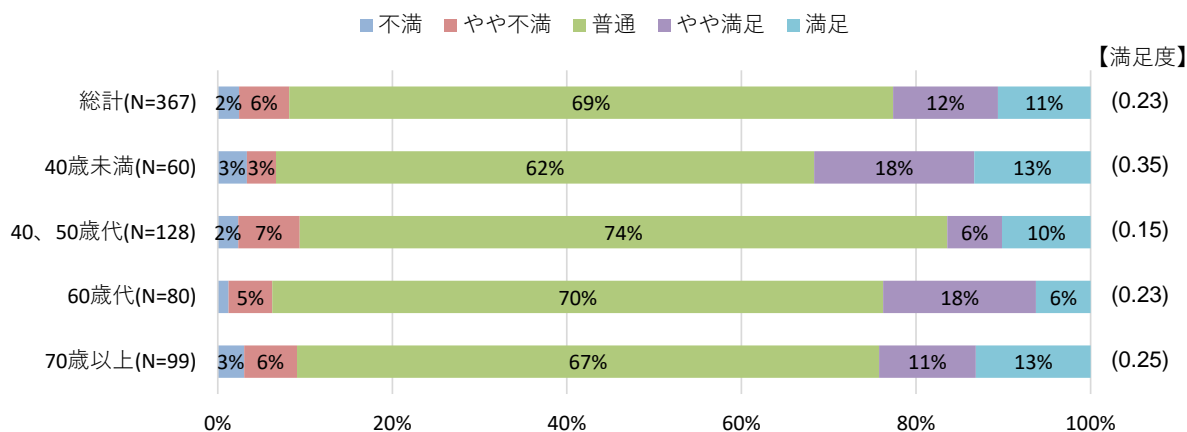
◆運転手の対応やサービスについては、満足度がプラス評価(0.23)となっている。

◆地区別では、市営バスの満足度(0.33)が他の地区と比べて高い。



【年代クロス】

◆年代別では、40歳未満の満足度(0.35)が他の年代と比べて高い。

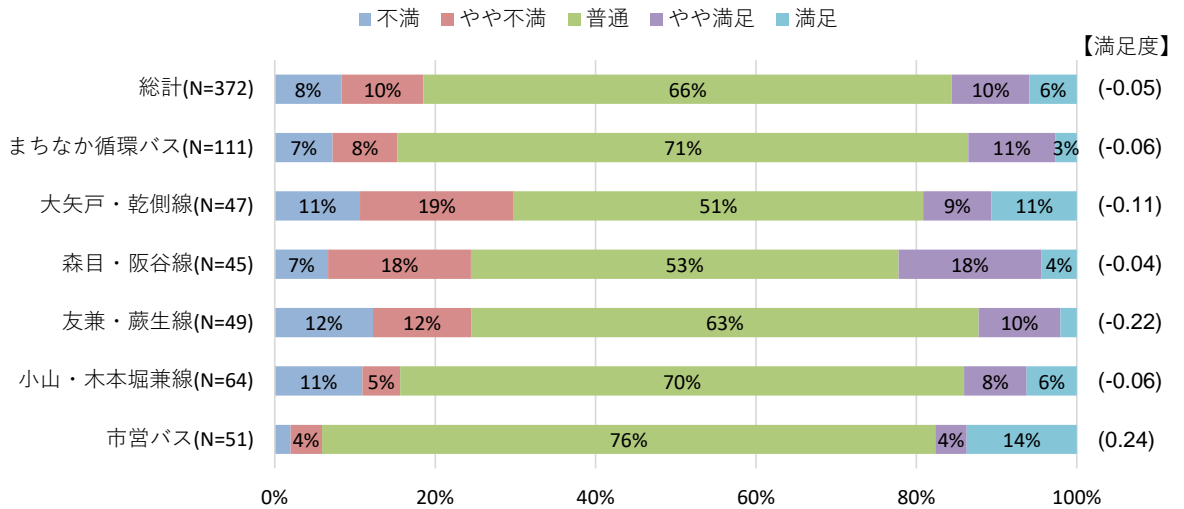


問5 ⑩車両の大きさ(利用者の混み具合)

【地区クロス】

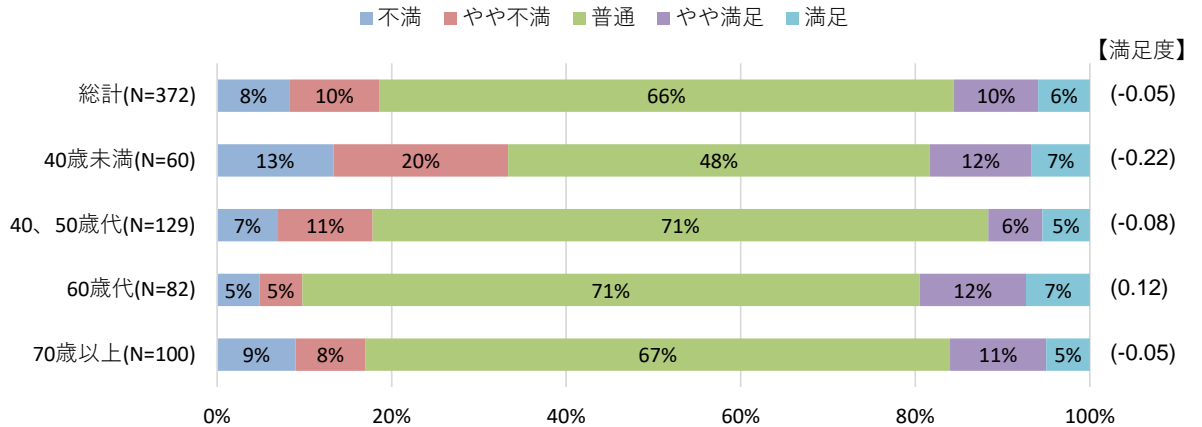
◆車両の大きさ(利用者の混み具合)については、満足度がマイナス評価(-0.05)となっている。

◆地区別では、市営バスの満足度(0.24)が他の地区と比べて高い。



【年代クロス】

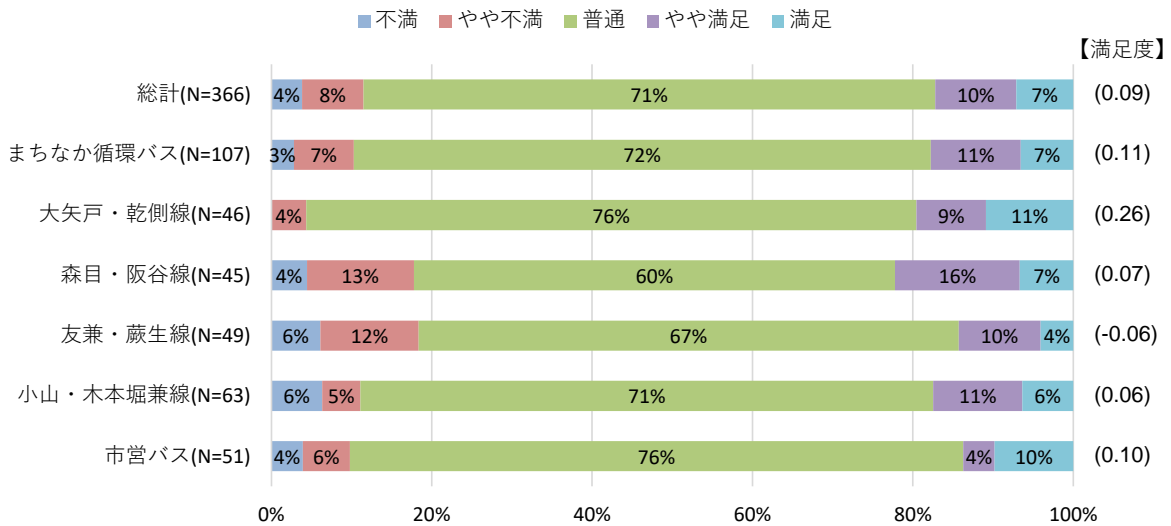
◆年代別では、60歳代の満足度(0.12)が他の年代と比べて高い。



問5 ⑪車両の乗り降りのしやすさ(バリアフリー)

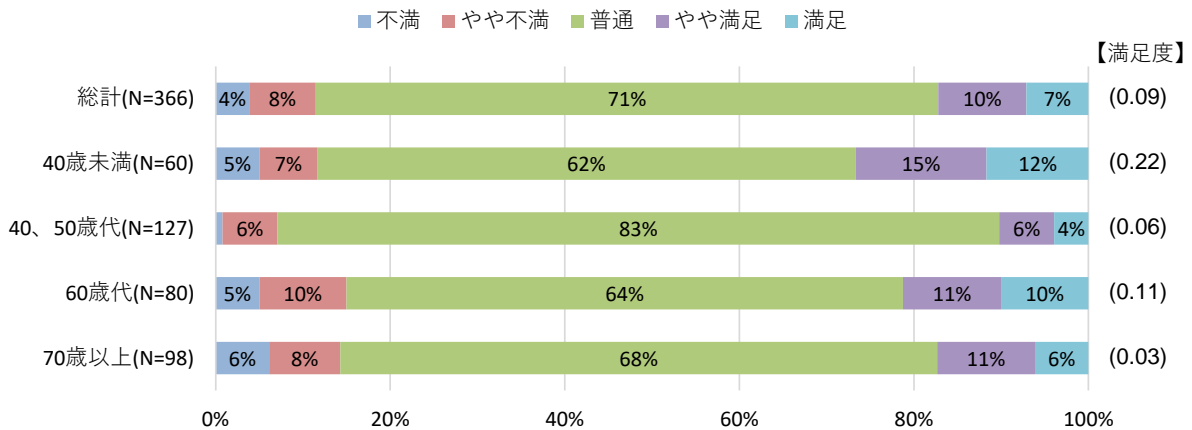
【地区クロス】

- ◆車両の乗り降りのしやすさ(バリアフリー)については、満足度がプラス評価(0.09)となっている。
- ◆地区別では、大矢戸・乾側線の満足度(0.26)が他の地区と比べて高い。



【年代クロス】

- ◆年代別では、40歳未満の満足度(0.22)が他の年代と比べて高い。

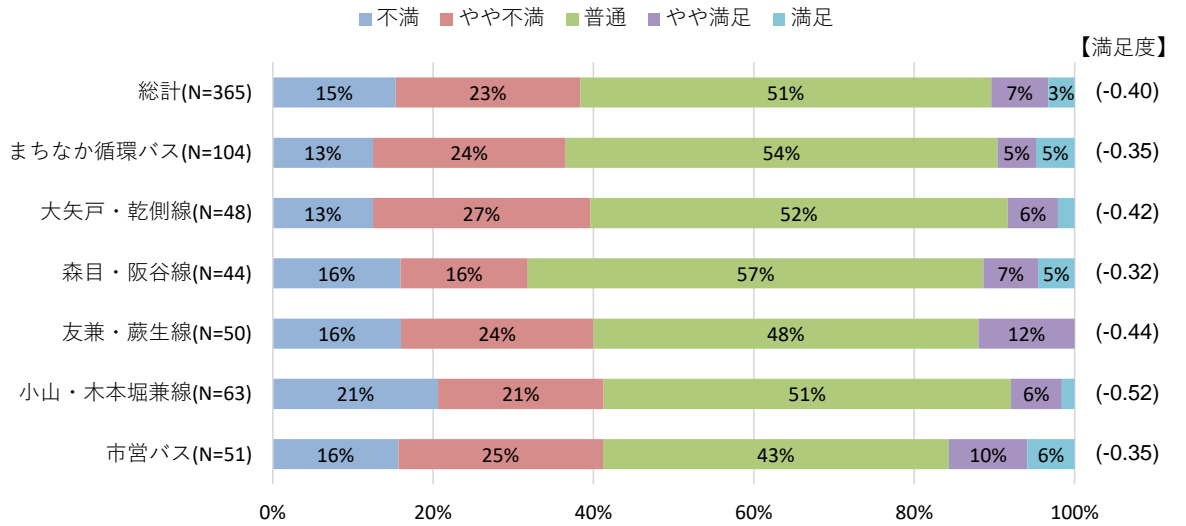


問5 ⑫他のバス・鉄道への乗り継ぎのしやすさ(待ち時間)

【地区クロス】

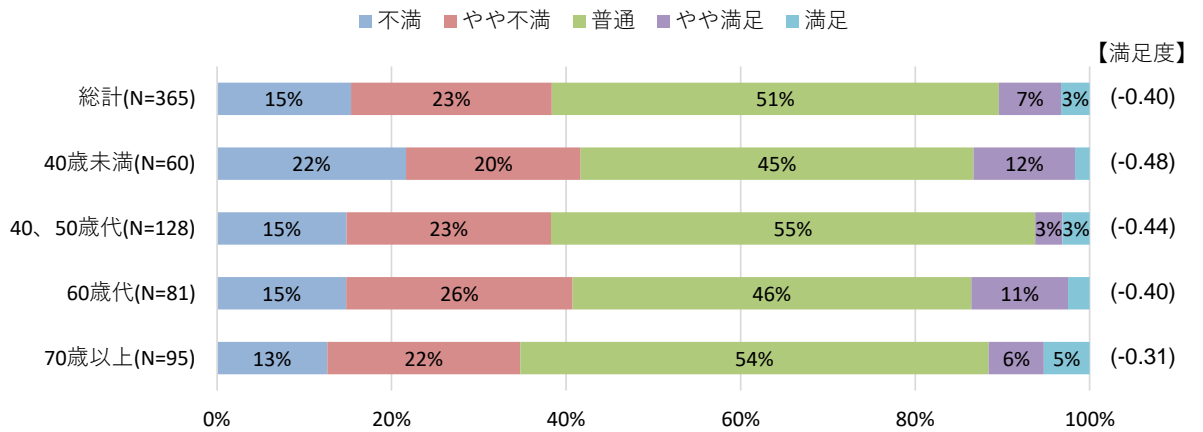
◆他のバス・鉄道への乗り継ぎのしやすさ(待ち時間)については、満足度がマイナス評価(-0.40)となっている。

◆地区別では、小山・木本堀兼線の満足度(-0.52)が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

◆年代別では、40歳未満の満足度(-0.48)が他の年代と比べて低い。

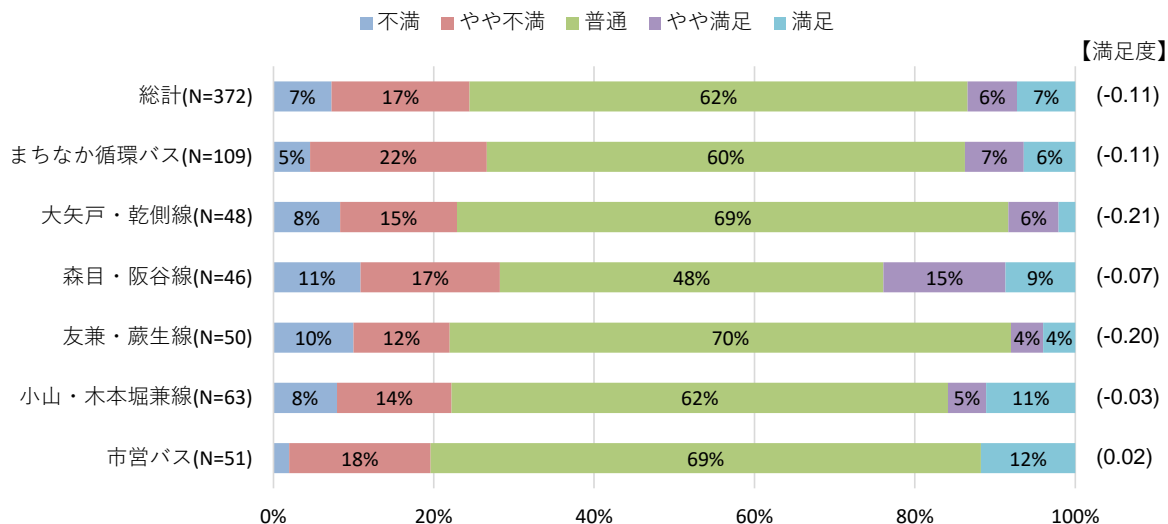


問5 ⑬運賃

【地区クロス】

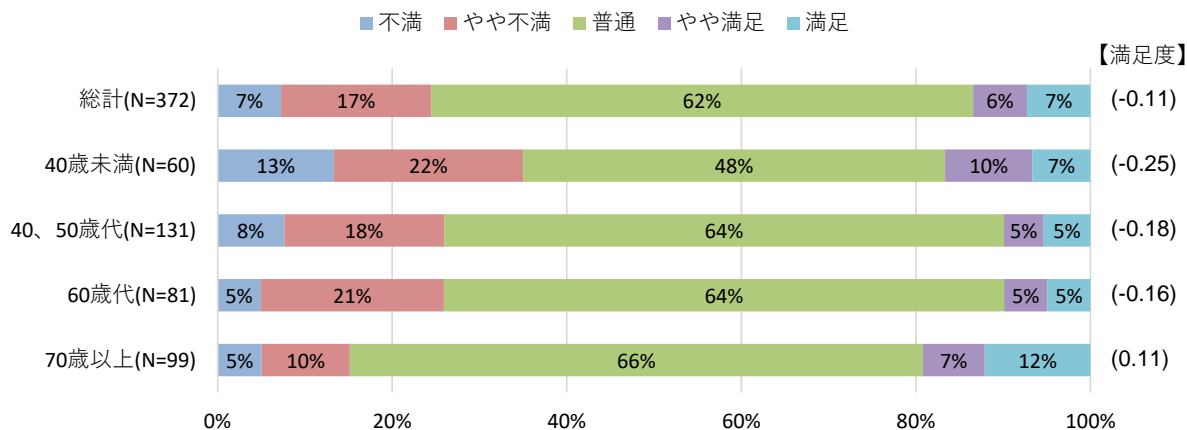
◆運賃については、満足度がマイナス評価(-0.11)となっている。

◆地区別では、大矢戸・乾側線の満足度(-0.21)が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

◆年代別では、40歳未満の満足度(-0.25)が他の年代と比べて低い。

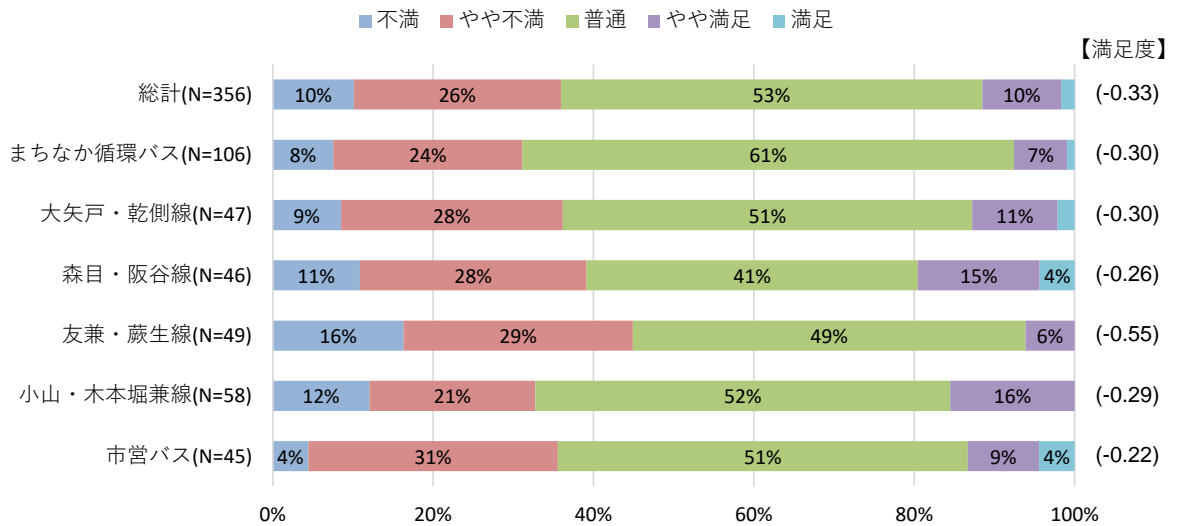


問5 ⑭総合評価

【地区クロス】

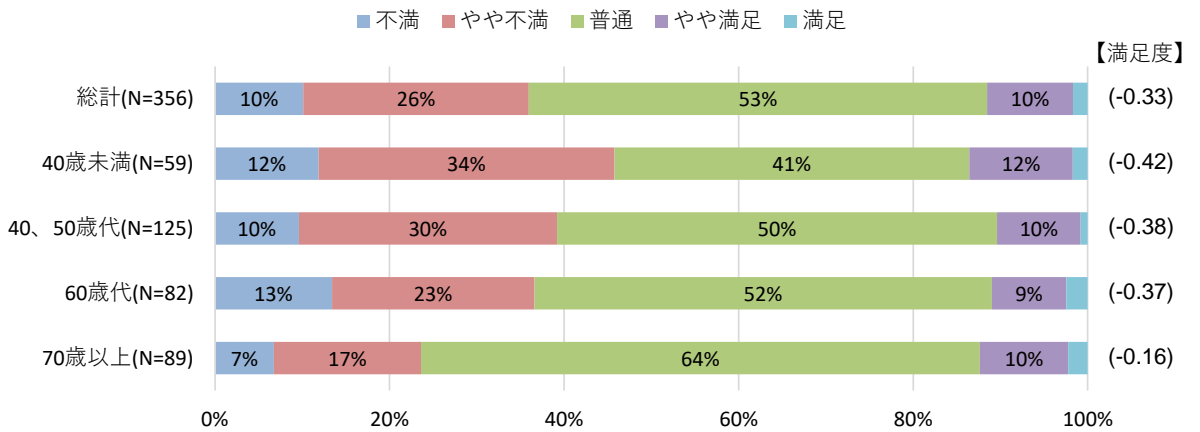
◆総合評価については、満足度がマイナス評価(-0.33)となっている。

◆地区別では、友兼・蕨生線の満足度(-0.55)が他の地区と比べて低い。



【年代クロス】

◆年代別では、40歳未満の満足度(-0.42)が他の年代と比べて低い。

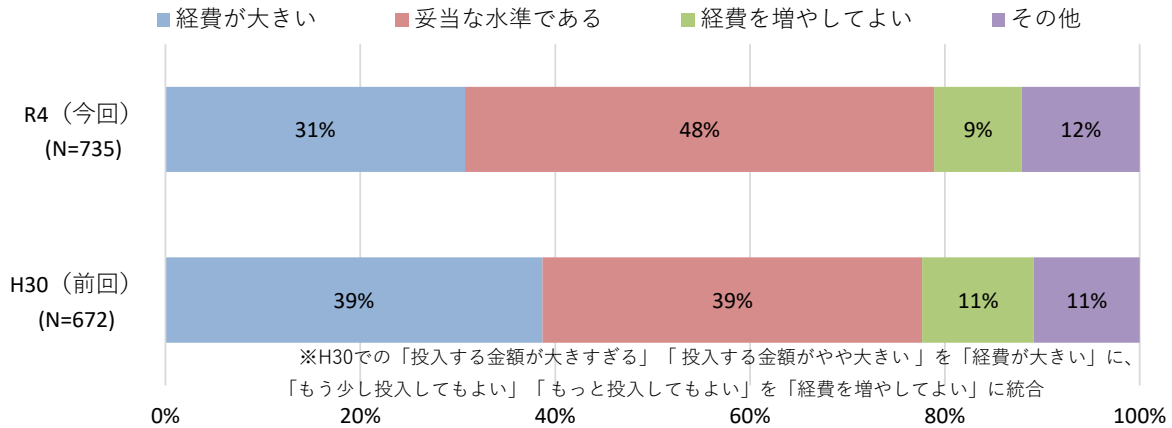


(3) 利用意向や今後の方向性について

【問6】現在の市内の公共交通の年間約6,000万円の運行経費について

(該当する選択肢を1つずつ選択)

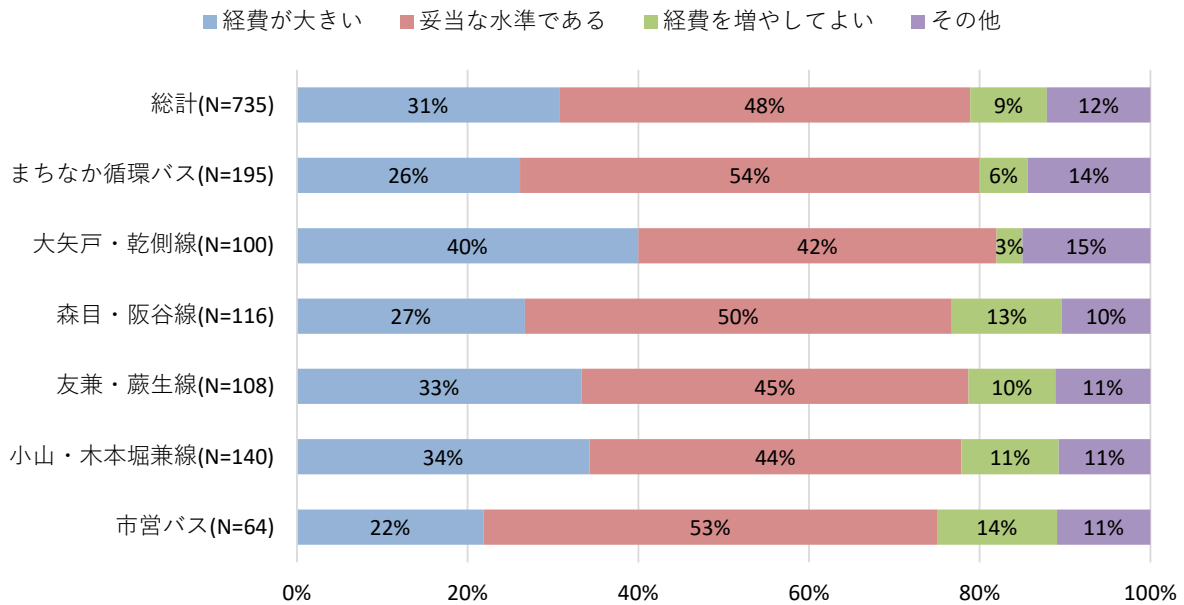
- ◆「妥当な水準である」が48%で最も多く、次いで「経費が大きい」が31%、「経費を増やしてよい」が9%となっている。



※その他の回答: 分からない・利用したことがない／必要な人がいるなら経費は増やしてもよい／必要ある人もいますので仕方ない／経費の割に乗客が少ない 等

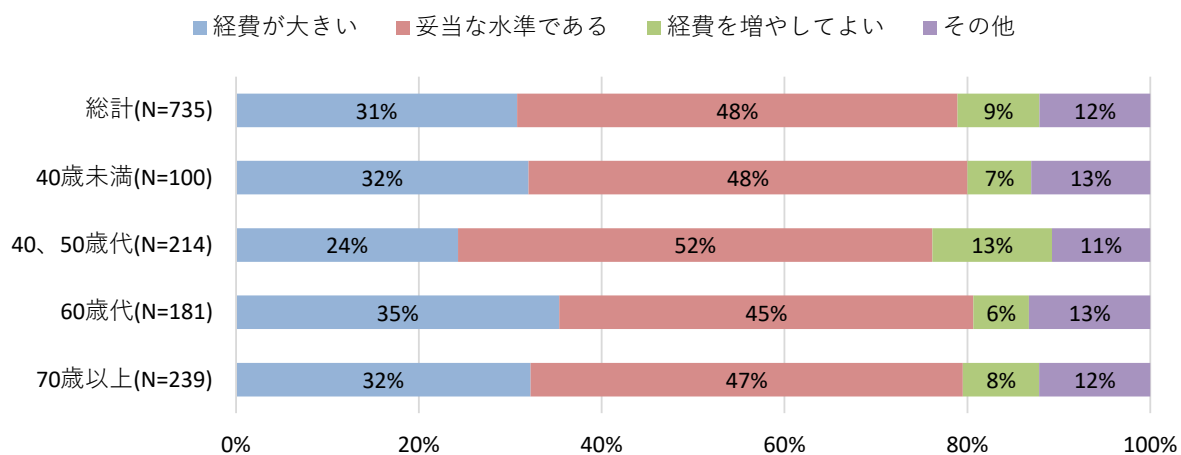
【地区クロス】

- ◆地区別では、大矢戸・乾側線で「経費が大きい」が40%と、他の地区と比べて6ポイント以上高い。



【年代クロス】

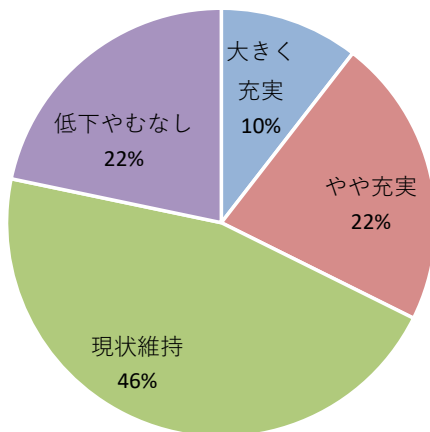
◆年代別では、40、50歳代で「経費が大きい」が24%と、他の年代と比べて8ポイント以上低い。



【問7①】市内の公共交通の今後の運行内容（交通サービス）について

（該当する選択肢を1つずつ選択）

◆「現状維持」が46%で最も多く、次いで「やや充実」「低下やむなし」が22%、「大きく充実」が10%となっている。

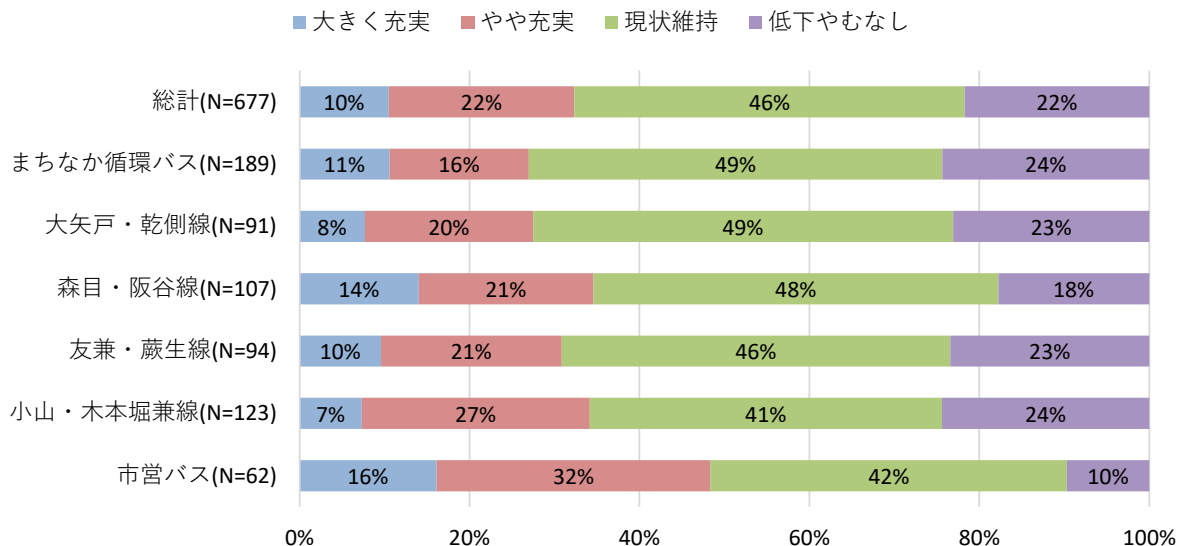


(N=677)

※H30 は設問なし

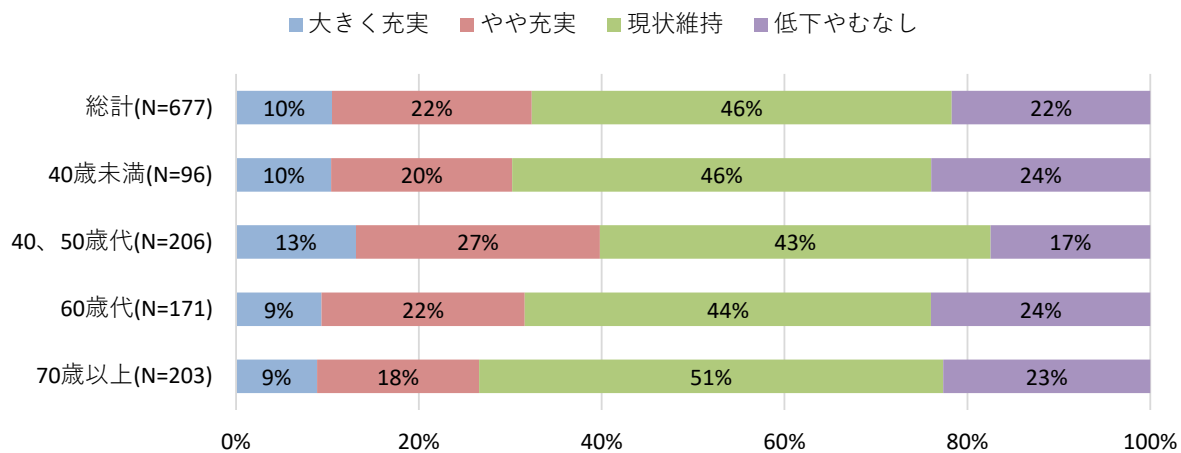
【地区クロス】

◆地区別では、市営バスで「やや充実」が32%と、他の地区と比べて5ポイント以上高い。



【年代クロス】

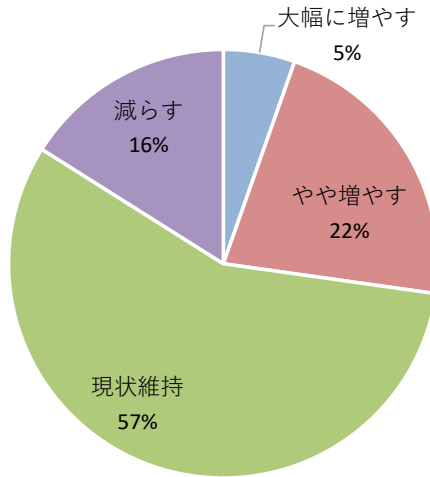
◆年代別では、40、50歳代で「やや充実」が27%と、他の年代と比べて5ポイント以上高い。



【問7②】市内の公共交通の公的な負担（税金）について

(該当する選択肢を1つずつ選択)

◆「現状維持」が57%で最も多く、次いで「やや増やす」が22%、「減らす」が16%となっている。

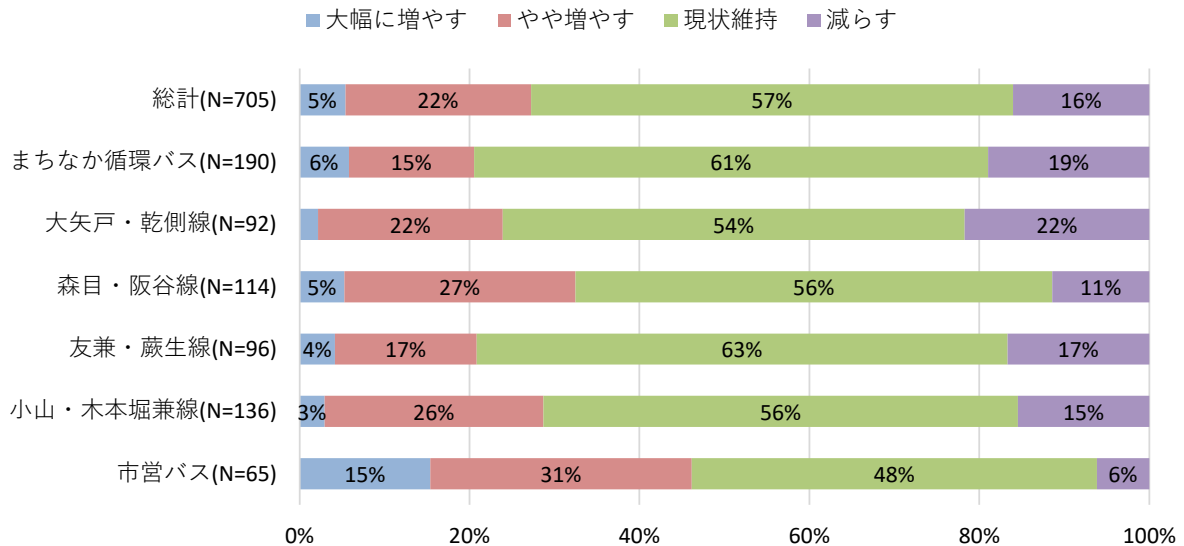


(N=705)

※H30は設問なし

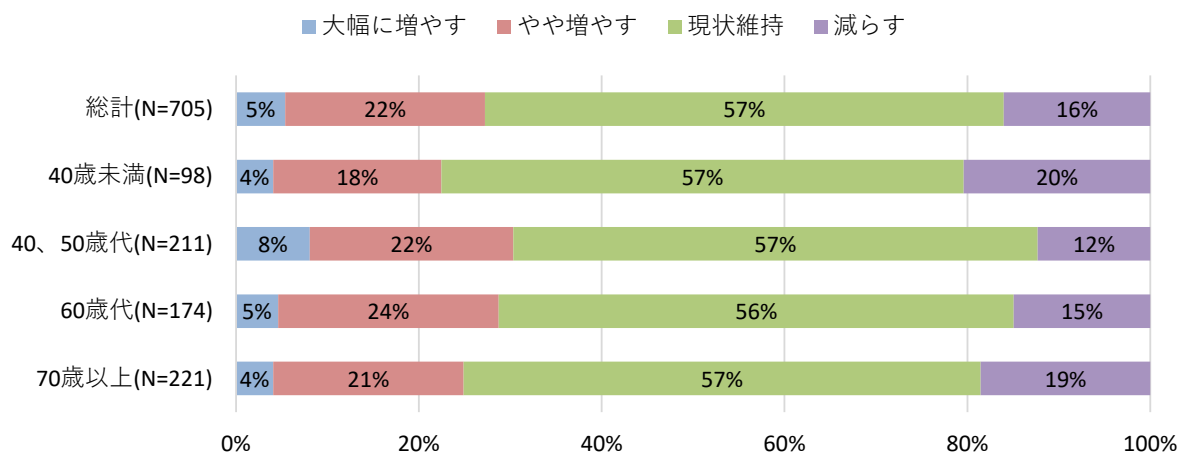
【地区クロス】

◆地区別では、市営バスで「大幅に増やす」が15%と、他の地区と比べて9ポイント以上高い。



【年代クロス】

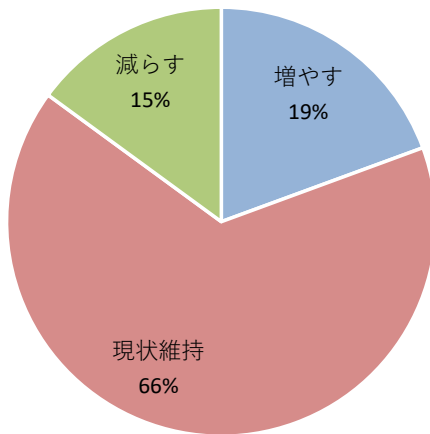
◆年代別では、大きな違いはみられない。



【問7③】市内の公共交通の利用者の負担（運賃）について

(該当する選択肢を1つずつ選択)

◆「現状維持」が66%で最も多く、次いで「増やす」が19%、「減らす」が15%となっている。

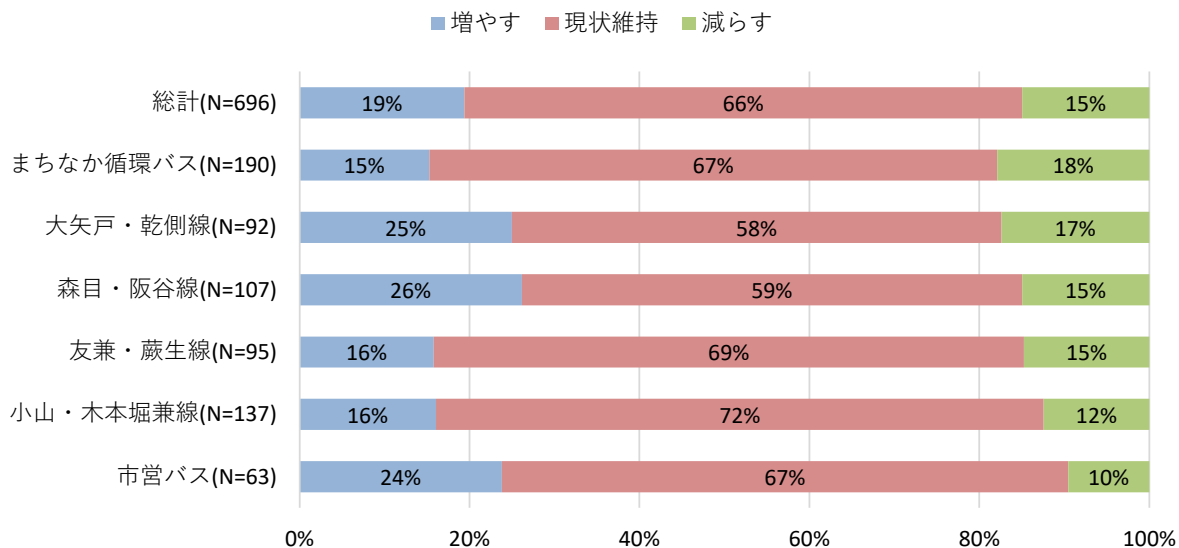


(N=696)

※H30 は設問なし

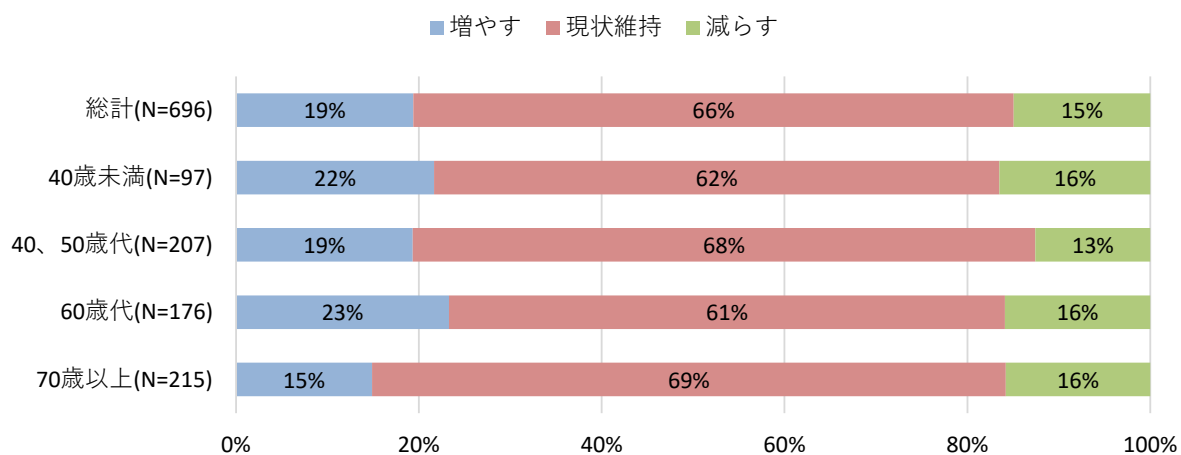
【地区クロス】

◆地区別では、大矢戸・乾側線、森目・阪谷線で「増やす」が約3割を占めている。



【年代クロス】

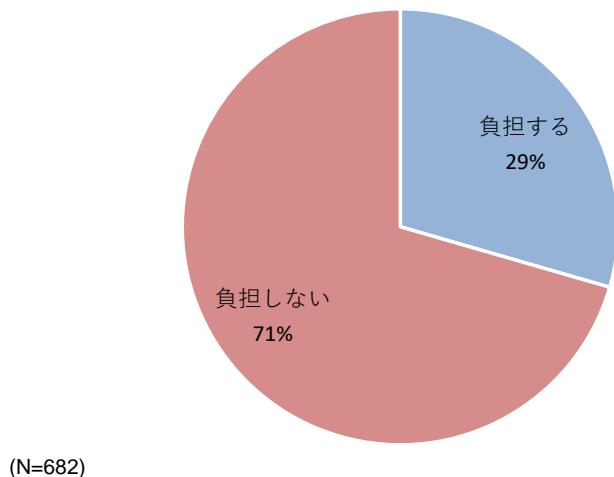
◆年代別では、40、50歳代、70歳以上で「現状維持」が約7割と、他の年代と比べて6ポイント以上高い。



【問7④】市内の公共交通の地域の負担（町内会費・区費）について

(該当する選択肢を1つずつ選択)

◆「負担しない」が71%、「負担する」が29%となっている。

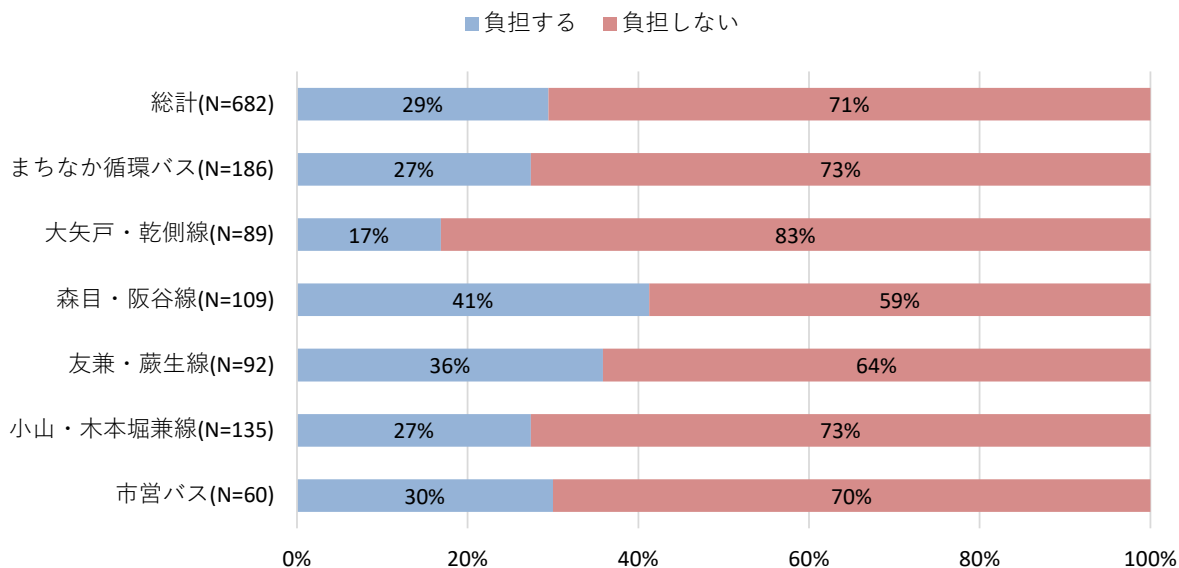


(N=682)

※H30は設問なし

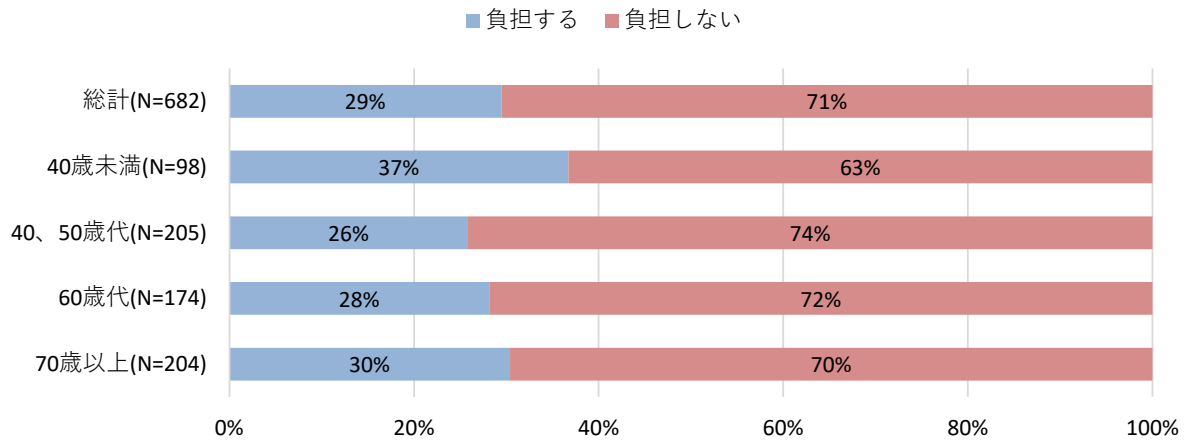
【地区クロス】

◆地区別では、大矢戸・乾側線で「負担しない」が83%と、他の地区と比べて10ポイント以上高い。



【年代クロス】

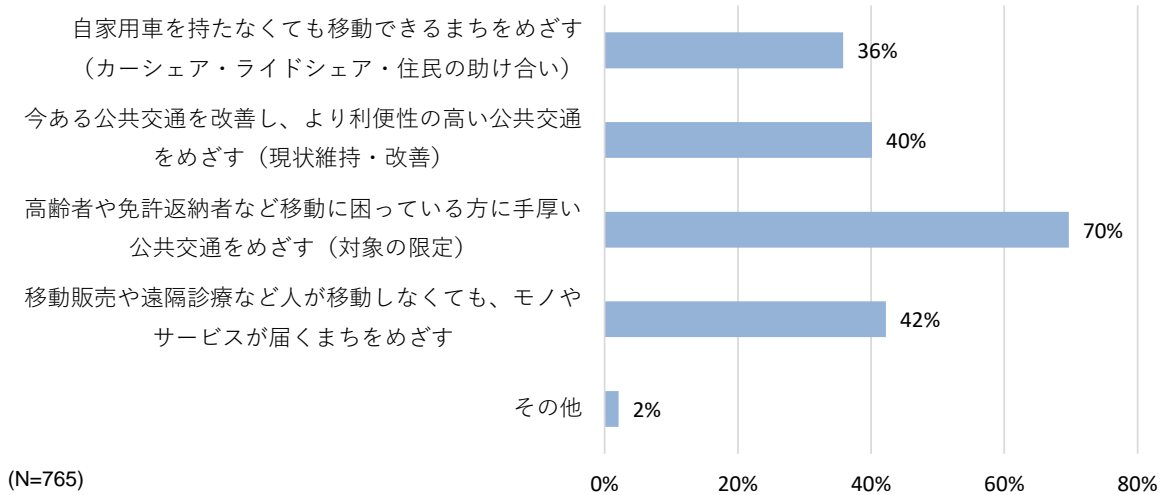
◆年代別では、40歳未満で「負担する」が37%と、他の年代と比べて7ポイント以上高い。



【問8】市が今後めざすべき公共交通やまちについて

(該当する選択肢を全て選択)

- ◆ 「高齢者や免許返納者など移動に困っている方に手厚い公共交通をめざす (対象の限定)」が70%で最も多く、次いで「移動販売や遠隔診療など人が移動しなくても、モノやサービスが届くまちをめざす」が42%、「今ある公共交通を改善し、より利便性の高い公共交通をめざす (現状維持・改善)」が40%となっている。

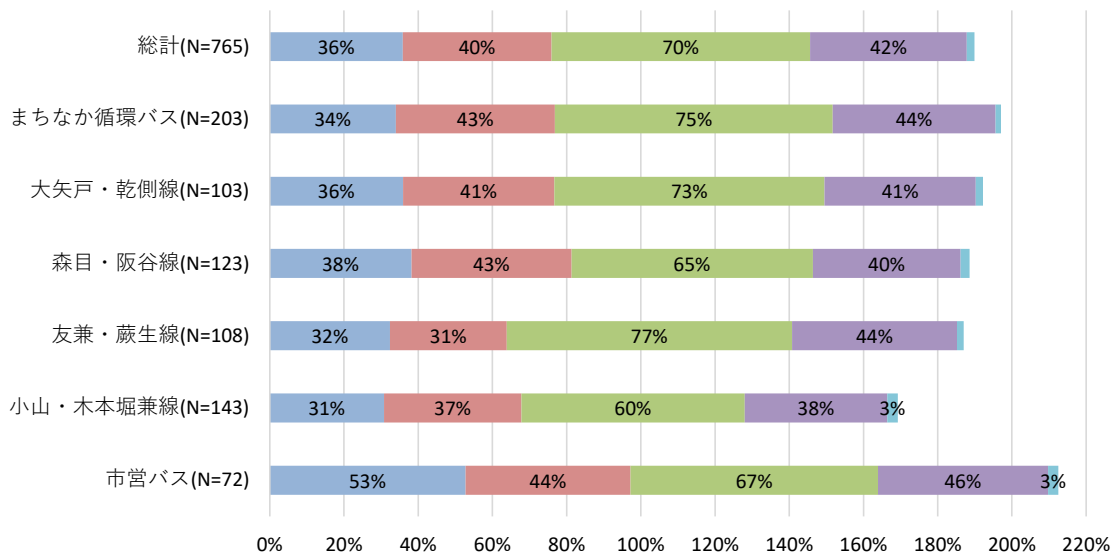


※その他の回答: 移動店舗(スーパー等)があるといい / 学生が公共交通で通学できるまちづくり 等
 ※H30 は設問なし

【地区クロス】

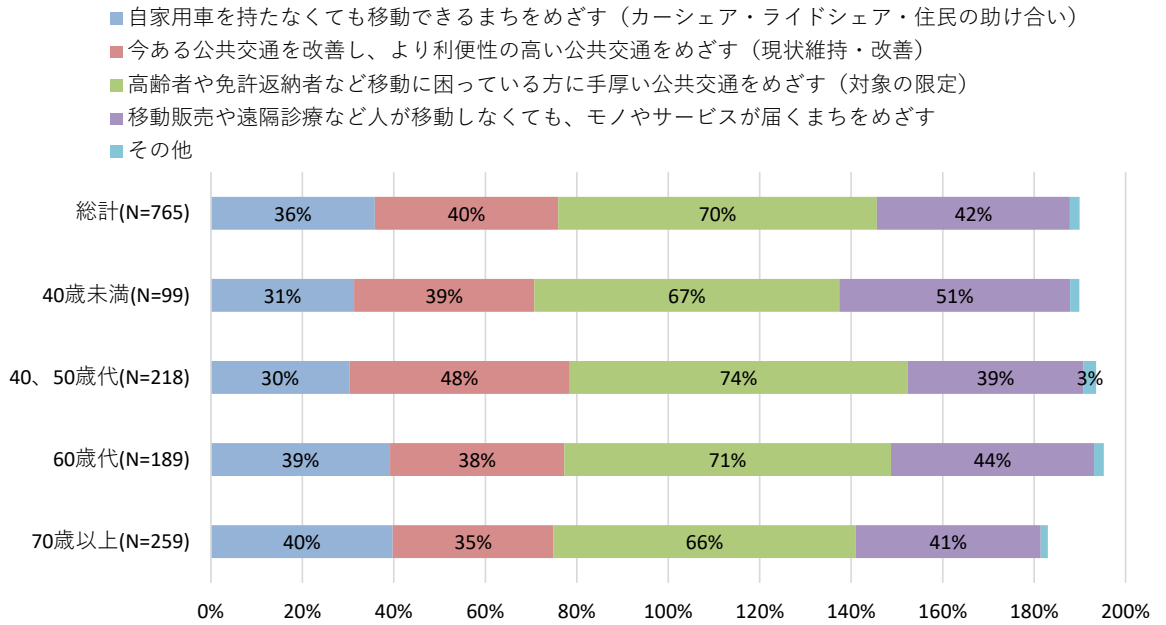
- ◆ 地区別では、市営バスで「自家用車を持たなくても移動できるまちをめざす (カーシェア・ライドシェア・住民の助け合い)」が53%と、他の地区と比べて15ポイント以上高い。

- 自家用車を持たなくても移動できるまちをめざす (カーシェア・ライドシェア・住民の助け合い)
- 今ある公共交通を改善し、より利便性の高い公共交通をめざす (現状維持・改善)
- 高齢者や免許返納者など移動に困っている方に手厚い公共交通をめざす (対象の限定)
- 移動販売や遠隔診療など人が移動しなくても、モノやサービスが届くまちをめざす
- その他



【年代クロス】

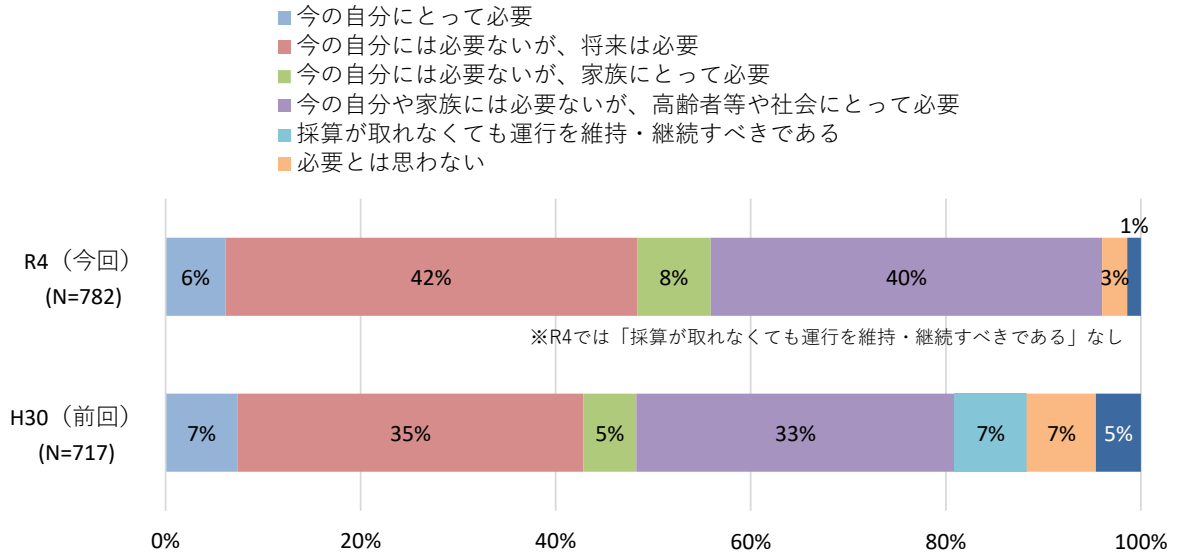
◆年代別では、40、50歳代で「今ある公共交通を改善し、より利便性の高い公共交通をめざす（現状維持・改善）」が48%と、他の年代と比べて9ポイント以上高い。



【問9】市内公共交通機関の運行の必要性について

(該当する選択肢を1つ選択)

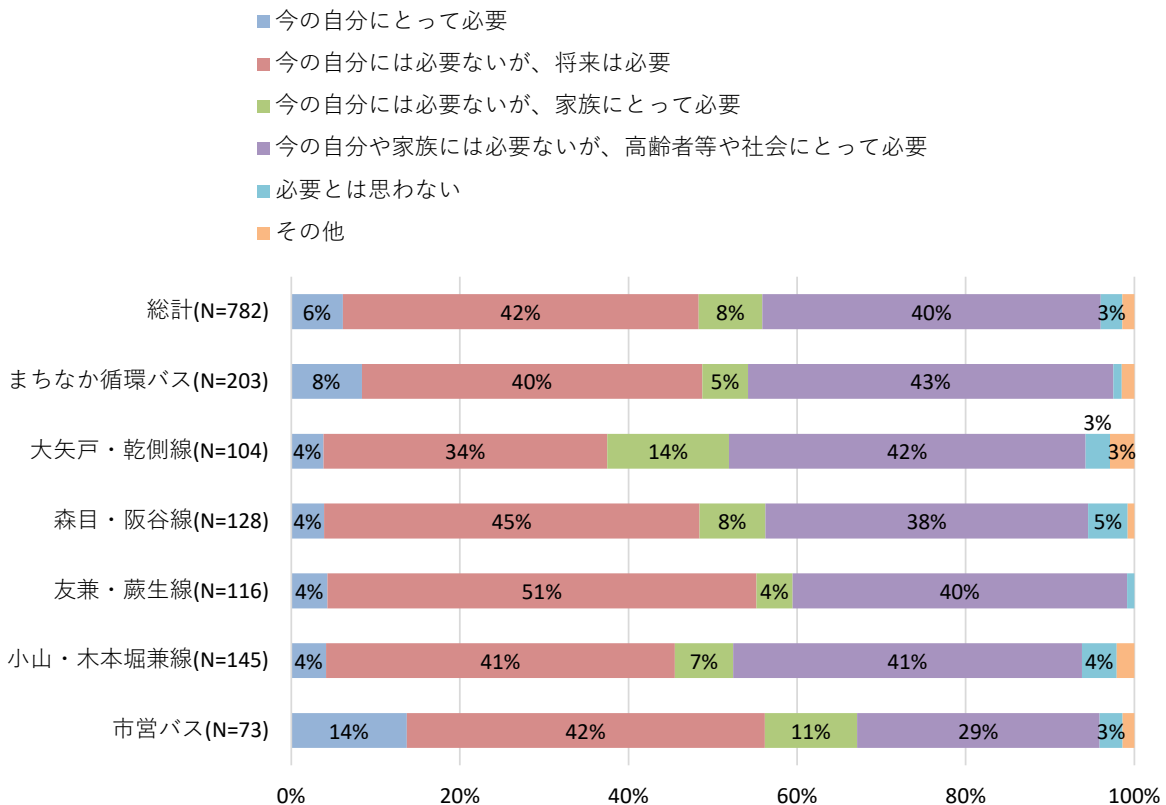
◆「今の自分には必要ないが、将来は必要」が42%で最も多く、次いで「今の自分や家族には必要ないが、高齢者等や社会にとって必要」が40%、「今の自分には必要ないが、家族にとって必要」が8%となっている。



※その他の回答: 今は必要だが将来は必要ない / 将来自動運転が実現すれば利用するようになるかも知れない 等

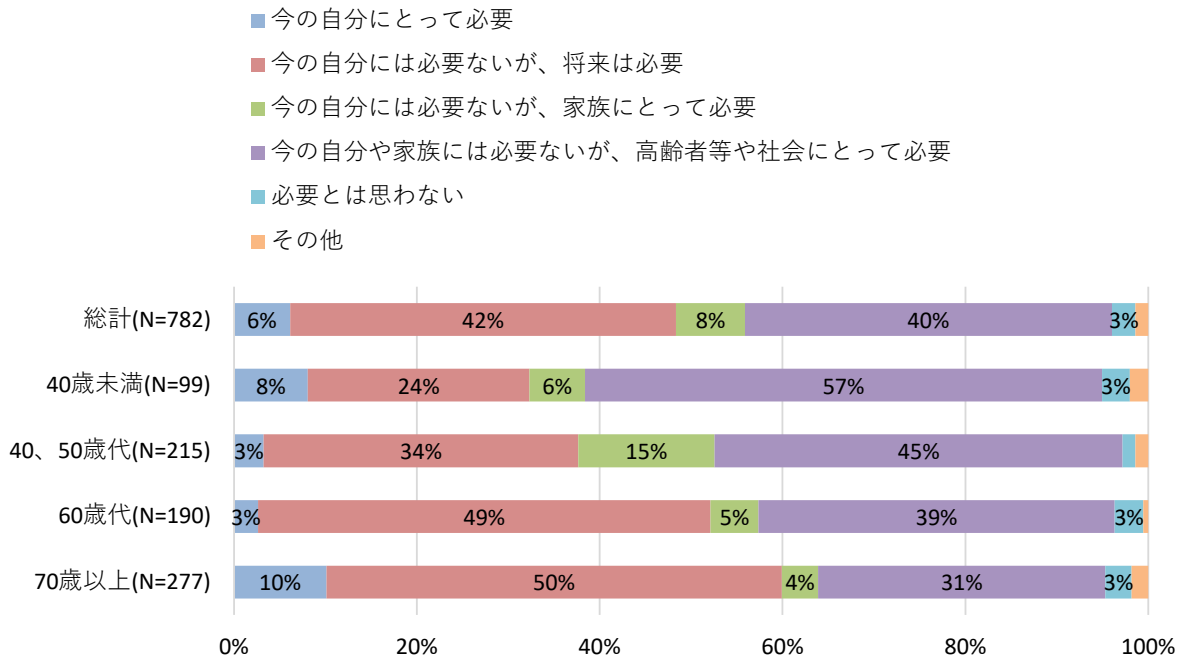
【地区クロス】

◆地区別では、市営バスで「今の自分にとって必要」が14%と、他の地区と比べて6ポイント以上高い。



【年代クロス】

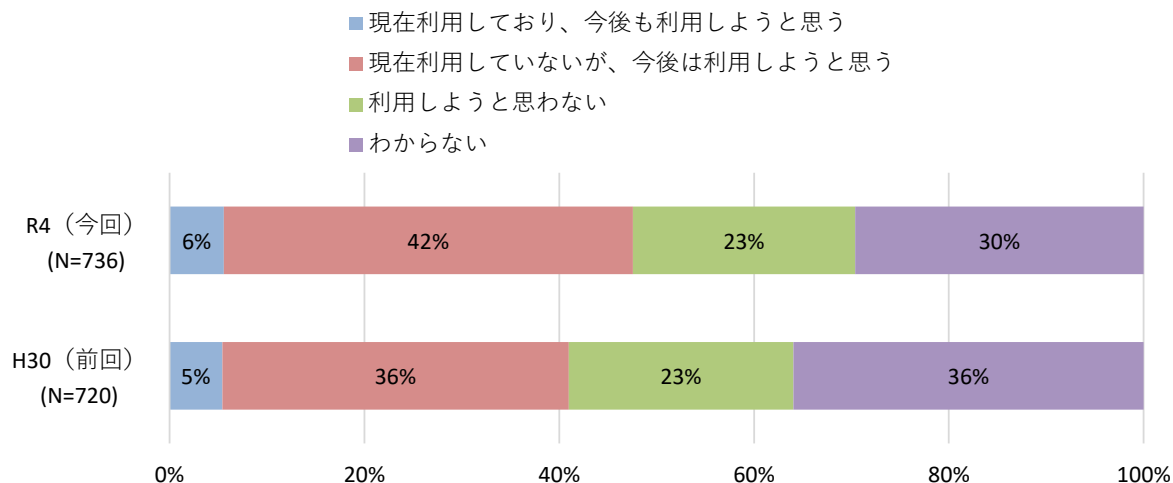
◆年代別では、40歳未満で「今の自分や家族には必要ないが、高齢者等や社会にとって必要」が57%と、他の年代と比べて12ポイント以上高い。



【問 10】 今後の公共交通の利用意向について

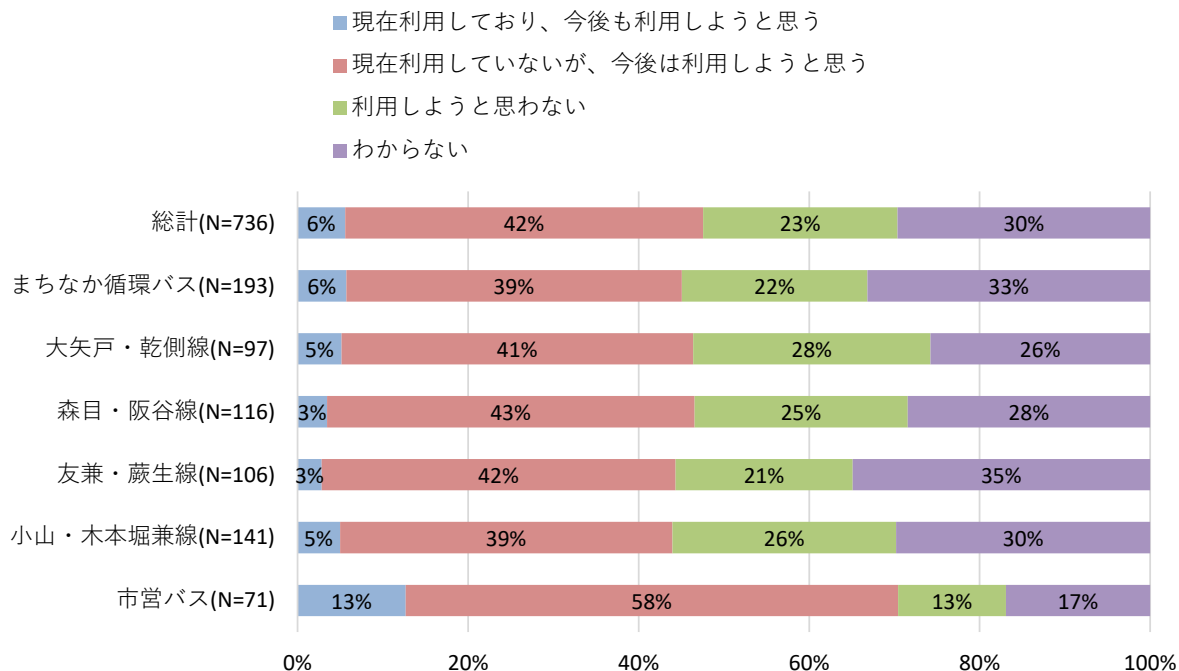
(該当する選択肢を1つ選択)

◆「現在利用していないが、今後は利用しようと思う」が42%で最も多く、次いで「わからない」が30%、「利用しようと思わない」が23%となっている。



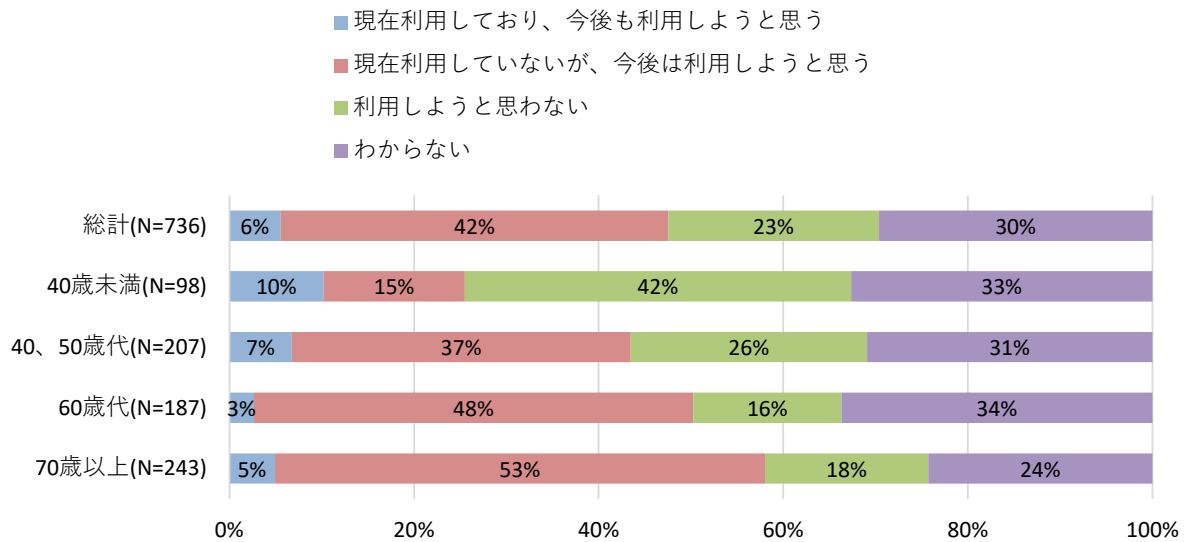
【地区クロス】

◆地区別では、市営バスで「現在利用していないが、今後は利用しようと思う」が58%と、他の地区と比べて15ポイント以上高い。



【年代クロス】

◆年代別では、40歳未満で「利用しようと思わない」が42%と、他の年代と比べて16ポイント以上高い。

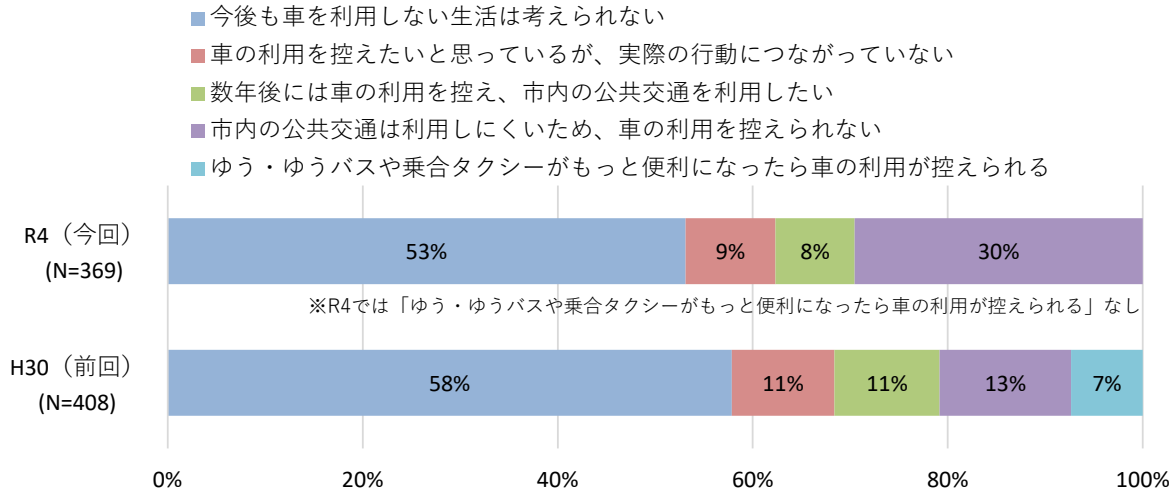


【問 11】 自家用車から公共交通への切り替えについて

(問 10 で「利用しようと思わない」「わからない」を選択した方のみ)

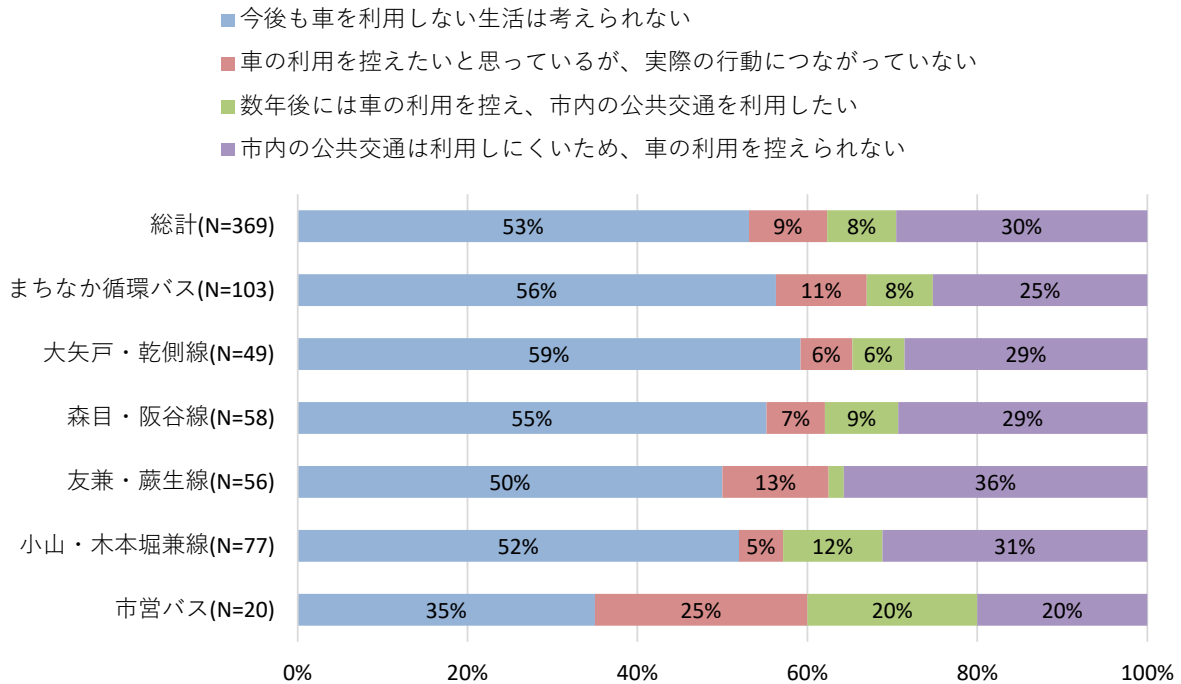
(該当する選択肢を 1 つ選択)

◆「今後も車を利用しない生活は考えられない」が 53%で最も多く、次いで「市内の公共交通は利用しにくいいため、車の利用を控えられない」が 30%、「車の利用を控えたいと思っているが、実際の行動につながっていない」が 9%となっている。



【地区クロス】

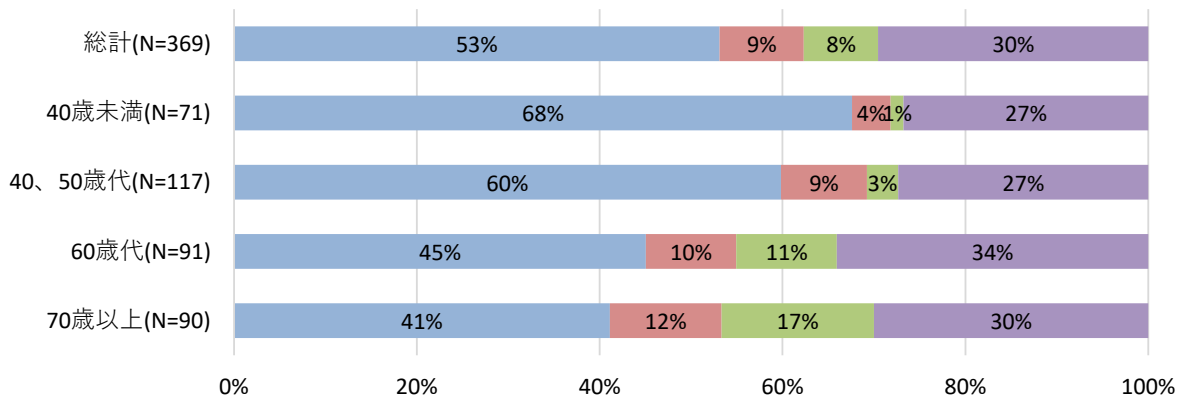
◆地区別では、市営バスで「車の利用を控えたいと思っているが、実際の行動につながっていない」が 25%と、他の地区と比べて 12 ポイント以上高い。



【年代クロス】

◆年代別では、40歳未満、40、50歳代で「今後も車を利用しない生活は考えられない」が6割以上を占め、他の年代と比べて15ポイント以上高い。

- 今後も車を利用しない生活は考えられない
- 車の利用を控えたいと思っているが、実際の行動につながっていない
- 数年後には車の利用を控え、市内の公共交通を利用したい
- 市内の公共交通は利用しにくいいため、車の利用を控えられない

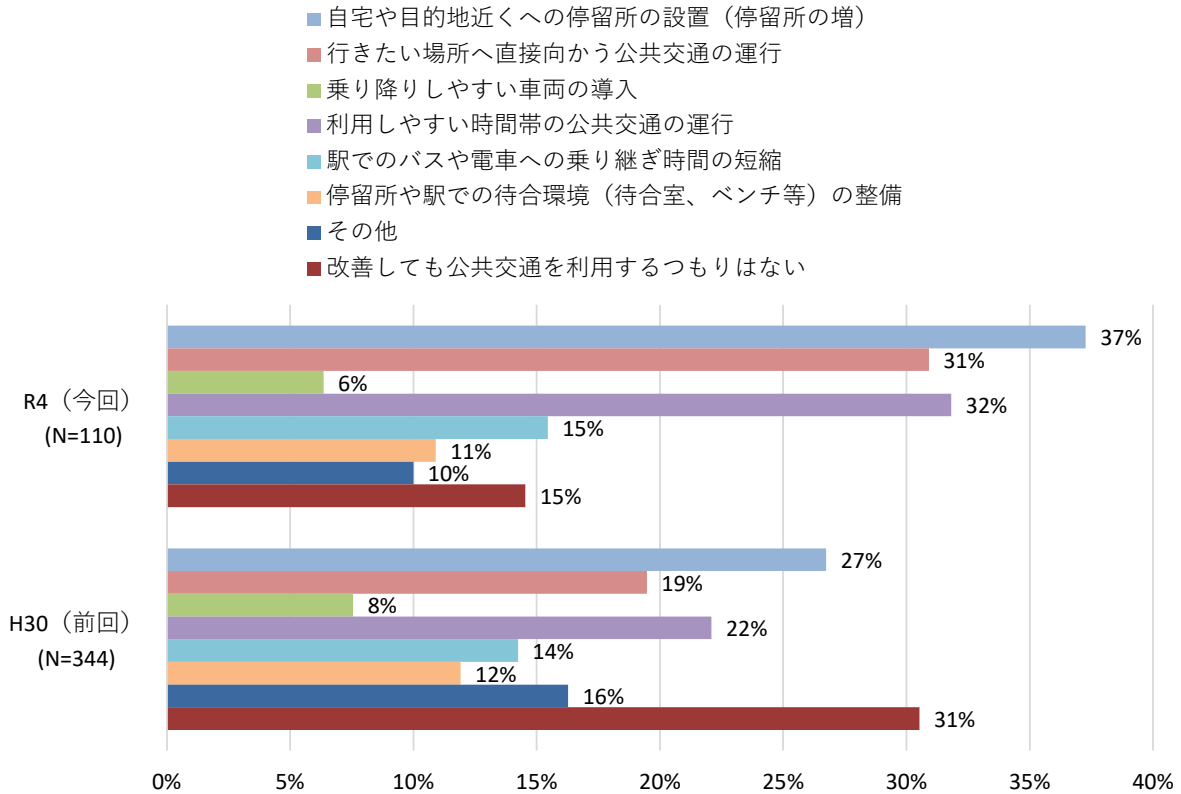


【問 12】 今後、公共交通を利用するための改善点について

(問 11 で「市内の公共交通は利用しにくいため、車の利用を控えられない」を選択した方のみ)

(該当する選択肢を全て選択)

◆ 「自宅や目的地近くへの停留所の設置 (停留所の増)」が 37%で最も多く、次いで「利用しやすい時間帯の公共交通の運行」が 32%、「行きたい場所へ直接向かう公共交通の運行」が 31%となっている。



※具体的な場所: 医療機関 / スーパー / ショッピングモール 等

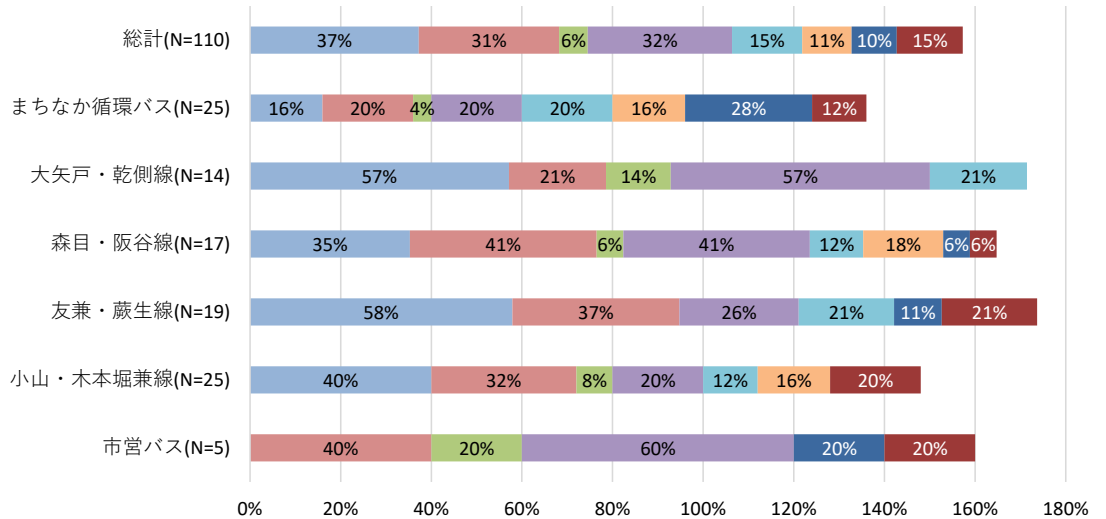
※具体的な時間帯: 朝昼晩 / 学校の下校時間 等

※その他の回答: 答えられない・考えられない / どこでも乗り降りができるようにしてほしい 等

【地区クロス】

◆地区別では、まちなか循環バスで「自宅や目的地近くへの停留所の設置（停留所の増）」が16%と、市営バス以外の地区と比べて19ポイント以上低い。

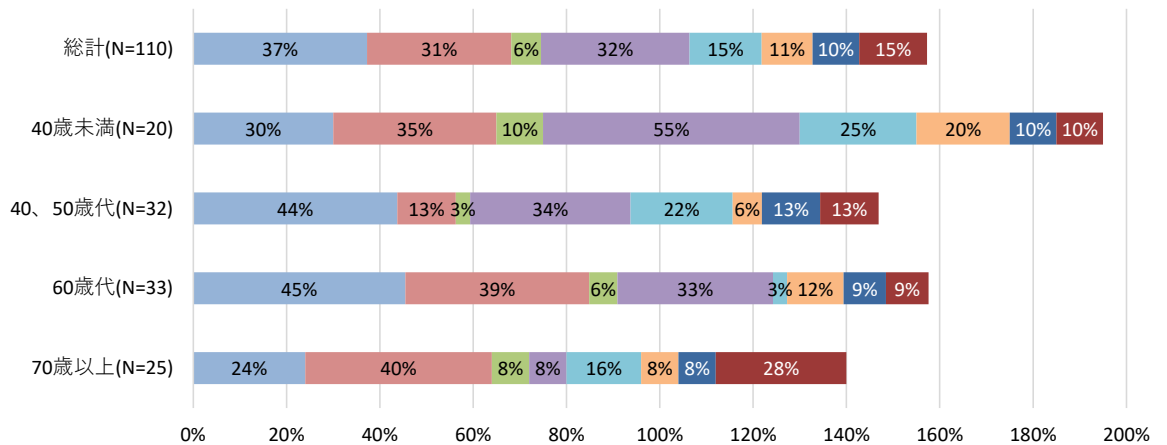
- 自宅や目的地近くへの停留所の設置（停留所の増）
- 乗り降りしやすい車両の導入
- 駅でのバスや電車への乗り継ぎ時間の短縮
- その他
- 行きたい場所へ直接向かう公共交通の運行
- 利用しやすい時間帯の公共交通の運行
- 停留所や駅での待合環境（待合室、ベンチ等）の整備
- 改善しても公共交通を利用するつもりはない



【年代クロス】

◆年代別では、40歳未満で「利用しやすい時間帯の公共交通の運行」が55%と、他の年代と比べて21ポイント以上高い。

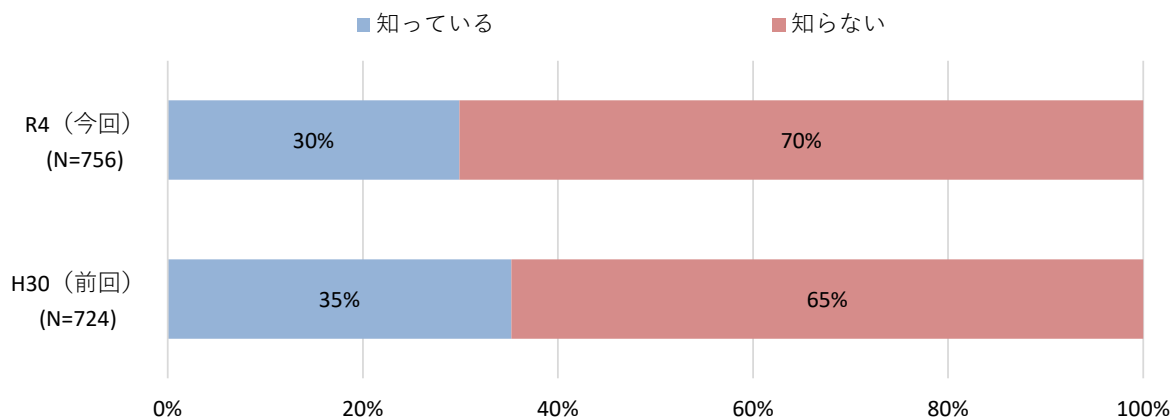
- 自宅や目的地近くへの停留所の設置（停留所の増）
- 乗り降りしやすい車両の導入
- 駅でのバスや電車への乗り継ぎ時間の短縮
- その他
- 行きたい場所へ直接向かう公共交通の運行
- 利用しやすい時間帯の公共交通の運行
- 停留所や駅での待合環境（待合室、ベンチ等）の整備
- 改善しても公共交通を利用するつもりはない



【問 13①】「運転免許自主返納制度」の認知度について

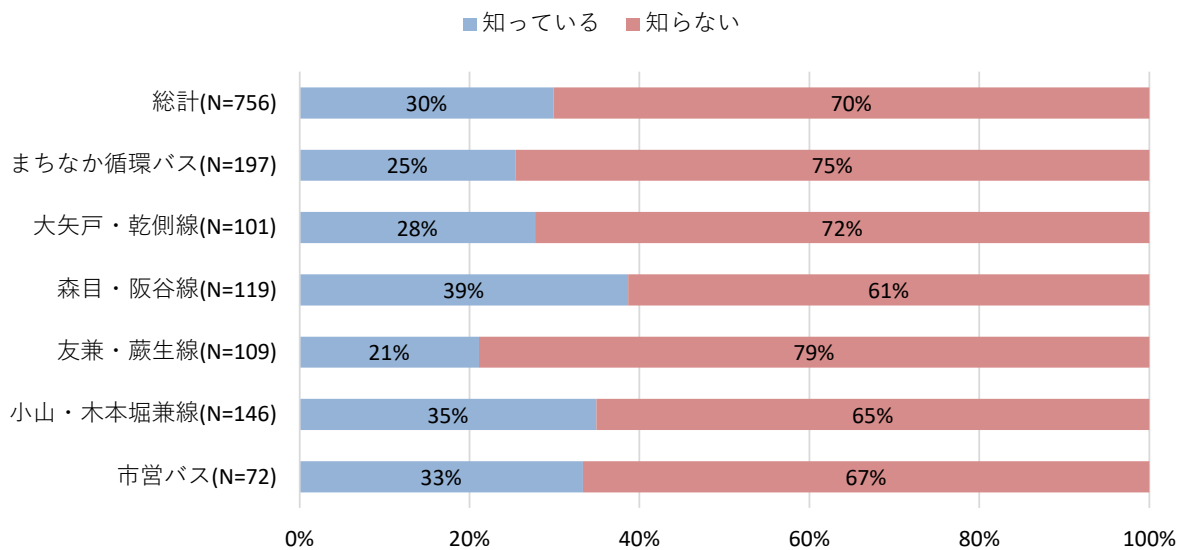
(該当する選択肢を1つ選択)

◆「知らない」が70%、「知っている」が30%となっている。



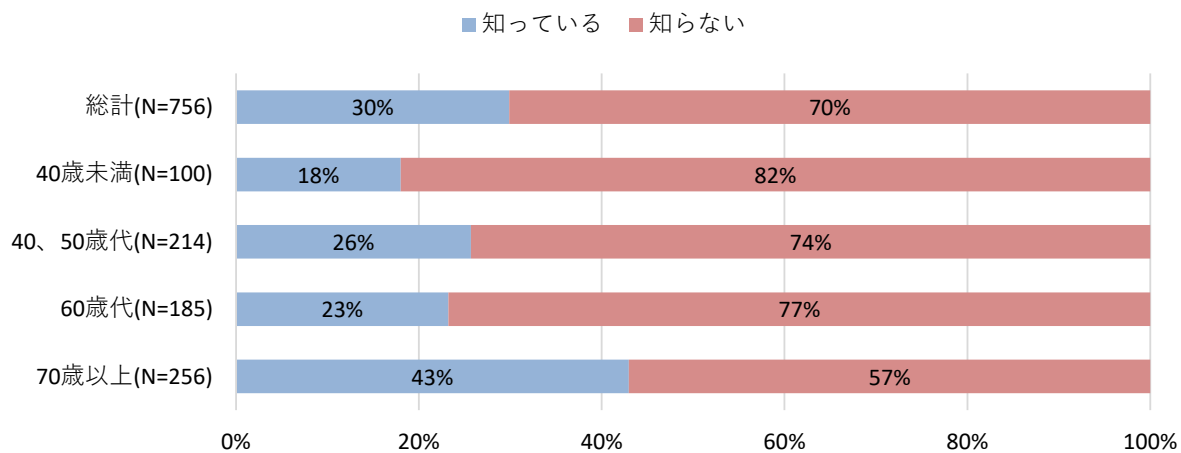
【地区クロス】

◆地区別では、大きな違いはみられない。



【年代クロス】

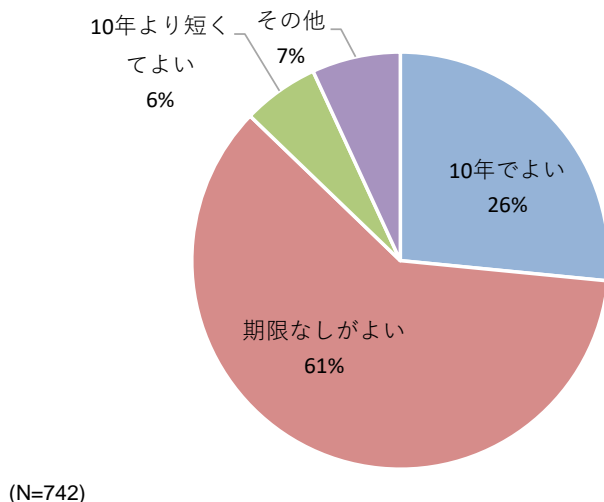
◆年代別では、70歳以上で「知っている」が43%と、他の年代と比べて17ポイント以上高い。



【問 13②】「運転免許自主返納制度」の期間（10年）について

（該当する選択肢を1つ選択）

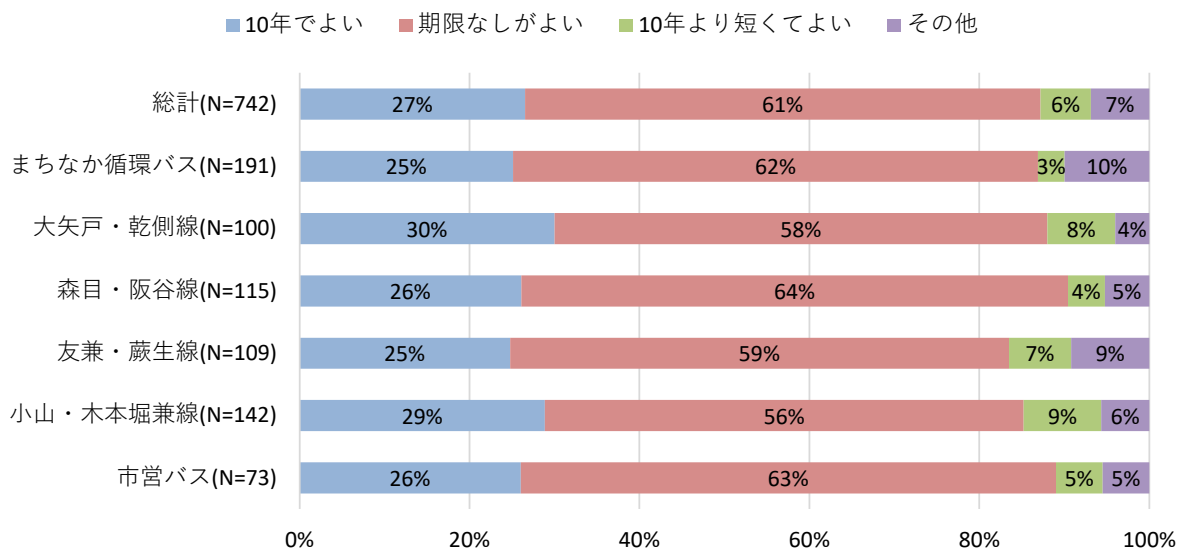
◆「期限なしがよい」が61%で最も多く、次いで「10年でよい」が26%、「10年より短くてよい」が6%となっている。



※H30 は設問なし

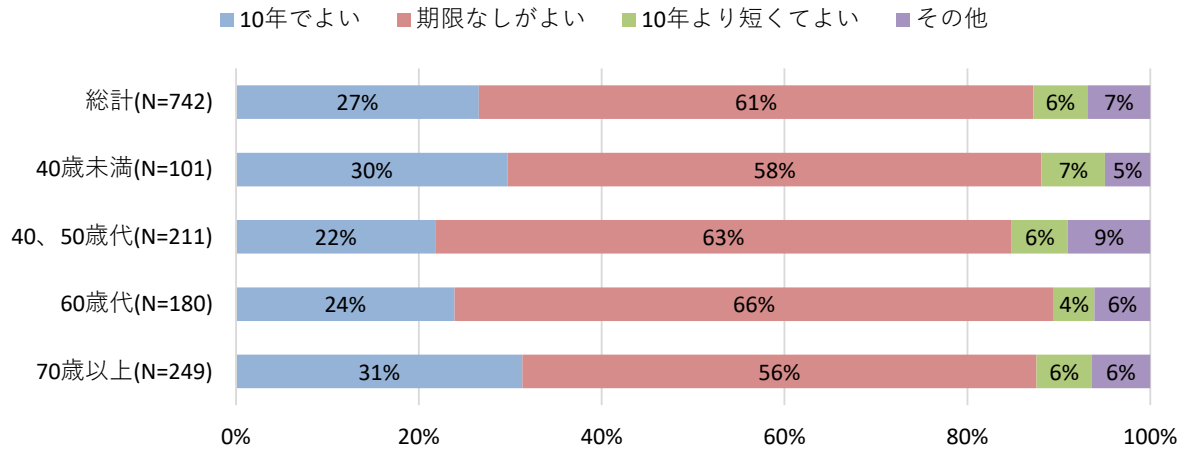
【地区クロス】

◆地区別では、大きな違いはみられない。



【年代クロス】

◆年代別では、大きな違いはみられない。



【問 14】公共交通に対するご意見・ご感想について

(自由回答)

- ◆「公共交通の充実」に関する意見が 40 件で最も多く、次いで「公共交通の存続希望」に関する意見が 28 件、「運行形態の改善」に関する意見が 23 件となっている。

分類	回答数
公共交通の充実	40
公共交通の存続希望	28
運行形態の改善	23
運行本数・ダイヤの改善	20
公共交通の利用促進	17
運行ルート・バス停の改善	17
将来が不安	13
新たな公共交通の整備	13
運行経費の改善	12
支援制度の充実	11
将来公共交通を利用したい	8
バス車両の改善	7
利用しないので分からない	7
移動販売の充実	6
運賃の改善	5
商業施設等の整備	5
公共交通を利用しない	5
MaaSアプリの導入	3
乗合タクシーの充実	2
その他	20
合計	262

■参考 自由回答一覧

地域	年齢	回答内容
公共交通の充実		
まちなか循環バス	19歳以下	今は親の送迎があるので大丈夫だけど、年寄りの方がやっと歩いてたりするのを見るとかわいそう。たまに友達と福井に出かける時は、バス乗り放題で500円というのは、とても助かってます。
まちなか循環バス	19歳以下	学生や高齢者にとって公共交通は身近なものであるが、車に乗る世代にとっては関心が低く、温度差を感じる。けれど、いずれは公共交通に頼る時が来るかもしれないので、今のうちから準備しておくことは良いことだと思う。
まちなか循環バス	30歳～39歳	町中より「集落から町へ」を考えてほしい。町中は歩けば良い。集落から病院へやスーパーが行けない。高齢化を考えてくれるなら集落を中心にすべき。
まちなか循環バス	40歳～49歳	今はまだ自分で運転できる為、公共交通を利用しようとは思っていない。しかし両親が車椅子利用、杖歩行、強度の難聴になり家族が運転せざるを得なくなった。家族も仕事をしており、なかなか休めない。そういった時に公共交通が利用できると良い。タクシーの様に自宅～目的地まで送り届けてもらえるとうり難い。しかしタクシーばかり利用するのは金銭面で困ってしまう。タクシーの様な公共交通が出来るとうり良い。
まちなか循環バス	40歳～49歳	現在、自分で車を運転するので、公共交通に対して重要視していませんが、やはり高齢になり運転をしなくなると必要性が出てくると思います。行きたい場所にあまり時間をかけず、楽に行くことができるような街づくりをお願いしたいです。
まちなか循環バス	60歳～69歳	自身では今は必要なく利用もしていませんが、今後は必要だろうなあとおぼろげに考えます。まちなかはある程度歩いてもいけるとは思います。歩けなくなるとねえ・・・。介護タクシー的な交通(移動)弱者向けのお安いタクシーがあれば利用者は便利だけで費用がかさむし、公共交通の再構築にはなりませんね。
まちなか循環バス	60歳～69歳	高齢の方や免許返納者の方、障害を持っている方等の為に「問12」の1～6の項目を早く充実させ、移動に困っている方に手厚い思いやりある公共交通を実現させてほしい。
まちなか循環バス	60歳～69歳	公共交通はなくてはならないものだと思うが、現状では行動に制限されて時間を無駄にする方が多いので車に頼ってしまう。福井駅前まで行く分には良いが、その先という待ち時間が多かったり、帰りの時間に無駄に空きが生じたりするのでどうしても車に頼りがちになってしまう。利用者とニーズ、そして公的負担のバランス次第だと思います。
まちなか循環バス	70歳～79歳	免許返納後とっても不便である。①大きな買い物ができない、②時間にしばられる、③病気の時など急なとき対応できない。タクシーは午前8時以前、午後5時以降は対応してもらえない。なにしろタクシー会社の対応には不満。態度がとっても腹立たしい。免許返納後、自分の足以外には頼れるものはないとつくづく思う。大野市はさほど親切な市とは思えなくなっている。高齢化し若年者の減少。一体どうすることが良いのか、市がもっとアイデアを出してほしい。ただ同じことの繰り返しはやめてほしい。税をどうしたら有効に使えるのか、大野の交通はどうすれば特徴あるものになっていくのか、よき知恵を出してほしい。
大矢戸・乾側線	40歳～49歳	公共交通のあり方については専門家の意見や十分な分析、解析を行い将来の事を考えて決定する必要があると思います。
大矢戸・乾側線	40歳～49歳	夫が越美北線で福井市に通勤しています。時間が限られるうえに1両しかない。大雨、雪の時に運休が多い。大野に住む意味があるのか？考えてしまう。これから先、子供が福井の中学、高校に行きたいと言った時に今の電車、バスの状態だと困る。大野の中学、高校はクラス数や部活も少なく切磋琢磨するには物足りない。そこで市外への進学を考えても負担が多すぎる。大野市内の学校を魅力的なものにする。福井への通学を楽にする。その2つを是非考えていただきたいです。市外から越して来ましたがとても不便です。中部縦貫道も1車線しかなくSAも無いので運転がとても疲れます。
大矢戸・乾側線	40歳～49歳	えちぜん鉄道は本数があるし、利用する上で便利だと思うが、勝山駅まで行くのに公共交通機関がわからない。越美北線は大野の為に利用しようと思いますが、本数が少ない。赤字だからしょうがないとは思っています。北陸新幹線ができて結局、福井駅まで行き、乗らないといけないと思います。

大野市公共交通に関するアンケート調査

地域	年齢	回答内容
大矢戸・乾側線	60歳～69歳	民営タクシーの充実を!行政のバックアップが必要ではないか。
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	町中に対して村部の対応が悪く税金の使い道を平等にしてほしいです。
森目・阪谷線	40歳～49歳	今は公共交通は利用していないが、将来は使うしかないが、市内と違って交通の便が悪い。高齢者にはタクシー代を無料にするとか、特に市外に住んでいる高齢者のみとか、市役所で乗合バスを所有して、予約・連絡がある時に運行する。運転手を雇用する。
森目・阪谷線	40歳～49歳	同じ税金を払っているのに、まちなかには循環バスがあるが村部にはない。税金払っているけど利用できない。
森目・阪谷線	50歳～59歳	高齢化社会、特に大野市のような交通網の未発達地域において今後更に大変重要な課題となる事は必至であります。財政的にも難しい問題ですが、市民の暮らしに欠かせない事なので、緊急に改善・整備が必要です。市政としても重要事項として取り組むべき。少子化対策も必要ですが、現状にあった政策をお願いしたいです。
森目・阪谷線	50歳～59歳	市内に住む高齢者の方々が移動手段として充実した内容を検討していけると良い。病院や買い物に行くのに家族が仕事などで留守にすると不都合だと思う。高齢者に優しい「まちづくり」をしていくには公共交通に関することが先決だと思う。
森目・阪谷線	70歳～79歳	学校の統合もあります。高齢者だけでなく、学生も活用できる公共交通であって欲しいと思います。
森目・阪谷線	70歳～79歳	便利がよく使いやすくしてほしい。
森目・阪谷線	80歳以上	●公共交通（※乗合タクシー）を利用しようとして問い合わせをしたら、指定された停留所まで来てほしいとのこと。足が悪くてその場所へ行くことができなかったとの。今後、老人が多くなり運転免許を返納したり、切り替え時の検査で免許がもらえなかったりする人が多く出てくると思われます。●今後、公共交通の利用者は増えると思われます。市の方で、老人会とかを通して現状を把握して対策を取ってはどうか?●県内の市町の公共交通について参考にする必要かと。●利用しやすい公共交通であってほしい。
友兼・蕨生線	30歳～39歳	もっといろんな人が利用しやすいものにしてほしい。
友兼・蕨生線	30歳～39歳	小さな子供からお年寄りまで使いやすい方法を考えてほしい。大野の人口が減るからしょうがないではなく、増える方法やもっと便利な街を作してほしい。福井へ出るのにも時間がかかりすぎる。
友兼・蕨生線	60歳～69歳	大野市内の公共交通は市街地の住民には利便性が良いのかもしれませんが、村部に住む住民には不便である。同じ税金を払っており不公平である!!
友兼・蕨生線	80歳以上	現在夫 87 才、私 85 才の 2 人生活です。10 年前夫が入院した時、車のない不便さを痛感しました。都会に住む子供達から年長的に車を離すよう言われますが、生活を考えるとまだ返納出来ませんが、近々考えないとは思っています。その時、公共交通が便利に使えたらと思います。
小山・木本堀兼線	30歳～39歳	大野市に住む高齢者のために、税金を使って公共交通を充実してあげた方がよいと思う。でも、公共交通を利用するのは、高齢者だけでなく子どもたちも利用する。高齢者のことに重きを置いたアンケートでガッカリした。
小山・木本堀兼線	40歳～49歳	高齢者の方が車の運転免許証を返納できないのは、公共交通機関が使用しづらいところにあると思います。出掛けたい時に自宅まで送迎してもらえるようなサービスがあれば良いのにな、と常々思っています。
小山・木本堀兼線	50歳～59歳	街中に住んでいるのであれば高齢になったら公共交通を利用したいと思うが、かなり村部なので公共交通は、ほぼ無く（乗合タクシーはあるが）不便だと思います（しかたないのですが…）。
小山・木本堀兼線	50歳～59歳	病院受診、美容院へ行く事は必要な所で高齢になっても同じです。食料品などの（移動販売車も回って家に来てもらえるなど）生活用品も買える事も必要な部分です。大野市内では近くに店や病院がないので、車に乗れなくなったら不便です。そこで家まで来てくれて目的地まで行くことができる公共交通は今はないようです。タクシーが一番手っ取り早いですが、高額になるので利用はできないと思います。時間かかかっても仕方ないですが、低料金でなるべく足の悪い方にも不便のないようなわかりやすいシステムの交通機関があると便利かと思います。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	自家用車の利用が今後無理になると公共交通に頼らなくてはいけないのですが、今の状況では不便を感じます。
小山・木本堀兼	60歳～69歳	地域的な観点から公共交通の充実が難しいが、子供や高齢者にやさしい取り

地域	年齢	回答内容
線		組みは必要と考えます。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	大野市は高齢者が多いので、もっと市内の公共交通を充実して欲しい。今はまだ自分で移動出来ますが、後10年もしたらと思うとぞっとします。特に病院の通院などがこれから大きな問題になってきます。福井まで行こうと思うと大変なことです。子供達の未来も大事、子育て世代も大事。しかし自分達が高齢者という立場になって思うのは高齢者が住みにくい所は未来がないように思います。選挙の時ばかりいい事を並べるのではなく、実践していただきたいと思います。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	今は自分で運転して出掛ける事が出来ますが、もう少し高齢になったら送迎して下さる公共交通があると助かります。小回りの効く車で近くまで来て下さると有り難いと思います。その為には色々な問題があると思いますが…。費用の事、運転する人員など…。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	今のところ考えても「こうだったら」という思いが出て来ません。住んでいる所は停留所までかなり遠く、どうしたら公共交通機関を利用出来るのかと不安です。歩くのもままならないとすると、特に冬は誰かの助けなしでは外出も出来ないと思っています。一人一人に対しては到底無理な事だと考えますが、そんなに先の話ではない。現在タクシーのような大きさの車が個人宅まで来て頂くには?コストがかかりすぎた。かなり難しい問題だとあらためて考えております。より良い方向に進めていただけたらとの希望です。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	地区が市街地より遠いので、便利が悪い為、市として利便性を考えてほしいと思います。
市営バス	40歳～49歳	公共交通の充実がまちの活性化につながると思うので、思い切った施策を期待しています。
市営バス	50歳～59歳	説明会でデマンド交通の話がありましたが、お年寄りには「デマンド」という言葉に馴染がなく意味が伝わらないと思うので名前は別にした方がいいと思う。車の運転が出来ない子供（特に中学、高校）やお年寄りが利用し易くなってくれると有り難いです。
市営バス	50歳～59歳	公共交通は車のない人にとっては必要だと思います。でも、人口の少ない地域では維持が難しいのも理解できます。高齢となったら便利の良い都会に出られたらいいなと考えてしまいます。
市営バス	50歳～59歳	回答に迷う項目ありました。それは、いつまでもここに住み続けられるよう高齢者や学生などが使いやすい公共交通をお願いします。そのために年間経費が幾分か増えてもやむを得ないかなと思います。地域の負担も場合によっては負担も必要かもしれません。利用しやすいようよろしくお願いします。
市営バス	70歳～79歳	年々高齢化が進むので、公共交通の充実は重要であると思う。
公共交通の存続希望		
まちなか循環バス	19歳以下	福井の高校に通っているのですが、通学に越美北線の利用は不可欠です。年々赤字だという知らせを目にしますが、どうか存続していただきたいです。
まちなか循環バス	40歳～49歳	今回、このアンケートにていろいろな公共交通の手段を知った面がありました。自分は今は関係ないけれど、将来利用していかなくてはならなくなるかもしれません。1番怖いのは、交通機関が少なくなっていくことです。人口の減少に伴い、少なくなっていくのは不安です。本当に助けてほしい時のために、税金などは使ってほしいです。
まちなか循環バス	40歳～49歳	○JR 越美北線は必要だと思います。(通勤通学)
まちなか循環バス	60歳～69歳	殆ど公共交通は利用しない生活をしています。たまに越美北線に乗り福井まで行きます。のんびりした気分で乗る事が出来、とても楽しみにしています。無くなるのが(越美北線)ないようにもっともっと利用しなければと考えています。本数が少ないのは仕方のないことですが、たまに夕方の時間帯に福井から乗りますと学生さんが沢山乗ることに驚きました。とても大切な越美北線がずーっと無くならない様に祈っています。まちなかバスは乗ったことがありません。便利な場所に住んでいる為だと思います。経費(税金)は掛からない方がいいと考えますが不便な思いをする人が増える事は不幸なことなので、やはり税金が高くなっても仕方ないと考えます。
まちなか循環バス	60歳～69歳	JR 越美北線は極力残す方向で尽力して欲しい。
まちなか循環バス	60歳～69歳	○越美北線を存続させて欲しい。

地域	年齢	回答内容
まちなか循環バス	70歳～79歳	この地域での生活には車が必要ですが、高齢者の事故発生を考えた時、公共の交通機関は必要です。車がない生活は考えにくいです。それゆえ、地域使用限定の免許があれば、幸いに思います。タクシー利用が、電話にて一人でも動いてくださると（通行券等、一部負担の許可証がある）大変助かります。公共交通の継続をよろしくお願い申し上げます。
まちなか循環バス	70歳～79歳	過疎地域には今後増々必要になってくるが、維持経費が大変になってくる。利用者が地域ごとに（時間等を）まとまり、ある程度個人負担で運用していかねば。
まちなか循環バス	70歳～79歳	・・・課職員の皆様御苦勞様です。一市民より。末筆ですが一言記させてもらいます。人口減少、高齢化、自家用車輻増（一戸当たり2～4台）に依り公共交通機関の利用は減るばかりです。それで減便や廃止に至って居ります。この様な中で交通弱者、高齢者（免許返納者を含む）の移動手段は減り、不便になるばかりです。その点循環バス・市営バスは我々私達にとって有難い存在です。越美北線は何時も廃止路線の候補に、また京福バスも似た様な立場です。車社会に馴れた人達に公共機関の使用を呼びかけても即利用は無理かと思われまます。自分で車が利用出来なくなって初めて公共交通機関の有難さが解ると思います。どうか公共交通機関の継続を願う者の1人です。
まちなか循環バス	80歳以上	公共交通は今必要ないですが、（今は家族の車で移動）将来必要になります。生活必需品の販売移動車を公共交通でやっていただくと冬などはとても助かる人が多いと思います。
大矢戸・乾側線	20歳～29歳	JRについて、駅員さんやスタッフの方は真心を尽くして働いていらっしゃるの、その姿勢が報われる会社であって欲しいと思う。サービス低下は受け入れているが、廃線は困る。赤バス青バスも今は利用しなくなったが、色んな立場の人にカバーされるものであって欲しい。
大矢戸・乾側線	40歳～49歳	公共交通は確かに必要であるが、車社会である現代社会では負債ばかりが増えているのが実状。これを改善することは不可能と思われるが、少しでも負債（マイナス面）を減らすことは、大切であると思う。以前は越美北線を利用（通勤のため）していたが確かに便利であったと思っていたが、実際には出勤時間（8:30分まで）に間に合うようにするためには朝一番もしくは二番目の列車しかなく、しかも乗って来る人もかなり多いので、スペースがなく、窮屈な思いで1時間移動しなくてはならないので体調をくずす事が度々あったので車移動へとシフトしてしまった。これではいかに公共交通でもマイカーの方がましであると考えてしまった。でも将来的には必要になってくると思う。（車移動ができなくなる）のでこれからも残して欲しいと思う。
大矢戸・乾側線	40歳～49歳	子供が高校生で越美北線を利用して通学しています。私自身は使いませんが子供にとっては大変重要な公共交通なので廃線などは慎重に議論して欲しいです。京福バスは高額過ぎてとても利用出来ない状況です。また、大野市の越美北線利用の補助金をできればもう少し上げて欲しいです。宜しく願います。
大矢戸・乾側線	60歳～69歳	将来越美北線が廃線されることも考えられますが、大野市発展を考えても必ず継続して運行してほしい。（福井～越前大野～真名川～土打までは絶対に残すこと）福井への通勤が容易にできるように改善してほしい。必ずです。希望だけではないです。
大矢戸・乾側線	60歳～69歳	越美北線は廃線すると困る。最低でも旧大野市内は引き続き走ってほしい。福井方面への通勤が出来るように頑張ってください。人口減少と結婚対策をして、バスや汽車に乗る人を増やしてほしい。
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	「鉄路のない市（まち）はない。」かつて沖縄県を除いて使われた言葉です。越美北線が第二次特定地方通線として、廃線が騒がれた際、冬期間の代替輸送道路が雪で通行不能として廃線を免れた歴史がある。86が走った時を懐かしむのではないが、大野市にとって鉄路をなくしてはならない。今、市民に乗車促しても、決して得策にはあたらない。むしろ市民が負担（税）してまでも鉄路を残すという気運の醸成が必要だろう。また、乗車ターゲットを市民以外に求める方策は多くの市民のアイデアを募集してみてもいいか。子供達に描いてもらうのも夢とおもしろい。
森目・阪谷線	40歳～49歳	越美北線の存続、運転免許の無い人（返納した人も含む）が移動し易い環境をお願いします。
森目・阪谷線	80歳以上	●公共交通はますます必要と思う。
友兼・蕨生線	50歳～59歳	市民の生活の為に絶対必要な公共交通です。特に冬場などは使用する機会が増えると思います。市、個人の負担も年々増えると思いますが残って欲しい

地域	年齢	回答内容
		いと思っています。
小山・木本堀兼線	80歳以上	長い間、公共バスを利用してスイミングへ通っていました。いつも一人か二人で私だけの時も何回もありました。自宅からバス停までの距離が遠く徒歩約15分、バス停から目的地まで徒歩約10分、帰りも市役所まで徒歩10分、待ち30分でした。それでもバスが無ければ行くことは無かったでしょう、ありがとうございました。乗りながら何かもっと皆が利用できて空車が無く、良い方法は無いかといつも思っていました。大きなバスは経費もそれなりにかかるし、人件費もと思います。難しい問題と思いますが、各所で行われている教室の場所、時間、利用率など細かい連携で何とかならないでしょうか。バスは必要です。現在(90歳)は利用していません。
市営バス	50歳～59歳	皆が自動車を運転しているわけではないので、公共交通がなくなってしまうのは困りますが、まちなかバスや越美北線を利用されているのは今は少ないと思っています。なので無くして欲しくはないと思っています。私も使える時はJR、市営バスを少しでも使おうと乗っています。
市営バス	50歳～59歳	17:53発九頭竜湖駅行きのJRを利用していますが、私だけという時もあり存続に不安を感じます。もしJRが廃線を決定した場合は、市営バスか将来運行するかもしれない高速バス(名古屋への)に乗れるようにしてほしいです。和泉からバスやJRを利用している高齢者や障害を持つ方をみていると、公共交通は必要だと思います。そのためには、私達が利用しないとイケない日々思っています。
市営バス	70歳～79歳	現状維持を願いたい。
市営バス	70歳～79歳	現在は2人で生活していますが、1人になった時に公共交通が必要となる為残してほしい。
市営バス	70歳～79歳	JR越美北線、今、多数の方々の努力で運行されているが、自然災害等あまり関係ない時でもすぐ運行中止になっているが、目的は廃線ありきをまざまざと見せているようでとても残念に思っています。弱者救済精神望みなしですかネー。
市営バス	70歳～79歳	今後、市民の高齢化はますます進み、公共交通の必要性は増す。現在利用者数が減少していても絶対必要で残さなければならず、重要性は増す。再構築をするにしても、先細りのないような方策を願います。
市営バス	70歳～79歳	越美北線が利用し易い便の増便を願う。幹となる鉄道それに伴う枝がバスとなる。鉄道の便が増える事によりバスの運行が決まるのではないかと。越美北線を守ることが重要である。
—	60歳～69歳	今後、JR越美北線の存続が危ぶまれる。その代用の手段を考えてもらいたい。
運行形態の改善		
まちなか循環バス	20歳～29歳	まちなか循環バスをよく見かけますが、ガラガラの状況をもったいないと思いつつも必要としている方もいるのなら仕方ないと思っていました。ですが、ガソリン代や維持費、人件費を考えるとバスよりも必要としている人が必要とする時に動けるタクシーの方が効率も良いのかなと思います。
まちなか循環バス	30歳～39歳	高齢者だとバスまで行けなかったり、乗るのが不安な方が多く感じます。特に山の方に住んでる方、運転が危なくても、ないと困るといって免許の返納をしません。毎日運行しなくても、各地区曜日を決めて運行し乗れない方も乗れるような環境になるといいと思います。乗り合いボランティアとかあるといいのでは?
まちなか循環バス	30歳～39歳	○小中学校の合併に伴って、スクールバスが今後多くの市内路線を開拓していくと思う。閉校・廃校になった地域の方も共に利用できる方法があると良い。(不審者対応なども課題となってしまうが)学生も地域住民も利用しやすくなると思う。
まちなか循環バス	40歳～49歳	中学生の自転車通学について。冬期は自転車は利用不可になります。たださえ中学校までの距離がある通学路を雪の中朝早く、帰りは部活で暗い中徒歩を余儀なくされています。スクールバスなど、その冬季期間だけでも運行してもらいたいです。全ての家庭が毎日送迎できるとは限りません。色々な家庭の事情をもっと考慮して欲しいです。まちなか循環バスのことはよく知りませんが、もしこのバスを利用して冬場登下校が可能であればその旨を自転車通学の家庭には通知して欲しいですし、その運賃も無料にしてもらいたいです。バスの発行など。小さい子供さん達への手厚い支援同様、中高生達への細かな支援もお願いしたいです。こちらの課への意見とは違ったかもわ

大野市公共交通に関するアンケート調査

地域	年齢	回答内容
		かりませんが、近い将来そうなって欲しいですね。令和5年1月21日
まちなか循環バス	50歳～59歳	今現在循環バスや乗合タクシー、市営バスなど、どれだけの人がどれくらい利用しているのか知らない。まちなかにしてもその停留所まで行くのが遠いという利用しない(祖母)。乗合タクシーも理解しにくい為、結局は利用しない。自動車学校のようにどこでも乗れると良いと思う。
まちなか循環バス	60歳～69歳	民間事業への改善。バス運転経験者の定年後を打診して人数を確保する。
まちなか循環バス	70歳～79歳	だんだん足行が困難になり買い物にしても重たい物は持てず、特に冬は自転車にも乗れないので恐る恐る自家用車を利用しています。理想としては戸口から戸口へ送ってもらえれば大変有り難いです。週に1～2回でもいいです。通院の日もあるので曜日の変更もあれば幸いです。
まちなか循環バス	80歳以上	乗り合いタクシーは常時利用するのではなく申し込みを受け付けて運用してもよいのではないかと(乗車率が低いのであれば)。循環バスや市営バスは停留所に来るとき、何か外部にも聞こえる音楽のようなものを鳴らす事は出来ないか?(昔のお豆腐屋さんの様に近づいて来ている事を知らせる)。
まちなか循環バス	80歳以上	年寄りには運転するな、免許返せよとのことだが、大野では無理。買い物や医者にはタクシーを使えば高額になり破産する。自滅せよとは言えない。循環バスが誰も乗らず、空で走っているのは経費の無駄。エネルギーの無駄。いい地域のテレビの先進地を見習おう。ジャンボタクシーの活用。
まちなか循環バス	80歳以上	市内バスと郊外バスの停留所を統一する。市内バスで学生が利用する時間以外はデマンドとする。市内バスも郊外バスも大野市内はデマンドの停留所としてデマンド化する
大矢戸・乾側線	50歳～59歳	全小、中学生へのスクールバスの無料化の実現！ 高齢者の介護タクシーの無料化又は一部負担！
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	今は自分で運転できるが免許返納をした後、乗合いバスが運転して下さり目的地まで送迎が出来るシステムが出来ると有り難いと思います。お願いします。
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	村部の乗り合いタクシーは予約が面倒だと聞いています。
大矢戸・乾側線	80歳以上	今のところ主人が運転するのでいいのですが、主人も免許返納がせまられていますので、いつも間近に公共交通を利用しなければならないので、こういう公共交通を利用しなければなりません。2、3年前に聞いた話ですが絶対決まった駅(※停留所)でないと乗り降りができないと聞きましたが、自分達高齢者は足腰が悪いので、歩くのが大変なので、利用者の目的地で乗り降りできると良いと利用者様が語っていたことを覚えております。こんな話を聞いていますが、これは無理とは思いますが、なるべく利用者様の便利をはかっていただけたらと思います。よろしく願いいたします。まだ1回も公共交通を利用したことがないので答えが少ないと思いますが、私の答えはここまでです。
森目・阪谷線	60歳～69歳	目的地は皆さん色々。時間も、目的地を日によって決める。病院廻り、スーパー廻り。
友兼・蕨生線	60歳～69歳	ますます増える団塊の世代の中で公共交通は欠かせないものになります。また近年若者達と別居生活が多い中で、足腰が弱くなっても病院や買い物には行かなければならない。その為にももっと便利にするべきです。例えば介護バスのように、1ヶ月の予約制にするとか? 車庫出発 6:30～8:00頃 各病院着→スーパー10 往 8:30～10:00頃 10:30～12:00頃 復 12:30～14:00頃 14:30～16:00頃 16:30～18:00頃 何曜日、行向時発に乗る 帰 //
友兼・蕨生線	70歳～79歳	乗合タクシーは便数も少なく、使い勝手が悪いので廃止して、オンデマンド交通にして、いつでも、どこへでも使えるように改善を図るべきだ!! (高齢者、障害者限定。相応の負担。) まちなか循環バスは不要。
小山・木本堀兼	60歳～69歳	路線対象外の地域にとって、まちなか循環バスや乗合タクシーは無意味です。

地域	年齢	回答内容
線		税金の使い方に不公平があると感じます。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	今はまだ自分で車で移動できますが年老いてからが心配です。母が以前、乗合タクシーを利用していました。通院で何曜日かというのは決まっているのに毎回 TEL するのが面倒だと言っていました。決まった日と常時利用する時は何曜日かを最初に聞いて利用しない日があったら連絡すると決めると良かったようです。年老いてからの TEL のやり取りは耳も遠くなり結構大変なようでした。タクシー会社さんにも都合はあると思いますが、年寄りに優しい大野を目指していただきたいです。予算の都合もあると思いますが乗合タクシーやバスの時刻は市民の意見を聞いて利用したい時間を増やし、利用しない時間帯を減らす工夫をしていただけたらと思う。とにかく今自分の車で活動できる若者にとってはどうでもいい事かもわかりませんね。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	店舗など(Vio、スーパー、病院、クリニック)と連携し行先に特化した運行にする。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	まちなか循環バス、乗合タクシーについては見直しが必要と思う。ほとんど客は乗っていないのでは?依頼がある時だけにしては?
小山・木本堀兼線	80歳以上	他のバスは申し込み(予約)が分かるように1本に願っています。
市営バス	80歳以上	○高齢者対象の各種行事(総会、敬老会など会、団体全体に関わる行事は配車して送迎していますが、その他趣味、サークル的な行事)はバス運行時間と異なる時間帯での開催が普通です。その場合に集会場までの手段がありません。予め予約できれば自由に市営バスが要請できるシステムを構築して下さい。
運行本数・ダイヤの改善		
まちなか循環バス	40歳～49歳	たまにバスを見かけますが、ほとんど乗客がいないようでした。またタクシーも時間が短縮されたので、通院している患者さんたちがとても困っているようです。
まちなか循環バス	40歳～49歳	今回のアンケートは私自身についてなので「最寄りの公共交通」という視点で普段家族も全く利用しない循環バスについて回答をさせていただきました。普段家族が毎日利用する越美北線について意見があります。利用時間(多くの学生)が朝6:25の始発、次が7:16となっている為、大抵が始発を利用していると思いますが(7:16では登校に間に合わない)せめて7:05までの便ができないか?子供の登校にとっても負担になっていると感じます。又、快速の便を作る等(利用者の多い7時台、16時、18時台の車両の追加)していただけたら、運賃が上がっても利用する人は増えるのではないかと思います。
まちなか循環バス	50歳～59歳	夕方、福井からの病院帰りなどで家に帰りたいが、家族も仕事で迎えに来て頼みづらい。タクシーも4時になると終わってしまうと家に帰れず、家族の仕事が終わるのを寒中、待っていかなくてはならないと母が困っています。タクシーの時間を遅くして欲しいです。
まちなか循環バス	50歳～59歳	高齢者が、移動のためにタクシーを利用したくても、日曜日は運休、平日は5時までしかやっていないことにびっくりしている。家族がサポートできない時にタクシーさえ利用できないとなると、どうやって移動するのか不安でしかない。
まちなか循環バス	60歳～69歳	まちなか循環バスの本数が少なく利用しにくい。巡回方向は1方向でもよいので本数を増やして欲しい。
まちなか循環バス	60歳～69歳	メディアで乗合タクシーが取り上げていたが、いろいろな問題も出てくると思う。なかなか難しい。大野はタクシーも6時以降は利用できなくなり夜は何を利用して良いか等、夜出るのもなかなか難しい現在です。
まちなか循環バス	60歳～69歳	○越美北線の本数(運行)を増やして欲しい。大阪・名古屋方面から帰省しても待ち時間が非常に長いので不便である。
まちなか循環バス	80歳以上	・時間帯にも問題があるのではないのでしょうか?そのような話が聞こえてきます。
大矢戸・乾側線	50歳～59歳	学校が終わる時間(部活など)にバスがあるといい。本数を増やす。
大矢戸・乾側線	60歳～69歳	財源との兼ね合いもあると思いますが、まだまだ利用し易い数の運行とは言えないです。
森目・阪谷線	40歳～49歳	お年寄りへの対応も大事だが、中学校が統合され、スクールバスだけでは対応しきれない面もある。上庄や尚徳方面も中高生の移動手段となれるまちなか循環バスをお願いしたい。
森目・阪谷線	50歳～59歳	越美北線の便数が増えることを期待します。

大野市公共交通に関するアンケート調査

地域	年齢	回答内容
友兼・蕨生線	19歳以下	問4で記したとおり、自分が通学で利用する越美北線の運行本数をできるだけ多くしてほしいという思いがある。特に学校から帰る時間帯の電車が夜遅くに集中している気がする。16:50～18:21にかけての電車がいないことが難点である。17時台にあと一本だけ入れてくれるように調整してほしいと思う。そうすると家に早く効率的に帰ることができる。よって勉強時間をスムーズに活用できる。
小山・木本堀兼線	40歳～49歳	乗り遅れたら次が来ない、用事を済ませて帰りにバスがない、このような状態では利用できない。以前住んでいた所は30分、中心街で5分間隔ぐらいでバスが運行されていたので車を所有していたがバスも利用していた。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	県外に出かける時にはJRを利用しますが、大野～福井間の便が利用しにくい。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	○カーブスに来る人が帰りの便がないので2時間位Vioで待っている。
小山・木本堀兼線	80歳以上	越美北線は通る時間が増えると嬉しいです。
市営バス	40歳～49歳	中部縦貫ができ、和泉～大野市街間は15分ほどの車移動になりそうですが、和泉地区の子供達のために土日も運行する朝8時着(大野)の公共機関の確保をお願いしたい。
市営バス	50歳～59歳	住民全ての人に対応するのは無理だと思うので利用者の状況によって年ごとにダイヤや本数を見直す為の調査をすれば良いと思います(学生の通学など)。
市営バス	70歳～79歳	バスの交通利用で現状は朝一便(大野駅)ですが、午後も一便を増やしていただけたらうれしく思います。大野市内の方はまちなか・・・、乗合・・・、市営・・・と種類や回数があって便利だと思いますが、旧和泉からでは帰りの時間、汽笛を気にしながら用事を済ませなければいけないので、ストレスはかなりあります。人口減少、利用客減少で仕方ないと諦めているのが現状です。
公共交通の利用促進		
まちなか循環バス	30歳～39歳	○小中学生でバス・電車の乗り方を知らない子が増えていると感じる。(コロナ禍もあるので)将来都会で公共交通機関の利用の方法が分からないとならないよう親や学校や地域の行事などで知る機会があるといい。
まちなか循環バス	40歳～49歳	駅舎も窓もなく暗い印象です。せっかく観光客を誘致(新幹線、中部縦貫)しているので、次は大野駅を魅力的な施設にしてはどうかと考えます。地元の間人も観光客も集めたい、行きたいと思える、そして交通も利用したいと思える改善を望みます。
まちなか循環バス	40歳～49歳	バスガイドのような乗車・下車のサポーターがいると良い。
まちなか循環バス	50歳～59歳	JRは胸がときめく公共交通だと思っている。北陸新幹線の開通が楽しみで仕方がない。新幹線との乗り換えがスムーズな運行時間になれば「乗って残そう」がスローガンなのに、自分自身が月に1、2回の利用では貢献できているとは言い難く申し訳ないと感じている。となると、観光客に期待するしかない。ぜひとも北陸新幹線との乗り継ぎが充実するよう行政の働きかけを願うばかりである。
まちなか循環バス	60歳～69歳	公共交通を利用する人が少な過ぎる。路線バスは赤字であり、その為に本数を減らすなど段々不便になってくるので補助金を考える時に来ている(アップ)。市の職員が利用しているのか?公務員自ら考えるべきです。経営者(バス会社)の立場になって考えて欲しい。
まちなか循環バス	70歳～79歳	公共交通を使いたいが、なかなか機会がないので、もっともっとアピールをして市民全体が使えるようになるといいのでは。
大矢戸・乾側線	30歳～39歳	JR越美北線は無くならないようにしてほしいが、負担が大きくなるのは困る。ラッピング等も変わったりすると、自分も子供も楽しみが増え、乗ってみたいという気持ちになる。JR越美北線の皆様、まちなか循環バスの皆様、子供が手を振ると、汽笛を鳴らしてくれたり、手を振り返して下さりありがとうございます。
大矢戸・乾側線	40歳～49歳	大野から福井へ通勤する人が多いが、車で移動する人が多いので、こういう人達(特に駅周辺・・・徒歩10分以内の人・県職員・市職員)←かなり多い、周辺の駐車場を独占している。に利用を促せば少しは改善できると思う。魅力ある施設→駅周辺を誘致したりしても良いと思う。

地域	年齢	回答内容
友兼・蔵生線	40歳～49歳	大野市はエリアが広いので、公共交通機関の整備は大変だと思います。マイカーがベースにある以上、住民の利用率は限界ありますが、観光客の集客に注力するか、市民の住む居住地エリアを集中させるなどの抜本的な手法をとらないと本当の意味での解決は難しいと思います。そのためにも越美北線の観光列車化させることは、集客に向けた第一歩です。バスではなく鉄道で行きたくなる仕掛けをよろしくお願いします。
小山・木本堀兼線	50歳～59歳	市民の利用だけでなく観光面での利用促進も活発に行い、充実したモビリティ社会を目指して欲しい。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	問13のような制度がある事も知らなかったなので他の制度についても知らない事が多いのではと思った。大野の情報誌等は目を通してはいるつもりだが、知らない情報も多いのもっと大々的に共有できるものと考えて欲しいです。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	乗合タクシーのアピール等。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	○利用方法のパンフレットが見にくい。これが一番言いたいです。○長生会やサロン活動に出向いて説明してほしい。
市営バス	50歳～59歳	仕事の都合で毎日利用するのは大変かもしれませんが、もっと市役所の職員の方が積極的に公共交通を利用していることをアピール出来ると良いと思います。
市営バス	60歳～69歳	荒島岳登山口の駐車場が満車になって県外から来られた方が困っておられた。道の駅から登山口までのピストンバスを走らせるのは無理ですか？せめて秋の紅葉シーズンだけでもと思うのですが百名山もアピールしている割にはお客様を大切にしないのは福井県の県民性？ですか？
市営バス	60歳～69歳	子供が小さい頃は冬期間に限らず利用していましたが、現在移動販売に協力することを優先しているため、外出は田畑山等がほとんどなので公共機関を利用しない生活になってしまっていて申し訳ないです。今後生活していく上で自動車・バスのお世話になることもあろうかと思いますが、それに乗るための体力づくり(特に足腰)に努めたいと思います。人生の最期まで自分で運転でき歩ける状態からコロリとこの世から「おさらば」できるのであれば幸せなことですが……。公共機関を利用したイベントにはなるべく協力したいし今もしているつもりです。今の私が公共機関利用する現実としてもっとイベント(興味のわく)計画を楽しみにしています。よろしくお願いします。
—	80歳以上	ご苦労様です。運転免許返納して市内の公共交通が10年間も「無料」で利用出来ると聞かえはいいですが、一度も使わない人が多いのではないのでしょうか。使用した人の統計なども広報にのせてみては如何でしょうか？
運行ルート・バス停の改善		
まちなか循環バス	20歳～29歳	福井～大野市から白馬までの高速バス、または名古屋、東京までがほしい。中部高速を使用して。
まちなか循環バス	60歳～69歳	まちなか循環バスをもっと市民全員が公平にどこでも誰でも利用できるようにしてほしい。又、市民が多く行くスーパー・病院・学校・温泉・ドラッグストア・ホームセンター・JA・銀行など回数を多く通るようにしてもらいたい。期待する。循環バスのルートや本数を5～10倍にする。今回の見直しに本気でやってもらいたい。常日頃から市民の意見を聞くシステムがないのが根本的原因。聞きに回れ。1日1分。市民の日々の動線をあぶり出しているのか。把握してルートに。
まちなか循環バス	70歳～79歳	福井方面に行く公共交通を利用したい時、どこの停留所(六間、Vio、結ステーション)へ行っても同じ時間がかかる。老人になって歩行できず病院へ行きたいと思っても行きようがないので困る。まち中循環バスでも泉町方面へ入ってくれたらと思う。本当に中心の町中にいる人だけ便利で、町の少し外れている所に住んでいる人には不公平に感じる。なんとか考えてほしい。
まちなか循環バス	80歳以上	・私は80歳以上の高齢者ですので、いつかは免許を返納しなければなりません。そのためには公共交通を利用しなければなりません。足腰も弱くなり、歩くことは大変です。乗り場が近くでないと困難です。特に趣味に通うことはできなくなります。そのような方々は多いと存じます。バスなどの乗り場を見直しはいかがでしょうか？
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	私は、乾側地区に住んでおります。後期高齢者の歳になり、免許証返納の事も考え始めましたが、乾側地区に来る乗り合いタクシーは、コースが決まっているので、Vioには、行かれないと聞きました。高齢者に成ると、足腰が悪く成り、医者と買い物は、絶対に欠かせません。帰る時でも、2～3ヶ所寄りたいたい時もあります。買い物の荷物を持って、どうして、数カ所の移動をすれ

地域	年齢	回答内容
		ば良いのか困っています。時々タクシーを利用すればと、思ったのですが、そのタクシーが少なくなったと聞いています。乾側から、Vio、パルス、ドラックストア、市役所、銀行、郵便局、あつたかランド、その他色々な所に行くには、どの様にすれば良いのか悩んでいます。福井に行くには、越美北線の便数は少ないし、京福バスは、家からバス停が遠いのです。夏の暑い日、雨の日、風の日、雪の日、が、多くて、気持の良い歩きやすい日は、少ないと思います。自分の都合の良い事ばかり書きましたが、私の本心です。もっと、他の路線の乗り換えの事も勉強しなくてはと、思いますがそんな事を、考えると、免許証返納は、簡単に出来ません。ショッピングセンターVioに、こだわるのは、色々な店が、有るからです。靴、下着、和菓子など、多種類の店が、有るので買い物をする際、楽なのです。ホームセンターパルスも、Vioの近くに有って、1店で、色々な商品が、揃うからです。
森目・阪谷線	60歳～69歳	まちなか循環バスの範囲を広げて欲しい。バスなどの乗り降りがスムーズに出来る様になっているのか？
森目・阪谷線	70歳～79歳	大野市内、勝山市内は今はマイカーで行けますが、これからは心配です。もうちょっと大野市内だけでなく市外地のバスも増やして欲しいです。はっきり言って不便です。分かりにくいです。
森目・阪谷線	70歳～79歳	公共交通のコースをもっと細かくする。
友兼・蕨生線	40歳～49歳	学生(高校生)向けにまちなかバス乗場まで距離がある地区を対象、上庄公民館や五箇、乾川地区、富田、阪谷公民館発大高・明成行きバスを出してほしい。道路状況(冬)など親の送迎も限界がある。仕事に遅れたり事故にあったり、車のガソリン代減にもつながる。環境問題も自動車利用減に関係してくるのでは?かといって運転手など人手不足も問題で大野市民の助けも必要になってきているのでは？
友兼・蕨生線	70歳～79歳	○道の駅には2時間に1度はバスが来ていますが(4月～12月)町に行った時は、そのバスを使用する事が出来るのですか。○公共交通を利用したいが、バス停が遠いので利用出来ない。
友兼・蕨生線	80歳以上	私は乗合タクシー(友兼蕨生線)を利用しています。足が悪いので買い物が出来ません。Vioに停留所が欲しいです。
小山・木本堀兼線	50歳～59歳	もっと家の周辺まで来てくれたりすると利用者も増えると思う。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	○乗り場所降りる場所がわかりにくい。○自宅から目的地までの便がない。タクシーの半額位なら負担する。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	家の近くなど来ていただくと利用者が増えてくると思います。
市営バス	50歳～59歳	和泉診療所の歯科の廃止を検討しているが、和泉地区から大野市内への公共バスや越美北線の便数が不便であり、和泉地区の高齢者世帯者は、免許証の返納をしており、歩いて大野市内への歯科や病院や買い物へ行けと言われていた状況です。中部縦貫道が九頭竜ICまで開通しても、和泉地区→大野市内までの公共交通機関(電車やバス)が走行しない限り、和泉地区は不便です。例えば、和泉地区住民(高齢者)が、大野市内に用事(通院、買い物)等をする場合の予約制のタクシー、バスを走行してほしいです。永平寺町や坂井市がしている、市内・町内への巡回をしているタクシー、バスのルートを確認してください。
市営バス	60歳～69歳	九頭竜湖～駅(九頭竜湖)までの交通手段が無い。紅葉シーズンには観光客の入込が期待できるが、(湖畔の紅葉の映像が放映される)高齢者等の湖までの交通手段(バス、タクシー往復8000円以上かかる)を何とかできないものか。次の汽車の時刻までに時間が残り、駅周辺では時間を潰せない。紅葉まつりには会場まで(例えば)シャトルバスを運行しているが・・・。
市営バス	80歳以上	白鳥町へのバスの運行も検討して下さい。(車に乗れない人、返納を推進するためには是非検討の余地あり)
将来が不安		
まちなか循環バス	50歳～59歳	現在は自家用車を運転しているので公共交通は使う必要が無い状態ですが、今後運転が出来なくなった事を考えると不安になります。行きたい時に行ける公共交通があるといいのですが。また買い物も一緒にしてくれる気心の知れた方だと安心します。現在は訪問介護者の車に同乗し、買い物、病院には行けませんが、車に同乗出来るような制度になればいいのではと思います。……無理ですが。市の職員さんで前述の様な方が居れば。

地域	年齢	回答内容
まちなか循環バス	60歳～69歳	高齢者が利用し易くして欲しい。マイカーを持っていれば公共交通を利用しようとは思わない。高齢者が免許返納しないのは公共交通が利用しにくいからだと思います。大野での生活にすごく不安です。
まちなか循環バス	70歳～79歳	現在はマイカーで移動していますが、免許返納後の事を思うと日々の買い物・病院受診など不安で一杯です。まちなか循環バスを見かけますが、あまり乗客が乗っていないように見受けられます。
森目・阪谷線	70歳～79歳	最近、高齢者の事故が多くなってだんだん運転する事が不安になって来ました。運転免許も年齢制限して頂きたいと思います。
友兼・蕨生線	50歳～59歳	大野のまちなかはまだバスなどで交通手段がありますが、尚徳や上庄中学校区はまったく利用できず、高校生になったとたん通学が本当に不便になります。親の送迎を前提として、自家用車による交通手段しかない地域にはなかなか人は残らないと思います。また、自分自身も老後車を運転出来なくなったらどうなるのだろうかという不安はあります。
友兼・蕨生線	60歳～69歳	現在自分で移動が可能であり、将来の事を考えたくないのが本音です。少しずつ考えていかななくてはと改めて思っているところです。
友兼・蕨生線	60歳～69歳	現状、公共交通を利用していない為にそれ程関心がありませんでしたが、自分が高齢になると運転免許証を返納した場合を考えると越美北線以外は使用できません。理由は家からバス停までかなり離れているのでとても無理です。
友兼・蕨生線	70歳～79歳	今は自分で運転出来るので、又家族で助け合える環境にあるのでわかりませんが、将来は不安である。
友兼・蕨生線	70歳～79歳	自分で車を利用出来る時はよいが、いずれ十年も経たないうちに来ること、とても不便に思っています。
友兼・蕨生線	80歳以上	次回3年後免許が無くなるかも知れない。老人の2人暮らし、徒歩で行ける内科医、お店はあるが、それもいつまで行けるか分からない、とても不安である。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	今は運転していますが、やはり今後の事を考えると不安ではあります。毎日の食事の買い物や美容室へ行ったりと、年を取ってもいろいろ用事があり、歩いて行くことに慣れていません。若い方のようにネットも使えませんし、2、3ヶ月に一度福井市の病院へ行くのですが、京福バスを利用しています。たまに乗るのは楽しいですが、美山をぐるぐる廻って一時間かかりますが、助かります。今は近くにJAがありますが、何年かするとなくなるらしく、お金の引出も歩いて行けるところにあるといいと思います。このような機会を与えて下さり、いろいろと考える事ができました。ありがとうございました。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	今のところ自分で運転していますけど、近い将来運転できなくなったら公共交通が利用できるといいけど、今の状況、医者へも行けなくなるようで心配です。
小山・木本堀兼線	80歳以上	山間部の村は今後どんどん陸の孤島になっていく様に思う。同居している1歳のひ孫がいるが、どの様な交通手段で雨や雪、風の日に買い物に自由に行けるのかなと思うと現状では心が痛む(小、中学生になって学校が休みの時、本や服等を自由に買い物出来るのだろうか?乗合タクシーは土日祝運休である。)
新たな公共交通の整備		
まちなか循環バス	60歳～69歳	坂井市が行っている様に自己負担金¥300でタクシーが自宅まで迎えに来てもらえる様にして欲しい。
まちなか循環バス	70歳～79歳	公共交通は時間も決まっているからタクシーの様に大野市内100円で来てくれる車がいいかも?
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	従来と違う体制。他の地方団体が行っている先進的なアイデアを一部地域に導入してやってみる。
森目・阪谷線	20歳～29歳	公が認めるチケットを発行して民間の車を利用出来る様に認定して民間車を交通手段の一つとして増加させる。安全の確保は経験や資格があれば認める制度が必要ではないか。現在の様な形式的な公共交通制度では利用者が利用する気になれないと思います。各地区に何台でも配置できるとよいのではないか。空いている車、人力者が動けるとよい。
森目・阪谷線	60歳～69歳	公共交通を利用して目的地に行っても帰りの便に時間があつたり、荷物があつたり、うまく帰れるか分からない。近所との助け合いで乗っていける仕組みを構築し、広げていく必要がある。
森目・阪谷線	80歳以上	○過疎化、高齢化社会を考える場合、現在の公共交通システムは全くナンセンスと考える。○タクシーの稼働時間帯が短く、必要な時に利用出来ない。公共交通システムと関連してタクシーとの連携を図ることも必要で、タクシ

地域	年齢	回答内容
		一会社に補助金を与え、タクシーの利便性も図るべきと考える。
友兼・蕨生線	50歳～59歳	○村の地域では事前予約をしてタクシーや乗合バスで送迎して負担するのはどうでしょうか。500円～1000円程度。○市街地では巡回バスを走らせて1回100円or200円程度の負担をしてもらうのではいかがでしょうか。
友兼・蕨生線	70歳～79歳	各部落ごとに区長のもと常に家にいて免許もあり自家用車もある人に部落ごとの送り迎えを出来る人を数名確保して町に行く、買い物に行く、病院に行く等の人を送り迎えにいく組織を作っていくといったことを区長を中心に作っていく。市よりガソリン代と手間賃を村ごとに出してもらい村の人が送り迎えとなればいつも顔を見ているので安心もあり、スムーズにいくと思われま
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	図書館などは無料で行ける公共交通が無ければいけない。あるとしたら本数がいつでも行けるようにしなければいけない、不公平になる。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	最近NHKテレビで放映していたので「ご近所タクシー」?というのがあった。良いと思う。調査検討の上、活用されたし。ドライバーになる用意あります。(ボランティア)車があって元気で暇な人が多い。これを活用すること。マッチングアプリかな。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	○図書館へタクシー利用の夫婦がいる。○アシスト自転車の貸し出しはどうでしょう。
小山・木本堀兼線	80歳以上	先日TVで関東地方の試みが流れていた。朝晩の通勤時間帯は時刻表通り運行し、それ以外の利用者が少ない時間帯はTELや携帯で予約し、希望の場所まで来てくれる。(この場合、停留所の数が時刻表通りの場合より増える。)そうすることにより乗車する人がいなくても、経費をかけてバスをグルグル動かすより少なく済むらしい。内容はハッキリ覚えていないが、ザックリとこの様な感じだったと思う。自分は現在車で自由に動けるが今後公共交通が整備されていたら利用したい。それが難しいのなら安価なタクシーの整備を考えてほしい。乗り合わせる人数は2～3人。自分の目的地以外で停まる所は2～3ヶ所まで。こまやかな対応が必要となってくるので、難しいと思いますが、今から対応して下さることを願います。
市営バス	60歳～69歳	大きなバスより、小型でいいから、いろんな所を回ってくれる乗り物の方が良いと思います。(永平寺町のやり方がいいなあと思いました)ニュースで見ました。間違っていたらすみません。
運行経費の改善		
まちなか循環バス	50歳～59歳	朝夕は学生が乗るのだろうが、日中ガラガラのバスを見かける。6千万を使うなら、運行を見直すべきだ。斬新なアイデアを期待します。
まちなか循環バス	60歳～69歳	65才以上が免許返納した時に、市内の交通が10年無料となっているが、利用者はどの程度いて、公費の負担は市民1人いくらになるのか知りたい。市内でデイサービスに通う人が多いと思うが、それによって公共交通の利用は影響を受けているのか知りたい。利用者が減っているなら公費で賄っている額を減らしても良いと思う。65才以上が公共交通機関についてどう考えているのか意見が知りたい。若者と65才以上の意見を照らし合わせて互いに援助しあって公共交通機関を存続させていきたい。公共交通機関のコストカットについても検討していきたい。
まちなか循環バス	60歳～69歳	今の自分には必要ないけれど、いずれ自分も車の運転をしなくなる時が来るので、人事とは思えないが私の住んでいる所はJRもバスも割と近くにあるので恵まれていると思う。村部の方の事を思えば今のままでいいとは返答したがより便利にできる方が良くけれど、財源の事も思えば自家用車でさっと出掛けるような事は無理だとは思う。JRとバスは割と目的地に近い所での利用ができる気もする。なかなか全ての人に便利にとはいかないだろうと思う。税金の使いみちを見直してどこにお金を持っていくか深く市側の方の努力に期待したい。周りをみても無駄遣いをしている気がする所がかなりあるので、しっかりとやってほしいと思う。
まちなか循環バス	70歳～79歳	まちなか循環バスはいつ見ても乗客はほとんど乗っていないように思います。税金を使つての運行であれば、もっと利便性の高い目的地まで乗車できて、バス停を利用しなくても乗れる事が良いと思います。元気な人は歩行も可能でしょうが、高齢になるにつれて行く事も出来ないのではないのでしょうか?利用する人からもかかった費用に補助をして払ってもらふべきだと思います。ますます高齢化が進む中、税金のムダ使いはやめて欲しいです。いずれ私達も利用するかも知れません。その時に満足できる交通手段を希望しま

地域	年齢	回答内容
		す。まちなか循環バスは必要ないと思います。
大矢戸・乾側線	30歳～39歳	将来子どもが利用する可能性がある。なるべく利用しやすく、利用頻度の少ないものは見直して財源を無駄なく活用してほしい。
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	循環バス、乗合タクシーの路線毎の利用率を検討し、経費を再検討する。
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	どのバスを見ても、あまり乗っていないのではないですか。もったいないと思う。
森目・阪谷線	60歳～69歳	昨年まで区長をしていました。区長会にきた時の説明で大変な経費負担をしています。公共交通を行う意味がわかりません。自分は早めに免許を返納し生活をあきらめます。
森目・阪谷線	60歳～69歳	走行中のまちなか循環バスを見るとほとんどお客様が乗っていません。定期的にまちなか循環バスを運行する必要があるのでしょうか。年間6000万の経費を有効に活用する方法が他にもあるように感じています。
森目・阪谷線	80歳以上	町部はとても充実していると思うので羨ましい。運転免許を返納された方の話を聞くと、近くの停留所ではなく運転手さんの親切により自宅前まで送迎してくれるそうだ。でも市の財政を考えるとどれだけ負荷がかかっているのかと思うと高齢化、過疎化で今後増加するに違いない。学童時期、塾、クラブの送迎は皆手厚く若人達を見るとこれも負荷が個人にかかっているかと思う。なので上手に相互扶助を出来る仕組みが出来たら良いのになあとパパは思うのであります。
森目・阪谷線	80歳以上	バスの中に人を見た事がない。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	安くても良いが利用者は使用料を払うべき。自家用車を持てばそれ以上の金がかかります。がらがらのバスを走らせるよりワゴン車など使い、安く経費を使わなくした方が良いと思う。
支援制度の充実		
まちなか循環バス	20歳～29歳	現状、高齢者向けのサービスばかりですが、子育て向け（世代）が利用できるようなサービスがあるとよいのではないのでしょうか。
まちなか循環バス	30歳～39歳	○山村部(市内)に住む祖母(80代)が自主返納してバス等を使ったかという使っていない。同居家族が通院などを助けている。だが、1人2人暮らして車もないとなるとどうやって大きな物などを運んだりするのだろうかと思った。言いにくい高齢者もいると思うので、福祉サービスなどで寄り添って山村部でも住んでいける制度・サービスがあるといいのかなと思った。
まちなか循環バス	40歳～49歳	○市内の公共交通、無料ではなくて、タクシーチケット(無料が割引)をもらったほうがうれしい。
まちなか循環バス	70歳～79歳	タクシーチケットと週一回買い物するとし、月4枚ぐらい配布して下さる方が良いのではと思います。
まちなか循環バス	80歳以上	○運転免許を持たない65歳以上にタクシー割引チケットが交付され感謝しています。年間3000円を少しでも増額していただけたらと思います。予算の関係もあると思いますが。
森目・阪谷線	40歳～49歳	利用出来る地域と利用出来ない地域があるのでは？65歳以上無料制度は利用出来る利便性が重要なのでは。65歳以上の大野市民全員が平等に利用出来ない制度ならば継続する必要なし。税金投入の必要なし。
森目・阪谷線	60歳～69歳	数年前に父が免許証を返納した時にバスの無料券を頂きました。がまだ一度も使用しておりません。目的地まで運んでもらえないからです。足が不自由だったりすると停留所で下ろされてもそこから目的地まで歩けません。まだ、タクシーの方が使用しやすいと思います。
森目・阪谷線	60歳～69歳	交通弱者に対する支援はすごくありがたいです。日中は家族が仕事に出ているので、病人の送迎ができません。介護タクシーなどの相互に助け合いができる方法も広がるといいと感じています。地域の元気な高齢者が困っている高齢者を助けるような仕組みができるといいと思います。
友兼・蕨生線	40歳～49歳	運転免許自主返納者された方に公共交通を市内に限らず県内にすれば大きい病院への通院や、買い物などにも利用できていいのでは
小山・木本堀兼線	50歳～59歳	10年間無料で利用できる制度を知らなかった。なぜ10年なのか。高齢者の方が期限なしで利用できる様にしたらいいと思う。
市営バス	20歳～29歳	高齢者のサービスも大切だが、将来のある学生などに対しての補助制度を充実していくべきだと感じる。
将来公共交通を利用したい		

地域	年齢	回答内容
大矢戸・乾側線	60歳～69歳	今は利用していませんが、将来必ず利用したい。その時、スムーズに利用できるかどうかと考えるとどうであろうか。身体の元気なうちに日常的に利用する人がもっと増えるといいのかと思う。利用してみないことには分からない。多くの人が利用できる地域活性化につながるのかな。
大矢戸・乾側線	60歳～69歳	現在は車の運転が出来ていますが、今後出来なくなると思うので公共交通を利用したいと思っています。出来るだけ老人が外出できる安全に利用できるようお願いしたいと思います。
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	今は75才ですが、いつ車に乗れなくなるか分からないので公共交通を利用しようと思っています
森目・阪谷線	60歳～69歳	今は必要としていません。しかし将来は大事な事と思っています。良い方法を考えていただきたいと思っています。
森目・阪谷線	70歳～79歳	現在は運転が出来るのでいいですが、いずれは出来なくなります。将来は公共交通が必要になると思います。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	路線バス、まちなか循環バスを見る度に人が乗っていないので経費ももったいないと思う。乗合タクシーは病院などでよく見かけます。自家用車が乗れなくなったら利用したいと思います。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	今はマイカーがあるけど乗れなくなったら利用したい。
市営バス	70歳～79歳	仕事の都合上、車で移動が必要であり、公共交通は利用していません。でも近い将来必要になると思うので、どうかその時がきたらよろしく願います。
バス車両の改善		
まちなか循環バス	60歳～69歳	ほとんど乗客がいないバスが走っているのは経費の無駄ではないか。バスの大きさを小さくするなどの工夫が必要。市中心部に居住を移すなどのコンパクトシティへ向けた取り組みが必要ではないか。
まちなか循環バス	80歳以上	〇まちなか循環バスに乗車数が少ないなあ～と感じています。バスの車体を小さくすると経費の縮小になるのでは～と素人の考えです。
まちなか循環バス	80歳以上	まちなか循環バスには乗車されている人があまりにも少なく市営バスのような小型でよい。
友兼・蔵生線	60歳～69歳	時間によってや場所によっては、小型車の利用を考えてバスでなくてもよい時間もあると思う
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	まちなか循環バスをもっと小型のバスに変更したら良いのではないかと考えられます。それで少しは、経費が削減できるのではと思うのですが。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	同居の家族のいない高齢者にとっては、とても良い手段だと思います。車輛の色がもう少し分かりやすい方が良いのではないのでしょうか。
市営バス	80歳以上	〇前にも書きましたが、イベント時の列車の増量を真剣に考えて下さい。JRへ強く要望して下さい。
利用しないので分からない		
森目・阪谷線	60歳～69歳	今現在利用していないので意見を申し上げることは特にありません。
森目・阪谷線	60歳～69歳	利用していないと記入のしようがない、わからないので、わからないと書きました。すみません
友兼・蔵生線	20歳～29歳	大学生で県外に住んでいるので参考になるのか分かりません。
小山・木本堀兼線	40歳～49歳	移動はほぼ自動車な為、あまりよく分かりません。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	今は自動車がない生活は考えられない。家族がまだ頼むとすぐに聞いてくれるので、よくわかりません。
小山・木本堀兼線	80歳以上	公共交通を使用した事が無いので今は何も分かりません。
市営バス	60歳～69歳	現在は車で移動しているので、必要性についての実感性がわかりません。しかし将来的には必要となる時期が来ると考えています。その時に色々な要望や不満が出てくると思いますが、現段階ではなかなか思い至りません。
移動販売の充実		
まちなか循環バス	80歳以上	毎日の買い物は移動販売車にサービスをしてもらう。協力の要請。高齢者が買い物しやすいように定点に定時(〇〇時～〇〇時)販売。
大矢戸・乾側線	80歳以上	今は自家用車で買い物に行っているけれど数年後には運転免許を返納します。移動販売車が村に来て欲しいです。

地域	年齢	回答内容
森目・阪谷線	50歳～59歳	公共交通の利便性を高めるためには多額の税金が必要となり大野市の財政では今後ひっ迫していくと思うので、現状維持が精一杯なのかなと思う。今はネットでの買物が主流になりつつあるけども、高齢者はその手段を使うのも無理があると思うので移動販売などの物流に力を入れると良いのでは?と思う。
森目・阪谷線	60歳～69歳	生協の移動販売をもっと活用する。集落ごとに来る日と時間を広報する。
友兼・蕨生線	50歳～59歳	○また買い物ができる車が市内を走ったり、クロネコヤマトなどの宅配便がトイレットペーパー等の必需品を販売したりする方法もあるようです。○高齢者は必要最低限の外出ししかなくなるので対象を絞り、目的地を絞って効率的なサービスを実施できると良いのだと思います。私もそのうち自分では車の運転ができなくなるので、それまではもし仕事を辞めて送迎のお手伝いができるのであれば、手助けができるかなと思います。そのように考えている人は他にもいるのではないのでしょうか?
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	免許返納した時のことはまだわかりませんが、移動販売など週一ぐらいであつたらいいと思う。バスの停留所など、自宅から近い方が便利かと思う。
運賃の改善		
まちなか循環バス	30歳～39歳	「スイカ」なども使えれば便利だが、設置費がかさみそうなので、せめてペイペイなども今からのニーズに合うかも。
まちなか循環バス	70歳～79歳	大野市内であればバス・タクシー・(ボランティア)等に使用できるお金に代わる金券を出して頂き、いつでも家から希望場所へ移動できるように。現在身体が不自由(足に病氣有り)な為、家族だけが頼りです。で、何れ家族も老いていく心配です。
まちなか循環バス	80歳以上	運転免許の返納を勧めるならばタクシーの料金を考えて欲しいのとタクシーの運行時間が短すぎる。
森目・阪谷線	70歳～79歳	近い将来は公共交通を利用する事になりますが、買い物は宅配など利用できますが、病院へは自分が行かないといけませんので、バス・タクシーなど低料金で行けるようにしてほしい。
小山・木本堀兼線	60歳～69歳	現時点での利用はほとんどありませんが、コミュニティーバスでワンコイン運賃にすると、学生や観光客、高齢者と幅広く気楽に利用できるのではないかと思います。
商業施設等の整備		
まちなか循環バス	19歳以下	将来、自分で動くためにも、体を鍛える施設をもっと充実させてほしい。
まちなか循環バス	20歳～29歳	福井北IC～東海道の間、ガソリンスタンドがないのが不便です。荒島の郷にガソリンスタンドがほしい。大野ICから降りて入れるのは不便です。
まちなか循環バス	60歳～69歳	ちなみにうちの孫が公園の砂場をきれいにしてほしい。エルパのような楽しいショッピングセンターがほしいと言っていました。関係ない話でした。すみません。
森目・阪谷線	40歳～49歳	高齢者もそうだが、学生が(若い人達)もっと自由に行動できるようにしてほしい。駅の近くに学校を建てると電車を使って通学できるし、バスの本数を増やし、バスで通学できる町にしてほしい。高齢者だけでなく子育てしやすい町づくりに力を入れてほしい。
—	30歳～39歳	移動販売や遠隔診療もいいと思うが、そのような総合施設があるといいと思う。例えば、VIOの空き店舗などを利用して診療所やデイサービス、小児科や病児保育などを集めると目的地が集中するため公共交通が運用しやすいと思う。
公共交通を利用しない		
まちなか循環バス	40歳～49歳	○停留所も時間帯も利用しにくいので、これからはバスは利用しないと思います。
森目・阪谷線	30歳～39歳	最寄りのバス停からバス(?)に乗るのに電話しなくてはいけないので、手間がかかる。乗ろうと思わない。
友兼・蕨生線	40歳～49歳	村部に住む自分達にとっては公共交通機関はあまり身近に感じない。JRも福井市まで行くのなら使うかもしれないが、大野市内に行く際には使わないと思う。
友兼・蕨生線	80歳以上	免許は無くなり、大変困っている。妻がかろうじて有る為、用事を頼んだり同上して行く(医者、その他コメリ等の資材購入(畑用品、細々した大工用品等))月2、3回。

大野市公共交通に関するアンケート調査

地域	年齢	回答内容
市営バス	80歳以上	体が不自由で利用する事はない。
MaaS アプリの導入		
まちなか循環バス	20歳～29歳	アプリやⅣで予約もできて、行先や時間などの手順を登録し、その場に応じて対応する・・・とか。
まちなか循環バス	80歳以上	利用者がいなくても運行している無駄をなくす方法を考えよう。アプリを年寄りでも使えるようなものにして・・・。無人タクシーを運行させ人件費を削るとか。他県でやっているものを参考にして。
森目・阪谷線	50歳～59歳	今後、オンデマンド型の公共交通が主流になりそうだが、スマートフォンを使用したオンライン予約、キャッシュレス決済が可能になると良い。
乗合タクシーの充実		
森目・阪谷線	20歳～29歳	乗合タクシーは便利だと思うので、力を入れてもいいんじゃないかと思います。学生の時ですが、家から学校まで、もしくは学校から家までタクシーがあればなと思ってました。冬や自転車では行けない距離など、助かる人はいるんじゃないでしょうか。循環バスや市営バスは使ったことがないです。今後も使わないと思います。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	道の淵に家があるわけじゃないのでバスの利用はできない。乗合タクシーを充実させてほしい。
その他		
まちなか循環バス	40歳～49歳	高齢化が進んでおり高齢の方や障害のある方は自宅に引きこもりがち。介護保険のサービスも限界がある。今回こういったアンケートが届き、一般の方も声を上げるきっかけとなり、初めて大野市に対し少し心を開けた気がする。選挙等で立派な事を語る方がいらっしゃるが結局そこまで。大野市に対し、不信感、あきらめがあった。今後もこういったアンケート等で市民の生の声を聞いて欲しい。そして水道料金は大野市民全世帯からもらうべき。しかし年金生活者、シングルマザー、生活保護受給者など一定の所得以下の家庭からは徴収しなくても良い。水道料金に関しては不平等であり、ものすごく疑問に感じる。水道料金を基本、全世帯より徴収し少しでも公共交通に廻して欲しい。高齢者や障害者が生活しやすい大野市にして欲しい。市民は今の大野市に対し諦めている方が殆どです。私は市外で仕事をしています。もっと他県、世界を見て下さい。お願いします。
まちなか循環バス	60歳～69歳	現在利用していないので、確実な事は言えないが、家族への負担が増えないようにしないとイケないなと思っています。自身が健康で動ける間はいいけど、年々外出が減っている事は実感します。
まちなか循環バス	70歳～79歳	裁判所後地公園は反対する人が多いようです。他市によると必要な人達が電話して来て頂くそうです。現実にしておられる所で参考にしてもらったらどうでしょうか。良い考えが出来なくすみません。
まちなか循環バス	80歳以上	無料バスの停留所に縁石があるのは危険。3年前すぎや前の停留所で縁石に乗ってすべり、腰椎を骨折した。乗合タクシーとバスを組合せても往復に余計な時間がかかる。車両が老朽化してガタピンゆれる。停留所のベンチ何故撤去したのか？
まちなか循環バス	80歳以上	・高齢の者たちがもっと楽しく、健康的に暮らし、互いに世の中のことが話し合える、そのような市や街になってほしいと願っています。
大矢戸・乾側線	19歳以下	駅に売店を作って欲しいです。お願いします。大野の名物を売店に並べれば観光客が増えるのでは？と思います。大野の駅1個では足りない気がします。大野の水は美味しいです。水まんじゅうはあんこが美味しいです。大野の水ようかんは美味しいです。ショコラ水ようかんも美味しいです。
大矢戸・乾側線	60歳～69歳	65歳以上の運転免許返納者が市内の公共交通10年間無料について詳しく知りたい。
大矢戸・乾側線	70歳～79歳	運転免許証更新の年ですが返納を考えています。
森目・阪谷線	40歳～49歳	こういったアンケートも SNS 等を使ってはどうでしょう。紙のムダでは?SDGS・・・。この紙代分を公共交通の運行費にあててはどうでしょう。
森目・阪谷線	60歳～69歳	現在の公共交通の利用実績についてよくわかっていません。
森目・阪谷線	70歳～79歳	以前も似た様なアンケートを記入した覚えがありますが、内容はもっと細かくあったでしょうか。例えば ○買い物はどこで? ○銀行はどこで? 答えにくかったですネ。

地域	年齢	回答内容
森目・阪谷線	70歳～79歳	利用したくても利用する身体でない人が多いように思います。第一に健康づくりに努力すべきではないでしょうか。
友兼・蕨生線	60歳～69歳	問8. ①を充実して欲しい。
小山・木本堀兼線	50歳～59歳	大野市の少子高齢化に伴い、公共交通の利用は更に減少すると思われる。大野市のビジョンとして長寿のための健康増進企画は多い。しかし、人口は増えていない。人口をもっと増やす企画が必要ではないか。企業誘致等、若者が定住する街づくりをすることで公共交通の利用も増える。
小山・木本堀兼線	70歳～79歳	私は自分で運転します。市内中のどこの道路もセンターラインが消えてしまって全然分かりません。対向車が来るととても怖いです。センターラインをきれいに引いて下さい。宜しくお願いします。
市営バス	60歳～69歳	この30年来、新自由主義の考えのもと、行政にも民間企業的思考が幅広く導入されてきた。例えば上水道事業の民間企業への経営移譲等、その最たるものであろう。しかし、行政とは例えある程度の赤字になろうとも、民間企業が行わない事業を実施すべきであろうし、すべきであるとする。もうそろそろ新自由主義的思考法を改め、本来の行政の考え方に戻る時ではないかと思う。公共交通の運営についても然りと考える。
市営バス	70歳～79歳	現在は自家用車で移動できているが、いずれ何かの手段が必要になってくると思う。その時に遠くまで移動しなくても、必要なことが身近で解決できるような仕組みができるとありがたい。買い物(必需品)や病院が心配でなければ日常の生活は動ける範囲内で充足できるのではないか。その時に必要なのは、話のできる相手、歩いて行くことができる場所が近くにあること。
市営バス	70歳～79歳	最近 JR 越美北線がちょっとした事ですぐ止まるような気がします。昔はあんなに雪が降っても通ったのに今はすぐに止まる。車に乗れないので公共交通を頼るしかないので頑張って下さい。
市営バス	80歳以上	JR 越美北線は80歳まで利用していました(音楽コンサート、美術展、図書館など)。老々介護で心身共に弱くなり、友人を頼って運の良い時だけ利用。50歳まで東京で生活、自然に恵まれた福井県、特に和泉地区は希望通りのおだやかに皆で助け合い満足しています。大雪は年齢が高くなり、近所の人や役場の補助が頼りの綱です。よろしく申し上げます。

令和4年度 大野市公共交通に関するアンケート調査結果の概要

1. 調査概要

(1) 調査の目的

✓本調査は、市民の日常生活の移動手段や公共交通に関する意見等を把握し、より良い公共交通を実現するための指針となる大野市地域公共交通網形成計画の策定に向けた基礎資料とするために実施した。

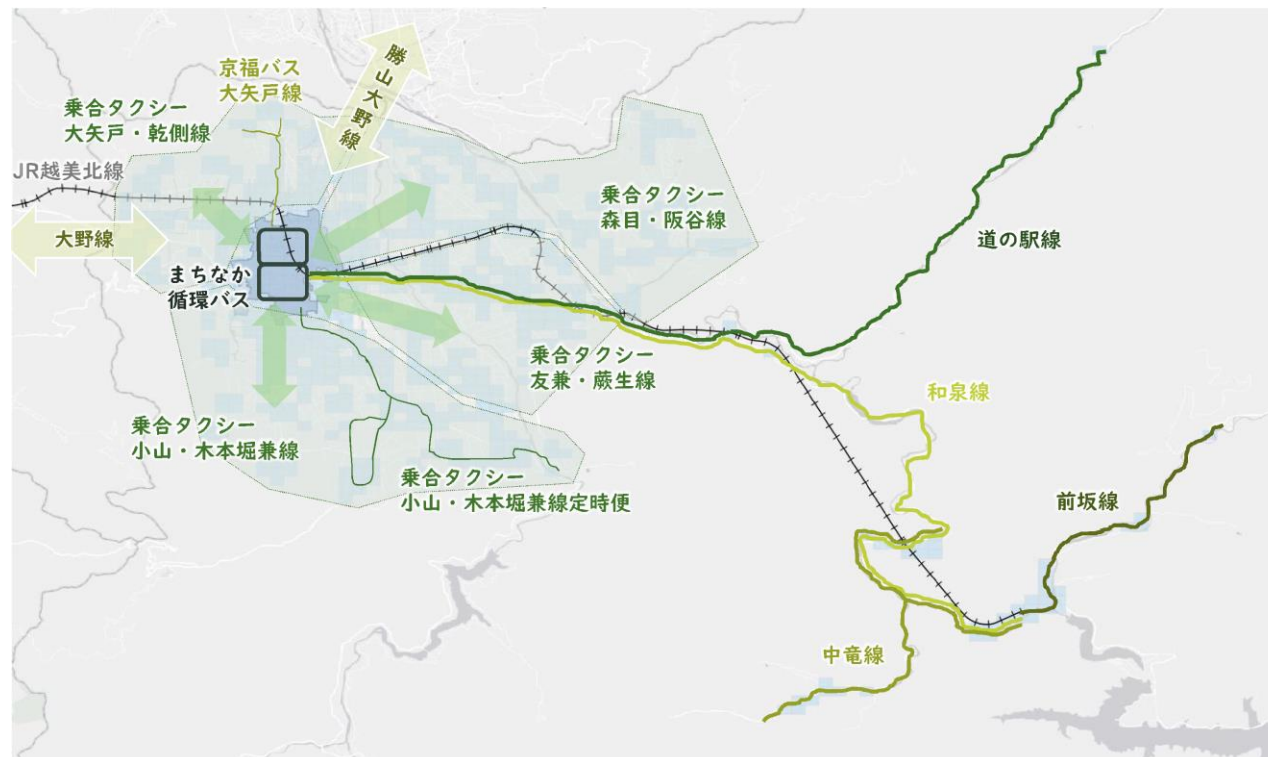
(2) 調査の概要

- ◆調査対象：大野市在住の2,000人
- ◆抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
- ◆調査方法：郵送による配布、回収
- ◆調査期間：令和5年1月19日（木）～2月5日（日）

(3) 配布回収結果

配布数：2,000通、回収数：紙・746票、WEB・82票（回収率41.4%）

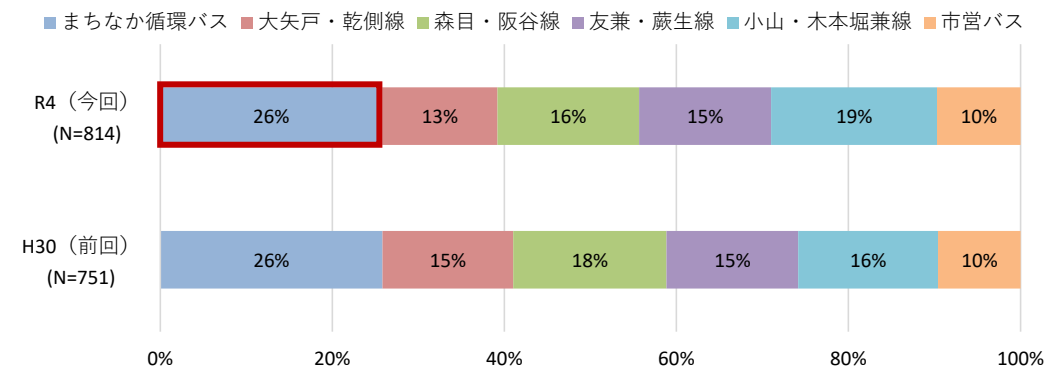
【公共交通運行路線】



2. 回答者の属性

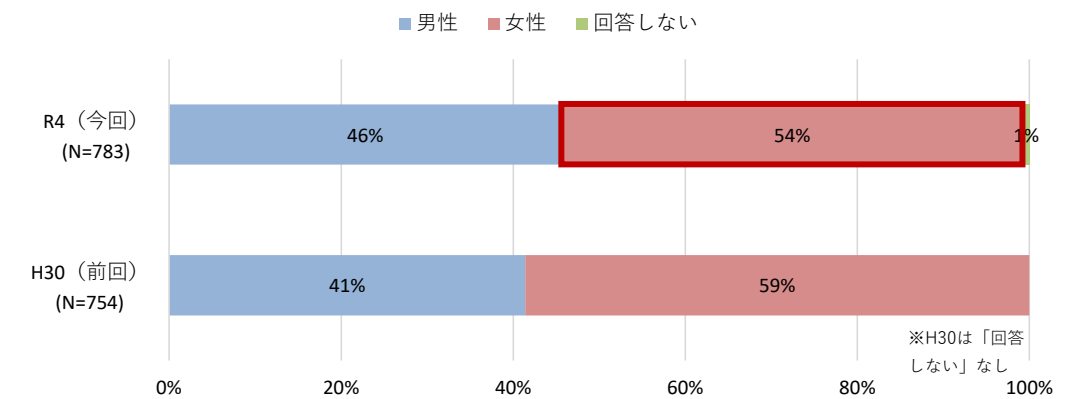
✓回答者の居住地は「まちなか循環バス」沿線、性別は「女性」、年齢は60歳以上の方が多くなっている。

【お住まい】

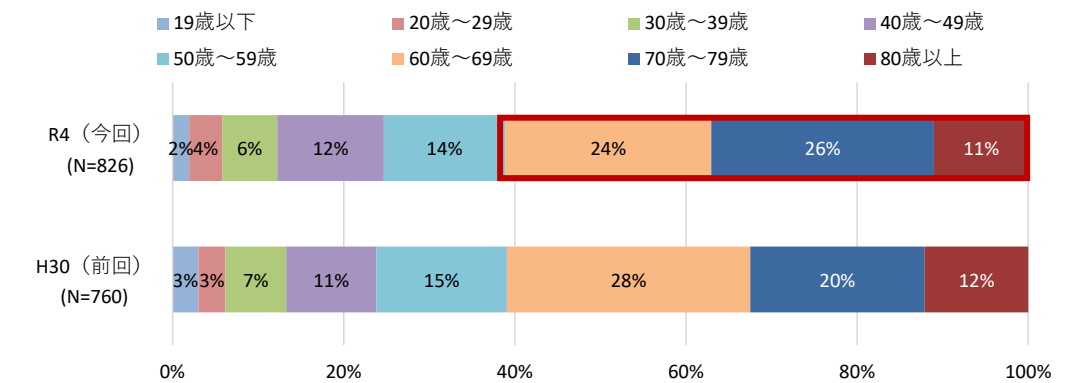


※まちなか循環バス：大野市まちなか、大矢戸・乾川線：大矢戸・乾川地区、森目・阪谷線：森目・阪谷地区、友兼・蕨生線：友兼・蕨生地区、小山木本堀兼線：小山・木本堀兼地区、市営バス：五箇・和泉地区を意味しています。

【性別】



【年齢】

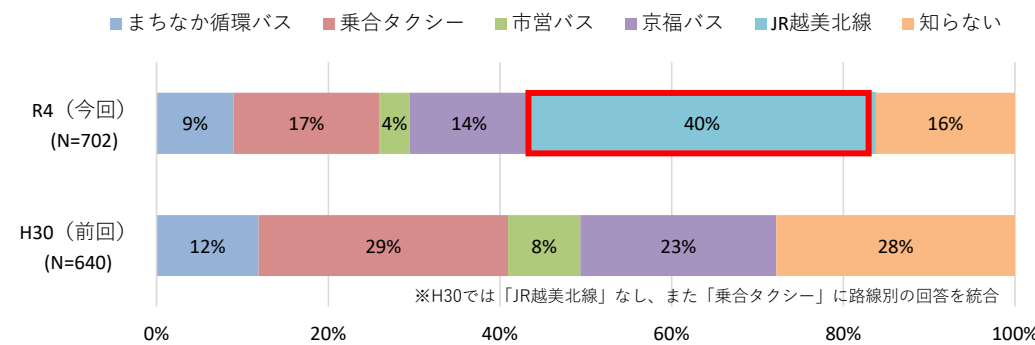


3. 主に利用する公共交通とは？

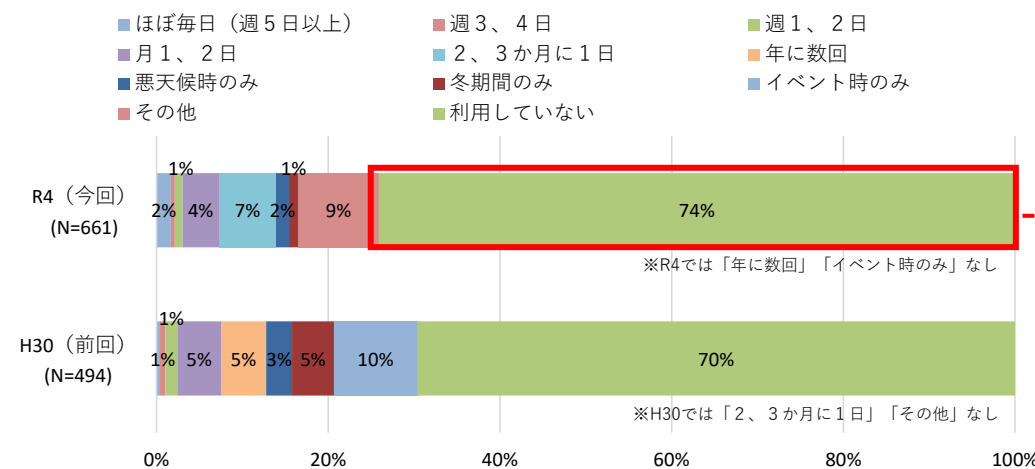
●主に利用する公共交通はJR越美北線の割合が高くなっているが、利用頻度は低く、多くの市民はマイカーで移動していると想定される。

- ✓主に利用する公共交通機関は「JR 越美北線」が40%で最も多くなっており、福井市方面への移動に公共交通を使っていることが多いと想定される。
- ✓一方、利用頻度を見ると「利用していない」が74%で最も多く、その理由として「利用する必要性がない（マイカー利用等）」が91%で最も多くなっている。

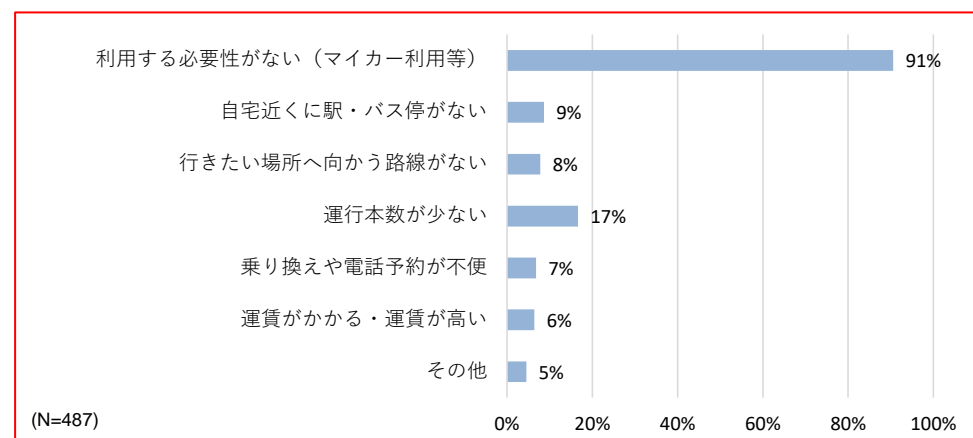
【主に利用する公共交通】



【主に利用する公共交通の利用頻度】



【公共交通を利用しない理由】



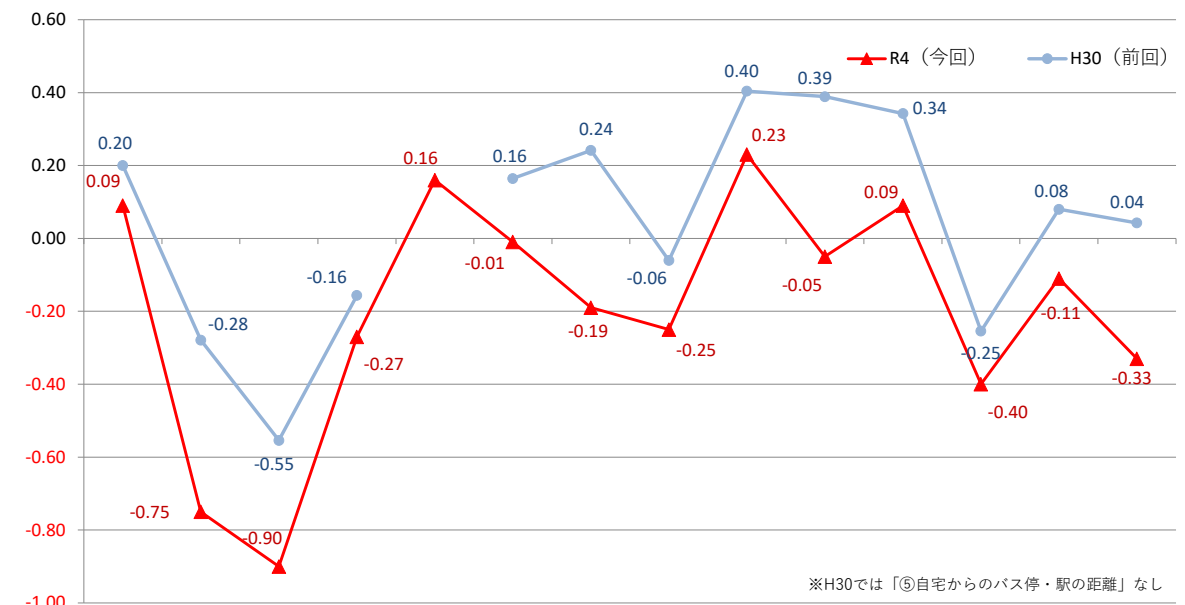
※主に利用する公共交通の利用頻度で「利用していない」を選択した方のみ

4. 公共交通の満足度

●公共交通の満足度は全体的に低く、特に「運行時間帯」「運行便数」に対する満足度が低い。

- ✓前回調査と比べて全体的に公共交通の満足度が低くなっており、特に「③運行間隔の利用しやすさ（運行本数の多さ）」「②運行時間帯の利用しやすさ（午前、午後、夕方等）」の満足度が低くなっている。

【主に利用する公共交通の満足度】



- ① 運行時刻のわかりやすさ
- ② 運行時間帯の利用しやすさ（午前、午後、夕方等）
- ③ 運行間隔の利用しやすさ（運行本数の多さ）
- ④ 運行ルート・エリアの利用しやすさ（目的地への移動のしやすさ）
- ⑤ 自宅からのバス停・駅の距離
- ⑥ 目的地からのバス停・駅の距離
- ⑦ バス停・駅の待合環境
- ⑧ 目的地までの所要時間
- ⑨ 運転手の対応やサービス
- ⑩ 車両の大きさ（利用者の混み具合）
- ⑪ 車両の乗り降りのしやすさ（バリアフリー）
- ⑫ 他のバス・鉄道への乗り継ぎのしやすさ（待ち時間）
- ⑬ 運賃
- ⑭ 総合評価

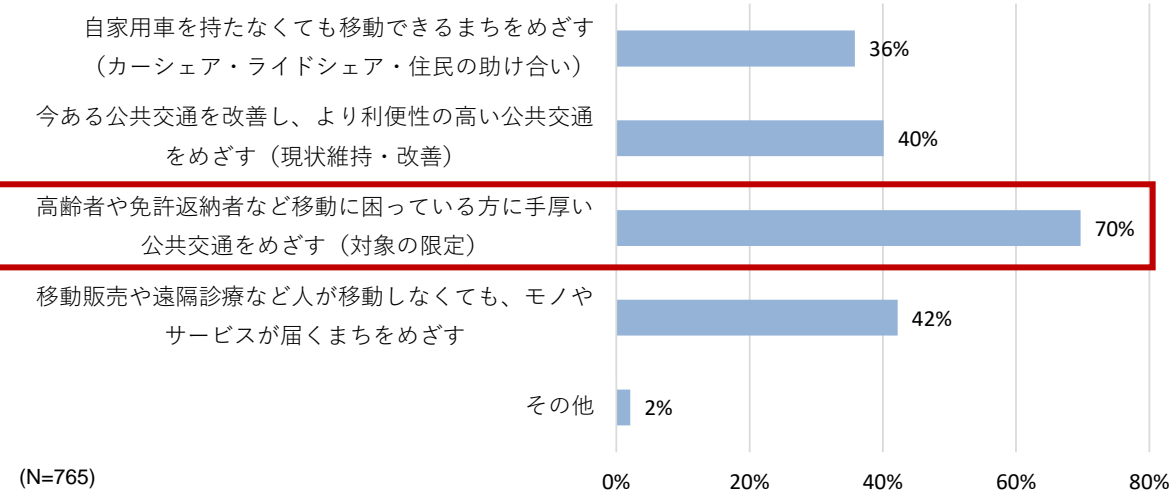
【評価点の算出式】

$$\{ \text{満足} \times (2 \text{点}) + \text{やや満足} \times (1 \text{点}) + \text{普通} \times (0 \text{点}) + \text{やや不満} (-1 \text{点}) + \text{不満} (-2 \text{点}) \} \div \text{各選択肢の回答者数}$$

4. 今後めざすべき公共交通やまち

- 「高齢者や運転免許返納者などの移動に困っている方に手厚い公共交通を目指す」の回答が多く、運転に不安のある方やマイカーを持たない方に寄り添った運行サービスが求められている。
- ✓今後めざすべき方向性として「高齢者や免許返納者など移動に困っている方に手厚い公共交通をめざす（対象の限定）」が70%で最も多くなっている。

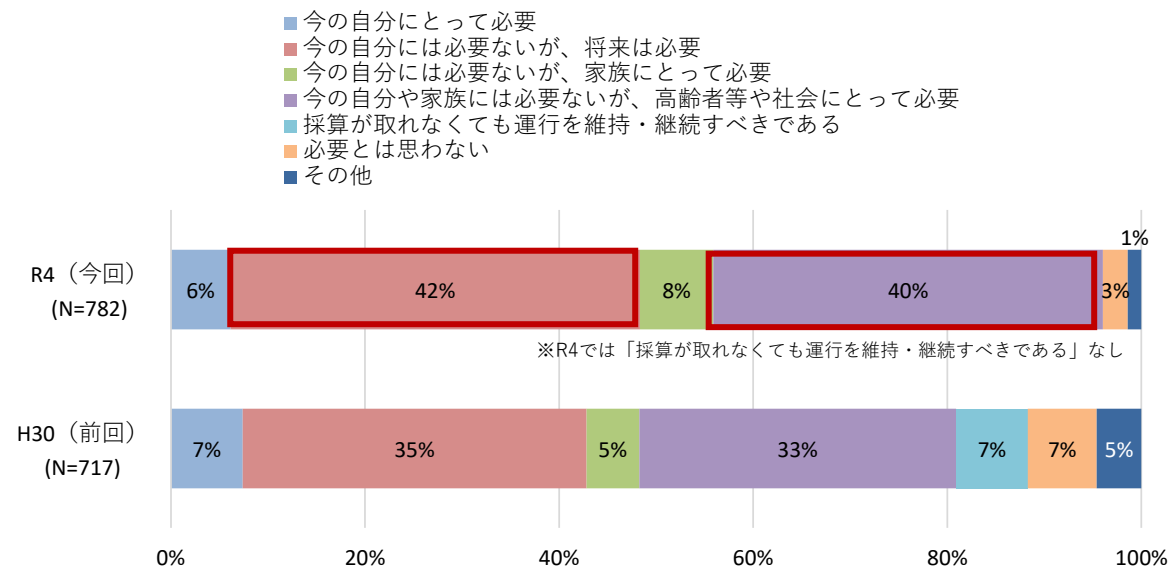
【市が今後めざすべき公共交通やまち】



5. 公共交通の必要性

- 回答者自身の将来や現在の高齢社会にとっては必要との認識が高い。
- ✓公共交通の必要性については「今の自分には必要ないが、将来は必要（42%）」や「今の自分や家族には必要ないが、高齢者等や社会にとって必要（40%）」が多くなっている。

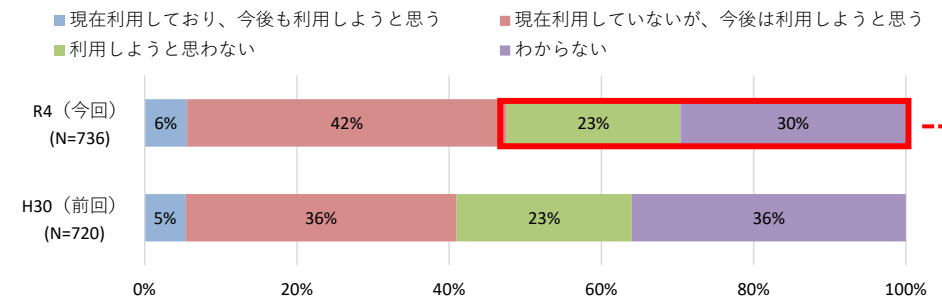
【市内公共交通機関の運行の必要性】



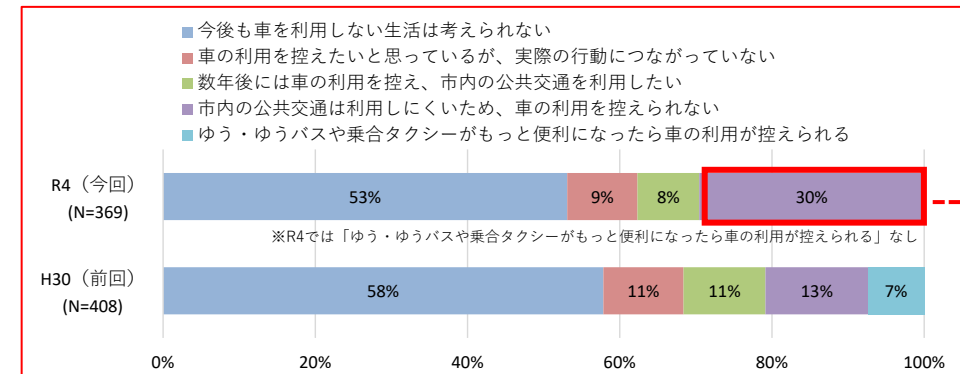
6. 公共交通の利用意向

- 今後の公共交通の利用意向は高いものの、マイカーからの利用転換意向は低く、停留所の増設や利用しやすい時間帯の運行など、利用者にとって自由度の高い運行サービスが求められている。
- ✓今後の利用意向は「現在利用していないが、今後は利用しようと思う」が42%で最も多く、自家用車からの切り替えは「今後も車を利用しない生活は考えられない」が53%で最も多くなっている。
- ✓公共交通を利用するための改善点としては「自宅や目的地近くへの停留所の設置（停留所の増）（37%）」や「利用しやすい時間帯の公共交通の運行（32%）」、「行きたい場所へ直接向かう公共交通の運行（31%）」が多くなっている。

【今後の公共交通の利用意向】

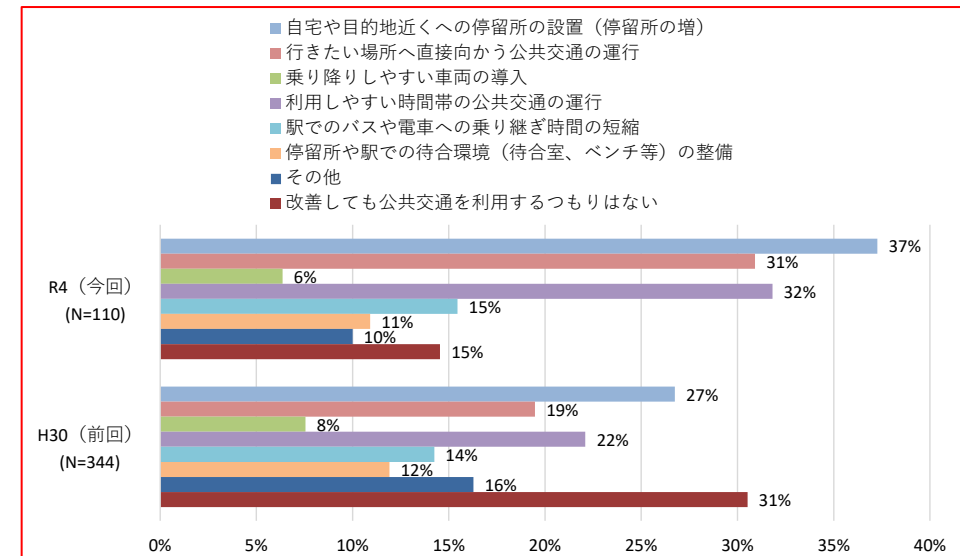


【自家用車から公共交通への切り替え】



※今後の公共交通の利用意向で「利用しようと思わない」「わからない」を選択した方のみ

【今後、公共交通を利用するための改善点】



※自家用車から公共交通への切り替えで「市内の公共交通は利用しにくいいため、車の利用を控えられない」を選択した方のみ

まちなか循環バス ボンネットバスの導入行について

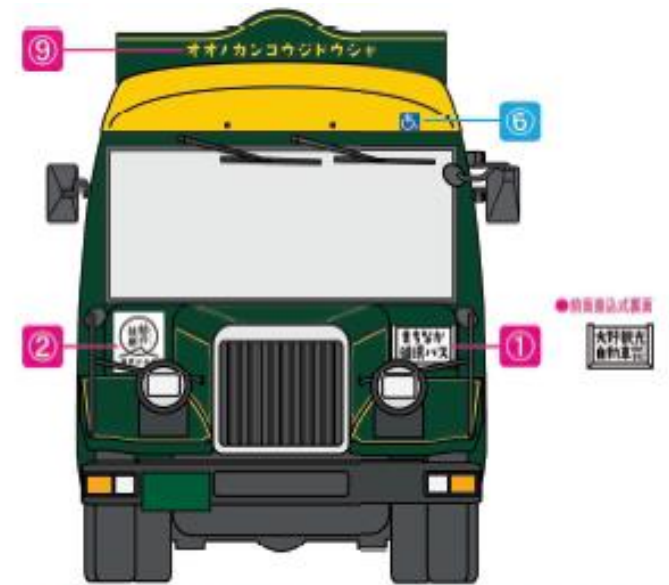


車両：三菱ふそう ローザ
ボンネットバス
定員：着座席12席＋立席12席
運行開始：9月9日（土）予定

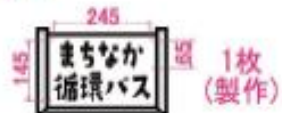
- 北陸新幹線開業後の大野市内「まちなか観光」の利用促進策も合わせて、**土日祝を主に運行**（土日祝であってもイベント等のシャトルバスで使用
する場合があります。この場合は、現有車両で運行となります。）
- 車内にはお客様から提供頂いた「当社の昔懐かしい写真」を貼る予定。
懐かしい写真等をご提供していただける方のご協力をお待ちしています。



ボンネットバスの車両デザインイメージ



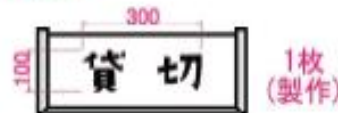
① 前面差込式看板
●表面



② 前面/後面自治体ブランド名看板
●表面



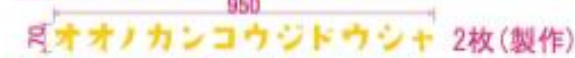
③ 側面差込式看板
●表面



④ 側面社名(左右共通)



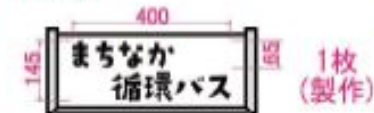
⑩ 前面/後面カタカナ社名(前後共通)



⑪ 側面カタカナ社名(左右共通)



⑤ 後面差込式看板
●表面



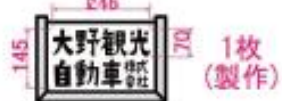
⑥ 前面/後面車椅子マーク
●表面



⑦ 側面車椅子マーク
●表面



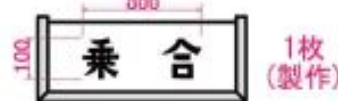
●裏面



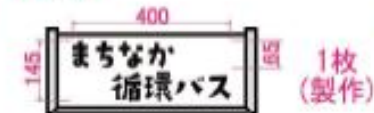
●裏面



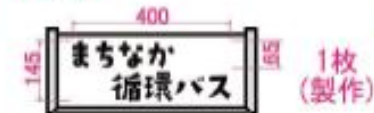
●裏面



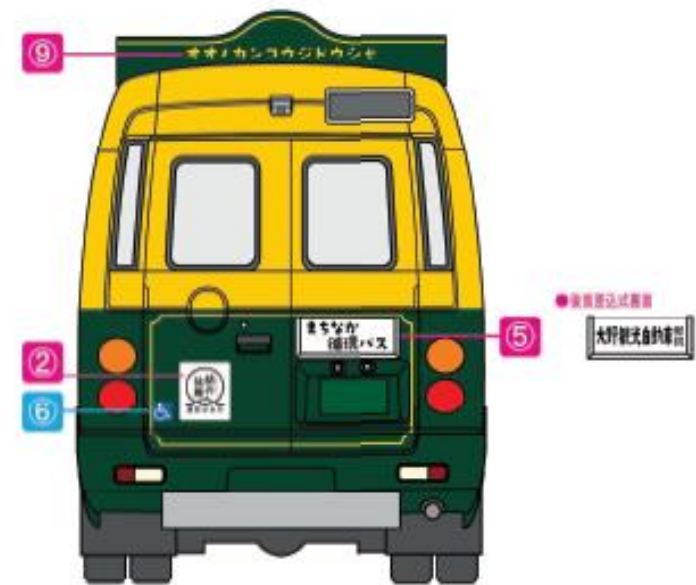
●裏面



●裏面



⑧ 側面乗降口案内
●表面



2023年8月23日
京福バス株式会社

京福バス大野車庫の移転について

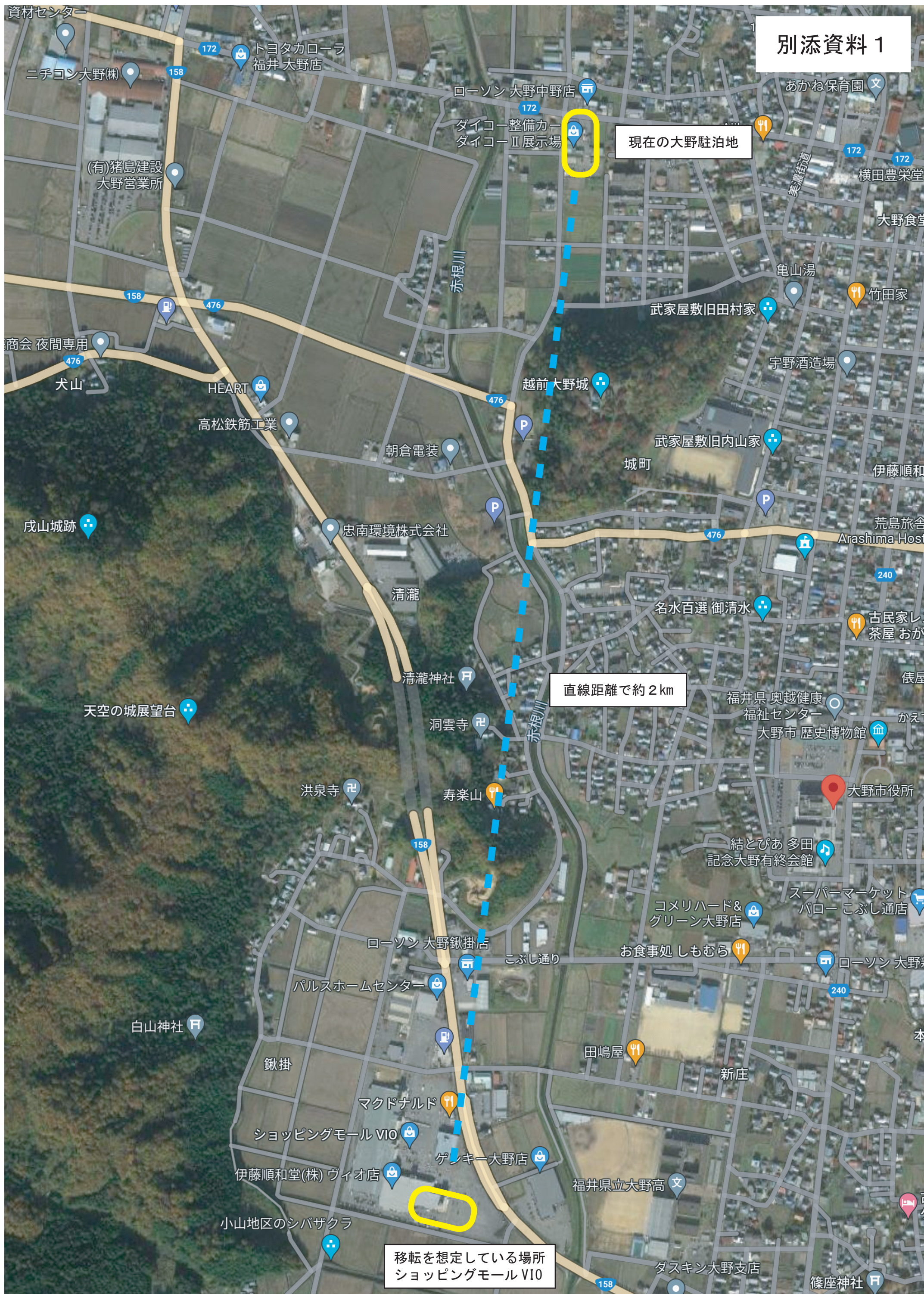
京福バス大野車庫の建物・駐車場が老朽化しており、大野線と勝山大野線の路線バスを維持するためには車庫の維持が必要になる。そのため、拠点を同じ大野市内のショッピングモールV I Oに移転したく、車庫の認可を得るためには公共交通会議の協議が必要となるため、下記の内容にてご審議をお願いしたい。

記

- 1 車庫移転の場所（別添資料1を参照）
現在 福井県大野市中野29字花田3-7
新 福井県大野市楸掛17丁目17-1（ショッピングモールV I O内）
- 2 施設の位置
①電話点呼を行う点呼場：V I Oテナントを賃借
②駐車場：V I O敷地内の駐車場（別添資料2を参照）
- 3 営業所と駐泊地間の安全管理体制
電話点呼の手順（別添資料3を参照）
※現状の点呼方法からの変更はなし。
- 4 移転予定時期
2023年12月
- 5 その他
乗車券販売所も現在のダイコー整備からショッピングモールV I Oへ委託先を変更する。また、販売する乗車券の種類はそのままにし、顧客サービスを維持する。

以上

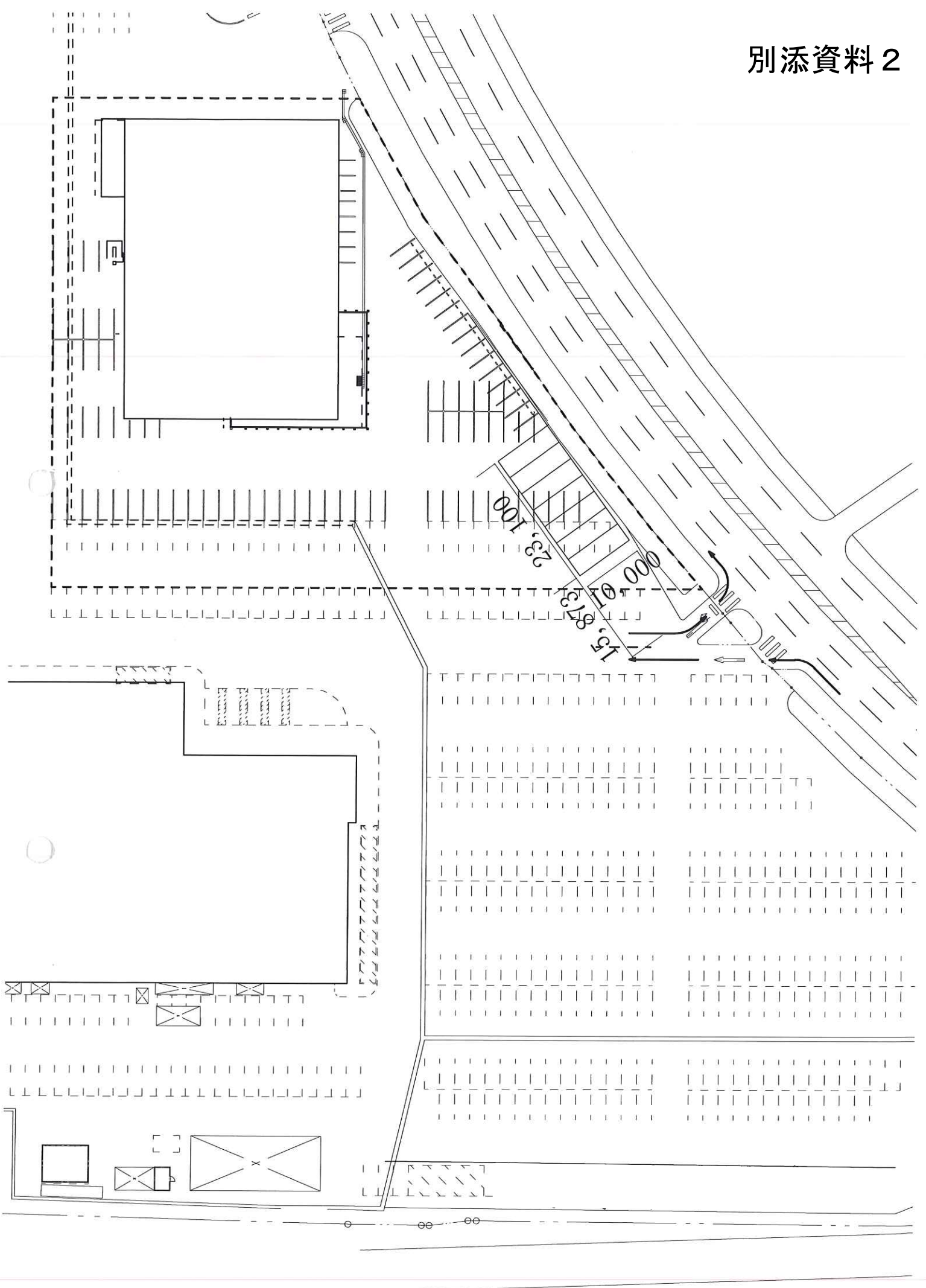
別添資料 1



現在の大野駐泊地

直線距離で約 2 km

移転を想定している場所
ショッピングモール V10



運用フロー(イメージ 出庫時)

別添資料 3



1

運用フロー(イメージ 帰庫時)

別添資料 3



2